

和歌山県高齢者等生活意識調査 (高齢者一般調査)

報 告 書

令和5年3月

和歌山県 福祉保健部
福祉保健政策局 長寿社会課

〈 目 次 〉

1. 調査の概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 回収状況	1
2. 高齢者一般調査の結果	3
(1) 回答者	3
(2) 回答者の属性	4
(3) 仕事や収入について	9
(4) 近所づきあい、外出の状況などについて	10
(5) 買い物などの日常の状況について	14
(6) 通院状況などについて	22
(7) 健康について	25
(8) 普段の暮らしぶりについて	28
(9) 今後の住宅での暮らし、住み替えなどについて	29
(10) 自宅での看取りの考え方などについて	34
(11) 高齢者の生活支援のための事業への参加について	39
(12) 介護保険制度などについて	41
(13) 認知症について	44
(14) 自由意見	46
3. 調査間の比較	48
(1) 回答者の属性	48
(2) 日常生活について	50
(3) 医療等の状況について	53
(4) 健康について	54
(5) 住まい、住み替えなどについて	55
(6) 看取りなどについて	57
(7) 高齢者の生活支援のための事業への参加について	59
(8) 介護保険制度について	60
(9) 認知症について	62
参考資料：アンケート調査票	64

1 調査の概要

(1) 調査対象

本調査は、和歌山県在住の以下の3種類の対象者に調査を行いました。調査対象者の抽出にあたっては、市町村別に一定の標本数を確保するために、市町村単位の層化を行い、標本数を配分したうえで、各市町村において無作為抽出を行いました。

調査は郵送により配布・留置し、郵送で回収しました。（第2号被保険者調査はWEB回答を併用）

高齢者一般調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されていない人	合計3,000人を抽出
要支援・要介護者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の65歳以上で、介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定されている人	合計2,000人を抽出
第2号被保険者調査	令和4年8月1日現在、県内在住の40～64歳の人	合計2,000人を抽出

(2) 回収状況

調査票の回収状況は以下のとおりです。

	高齢者一般調査	要支援・要介護者調査	第2号被保険者調査
配布・発送数	3,000	2,000	2,000
配布実数※	2,983	1,988	1,992
回収数	1,935	894	871 (内WEB回答170)
回収率	64.9%	45.0%	43.7%

※未達分を除く有効配布数

本報告書は、上記3種類の調査のうち、**高齢者一般調査**について報告するものです。

(調査結果の見方)

- ◆集計にあたっては、令和2年国勢調査人口を基準人口として、市町村別の標本数の補正を行っています。
- ◆集計値はすべて%表示です。なお、四捨五入により小数点以下第1位までの表示としており、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
- ◆複数回答の質問は、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- ◆図表中、帯グラフでは、表示が煩雑になるため、3.0%未満の比率については数値表示を省略しています。
- ◆標本数（回答者数）は図表中に「N=」と表示しています。それ以外の数値は回答比率の百分率（%）です。表示が煩雑になるため、%等の単位表示は省略しています。

(集計における「地域区分別」の対象地域)

- ◆県内において、比較的人口の集中している地域と、人口の少ない地域における地域特性の分析等を行うため、県内市町村を以下のように「都市地域」と「都市地域以外」の категорияに区分し、「地域区分別」の集計を行いました。

都市地域	都市地域以外
和歌山市	田辺市（旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町）
海南市	新宮市（旧熊野川町）
橋本市	紀の川市（旧粉河町・那賀町・桃山町）
有田市	紀美野町
御坊市	かつらぎ町
田辺市（旧田辺市）	九度山町
新宮市（旧新宮市）	高野町
紀の川市（旧打田町・貴志川町）	湯浅町
岩出市	広川町
	有田川町
	美浜町
	日高町
	由良町
	印南町
	みなべ町
	日高川町
	白浜町
	上富田町
	すさみ町
	那智勝浦町
	太地町
	古座川町
	北山村
	串本町

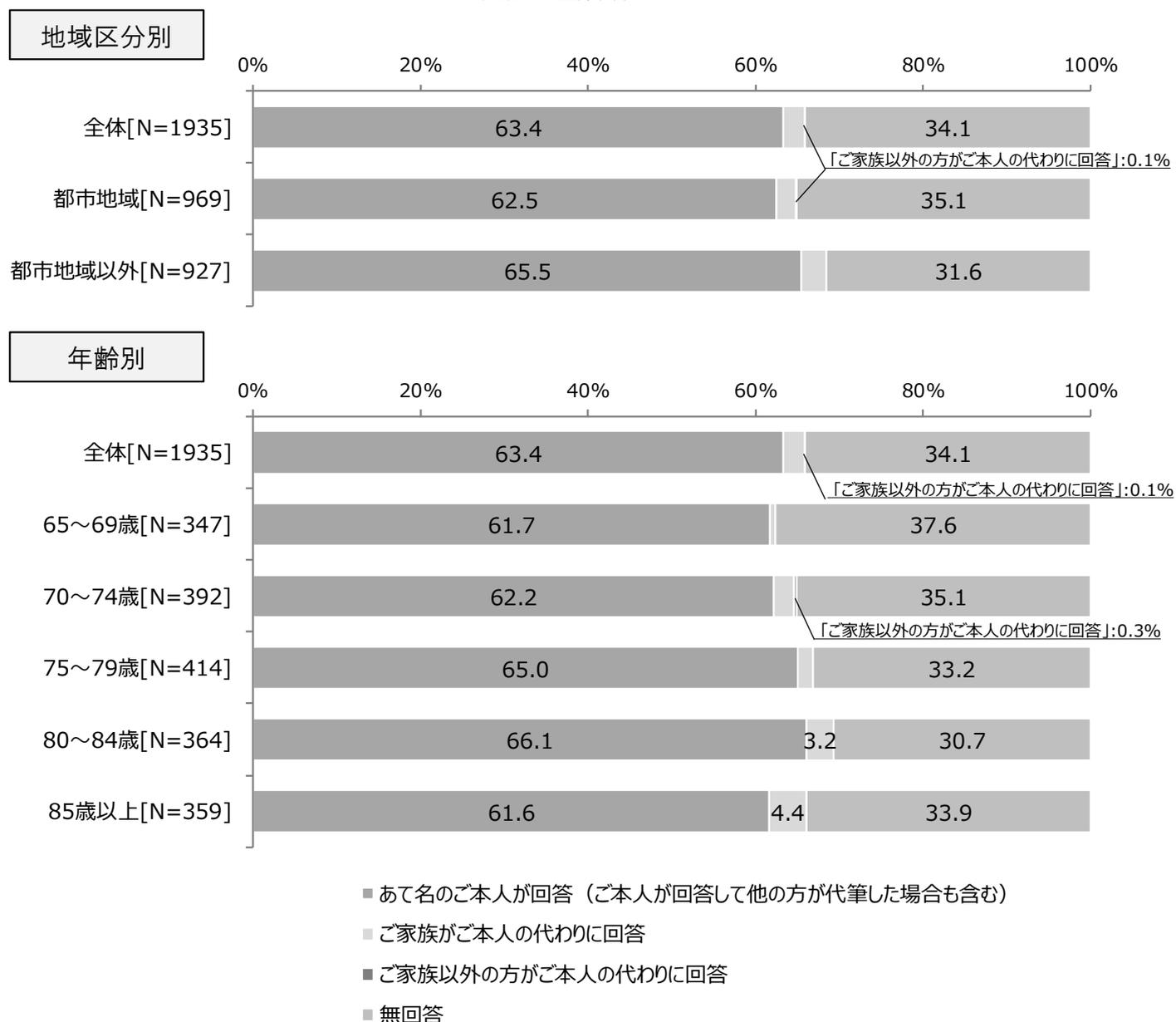
2 高齢者一般調査の結果

(1) 回答者

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

調査票の回答者は、「あて名のご本人が回答（ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む）」が63.4%となっています。

図表 1 回答者



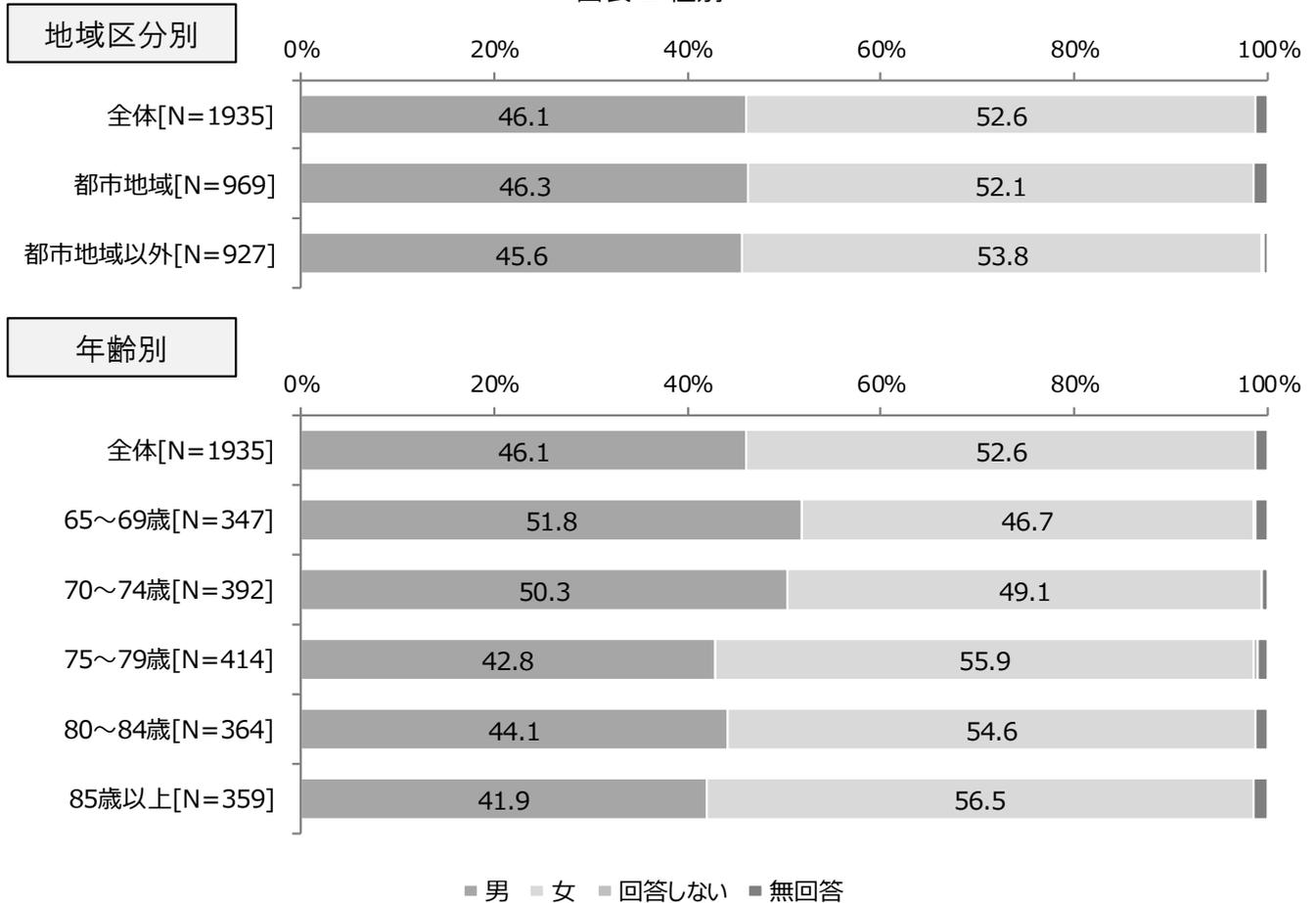
(2) 回答者の属性

①性別

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

回答者の性別は、「女」が52.6%、「男」が46.1%となっています。

図表 2 性別

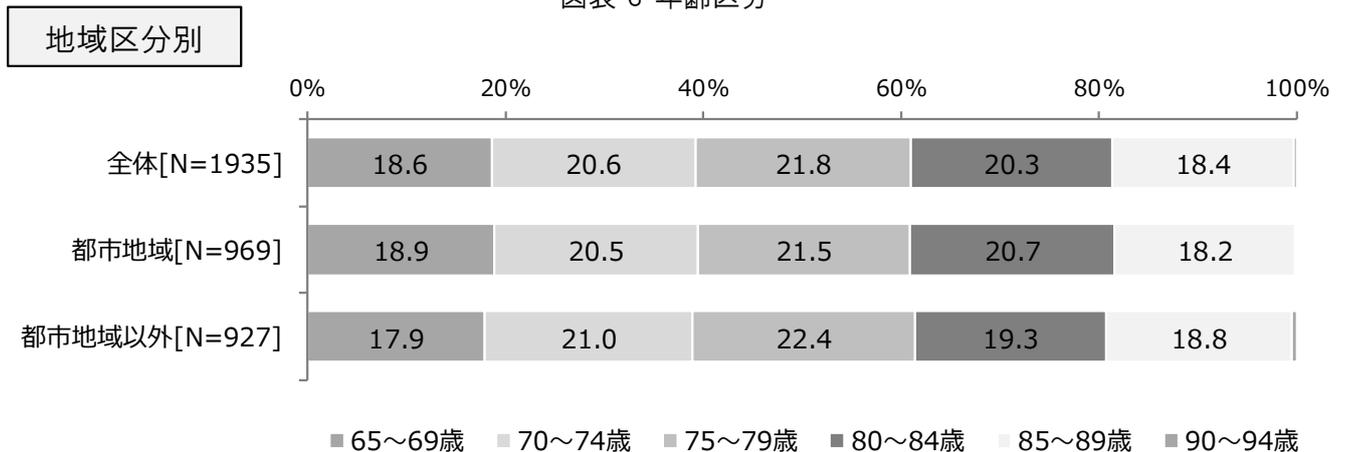


②年齢区分

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

年齢区分は、「75～79歳」が21.8%、「70～74歳」が20.6%、「80～84歳」が20.3%、「65～69歳」が18.6%、「85～89歳」が18.4%となっています。

図表 3 年齢区分



③ 居住市町村

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

居住市町村については、以下のとおりとなっています。

図表 4 居住市町村

全体[N=1935]			
和歌山市	36.0	広川町	0.8
海南市	5.8	有田川町	2.7
橋本市	6.6	美浜町	0.8
有田市	3.0	日高町	0.8
御坊市	2.4	由良町	0.7
田辺市 (旧田辺市)	6.2	印南町	0.9
田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町)	1.5	みなべ町	1.3
新宮市 (旧新宮市)	3.1	日高川町	1.1
新宮市 (旧熊野川町)	0.2	白浜町	2.6
紀の川市 (旧打田町・貴志川町)	3.3	上富田町	1.3
紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町)	3.1	すさみ町	0.6
岩出市	4.2	那智勝浦町	2.0
紀美野町	1.3	太地町	0.4
かつらぎ町	2.1	古座川町	0.4
九度山町	0.6	北山村	0.1
高野町	0.4	串本町	2.3
湯浅町	1.3		

④世帯区分

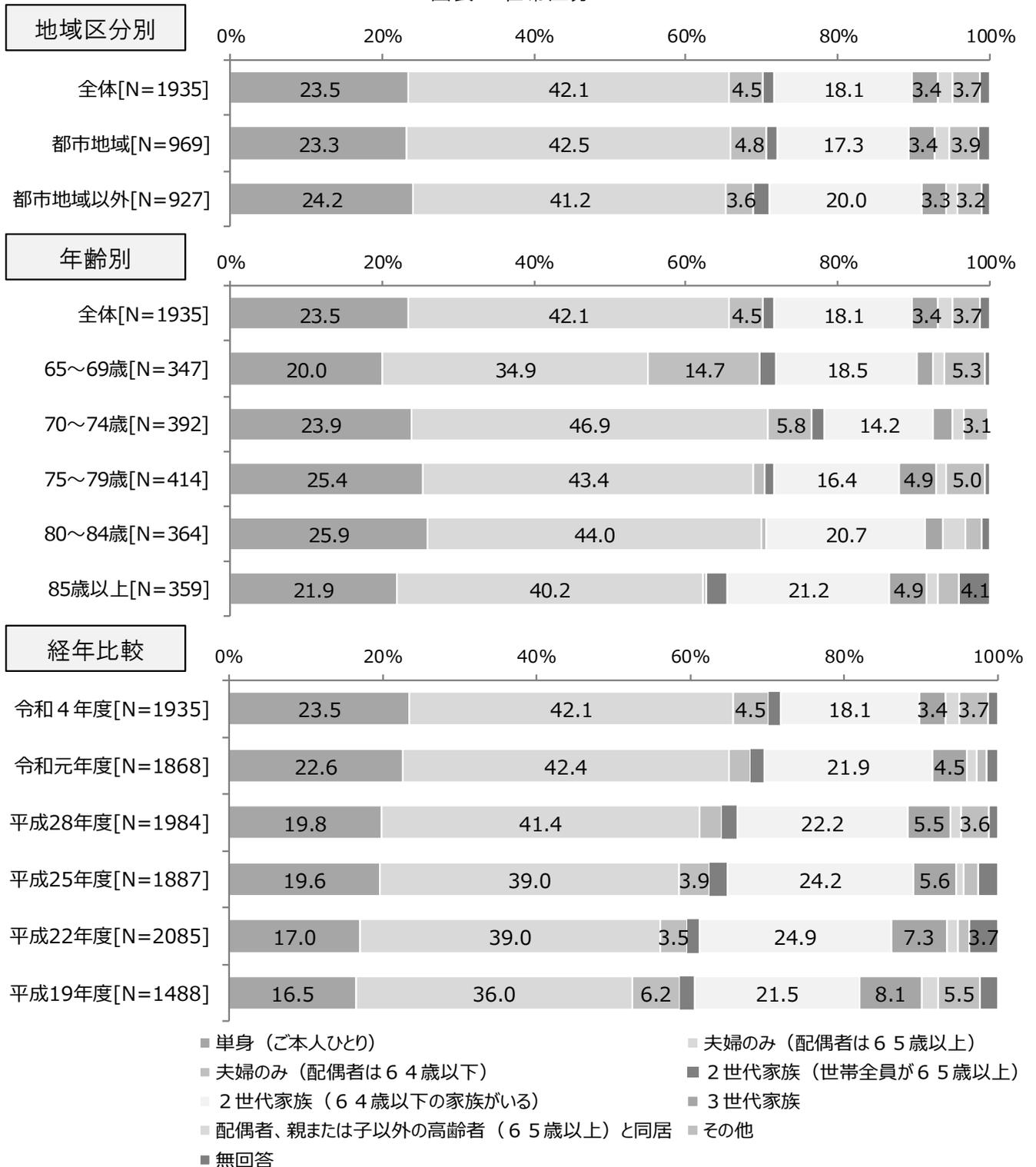
問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

回答者の世帯については、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が42.1%、「単身（ご本人ひとり）」が23.5%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.1%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」の割合がやや多くなっています。年齢別では、70～84歳で「単身（ご本人ひとり）」と「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の割合が多くなっています。

経年比較を見ると、「単身（ご本人ひとり）」の割合が徐々に増えています。

図表 5 世帯区分



⑤ 昼間独居の状況

問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

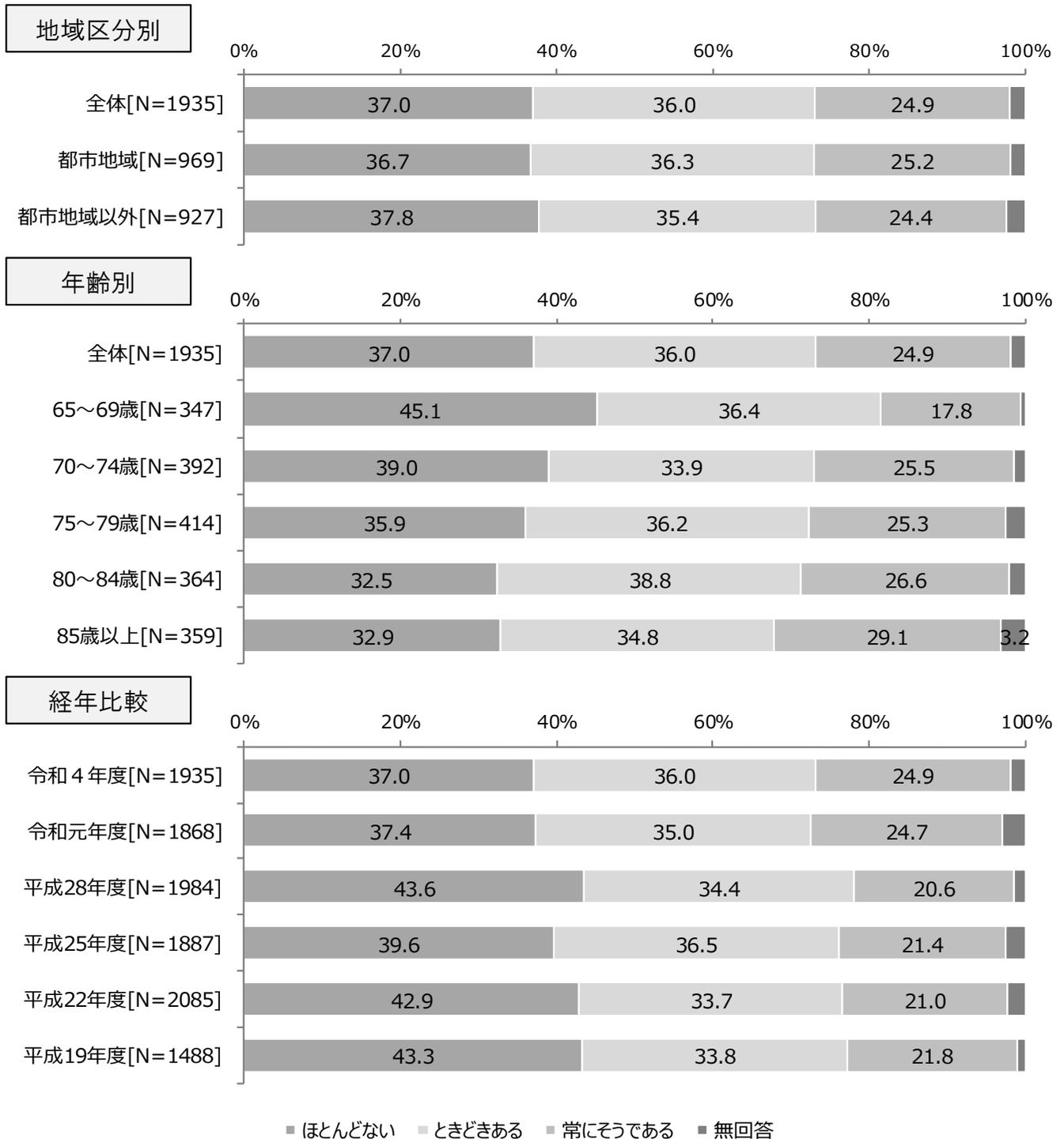
昼間独居の状況について聞いたところ、「ほとんどない」が37.0%、「ときどきある」が36.0%、「常にそうである」が24.9%となっています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて「ほとんどない」の割合がやや多くなっています。

年齢別では、80歳以上で「常にそうである」の割合がやや多くなっています。

経年比較では、令和元年度と大きな違いは見受けられません。

図表 6 昼間独居の状況



⑥別居の生活支援者の有無

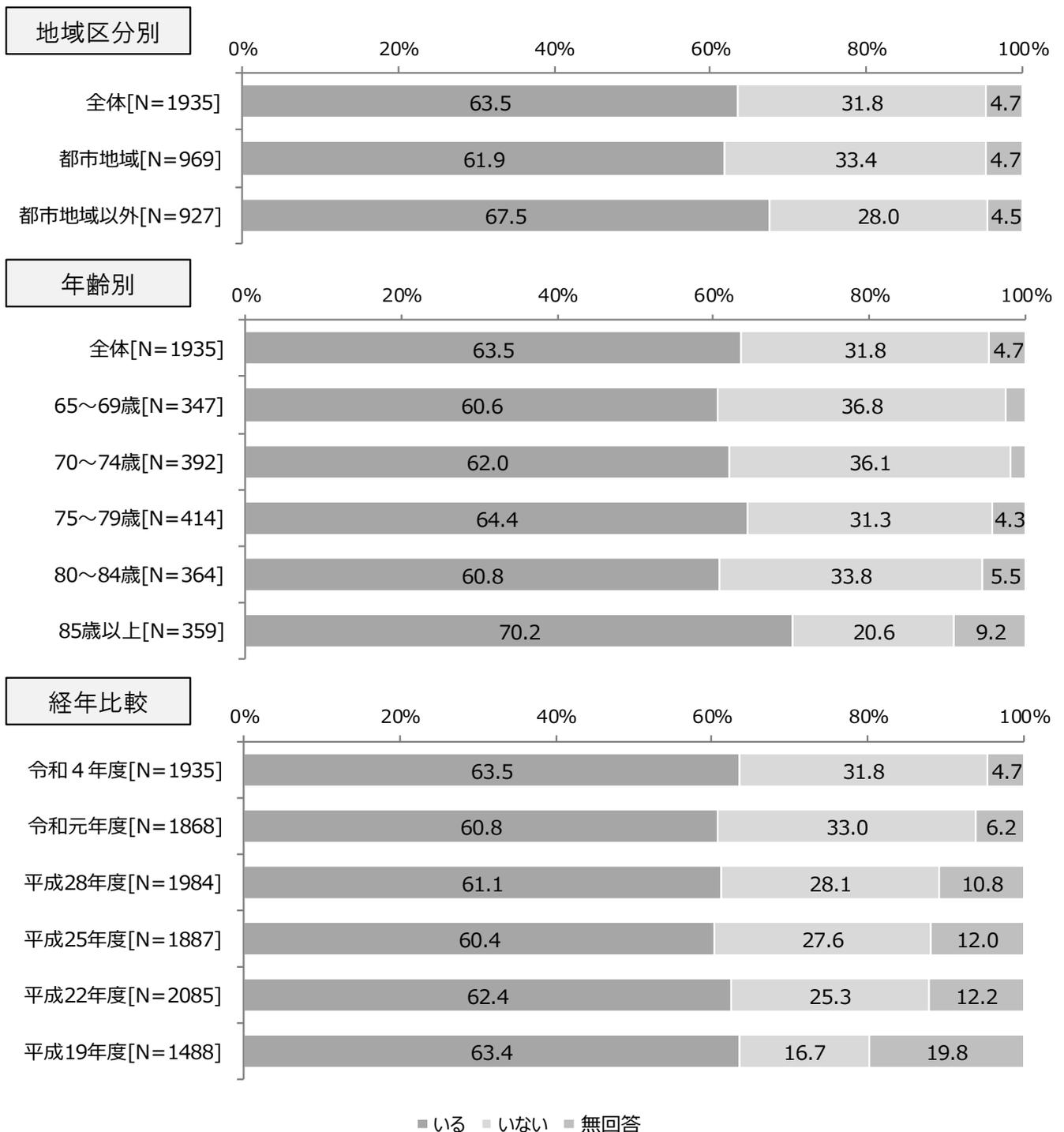
問6 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいいますか。
(いずれか1つに○)

別居で生活を支援してくれる家族等の有無について聞いたところ、「いる」が63.5%、「いない」が31.8%となっています。

年齢別では75歳以上に比べて74歳以下の「いない」の割合が多くなっています。

経年比較では、令和元年度と比べて、「いる」がやや増え、「いない」がやや減っています。

図表 7 別居の生活支援者の有無



(3) 仕事や収入について

①収入のある仕事

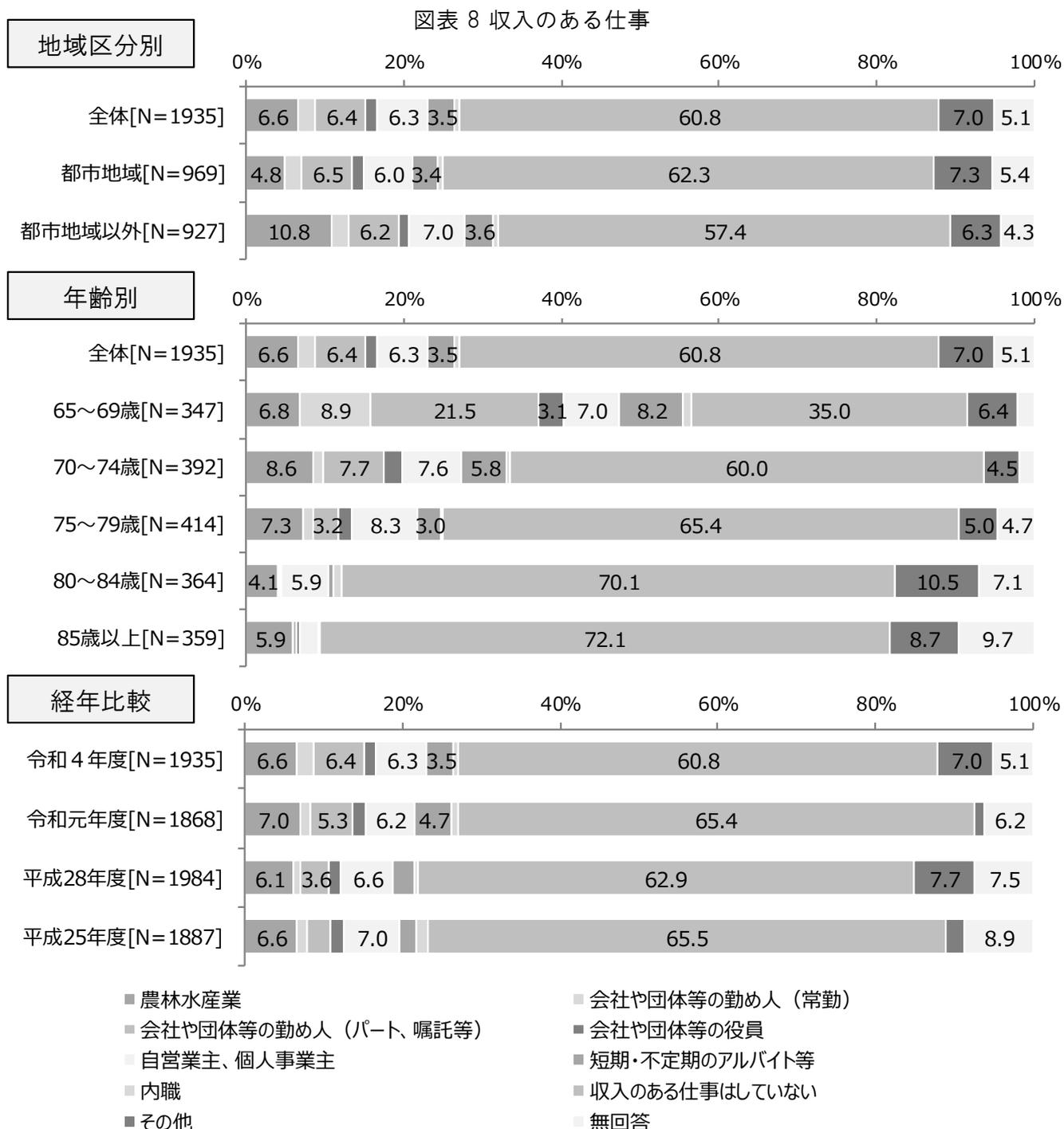
問7 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

収入のある仕事については、「収入のある仕事はしていない」が60.8%と多く、仕事については、「農林水産業」が6.6%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が6.4%、「自営業主、個人事業主」が6.3%、「短期・不定期のアルバイト等」が3.5%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「農林水産業」の割合が多くなっています。都市地域では、都市地域以外と比べて、「収入のある仕事はしていない」の割合が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「収入のある仕事はしていない」の割合が多くなります。

経年比較では「収入のある仕事はしていない」の割合が減っています。



(4) 近所づきあい、外出の状況などについて

①近所とのつきあい

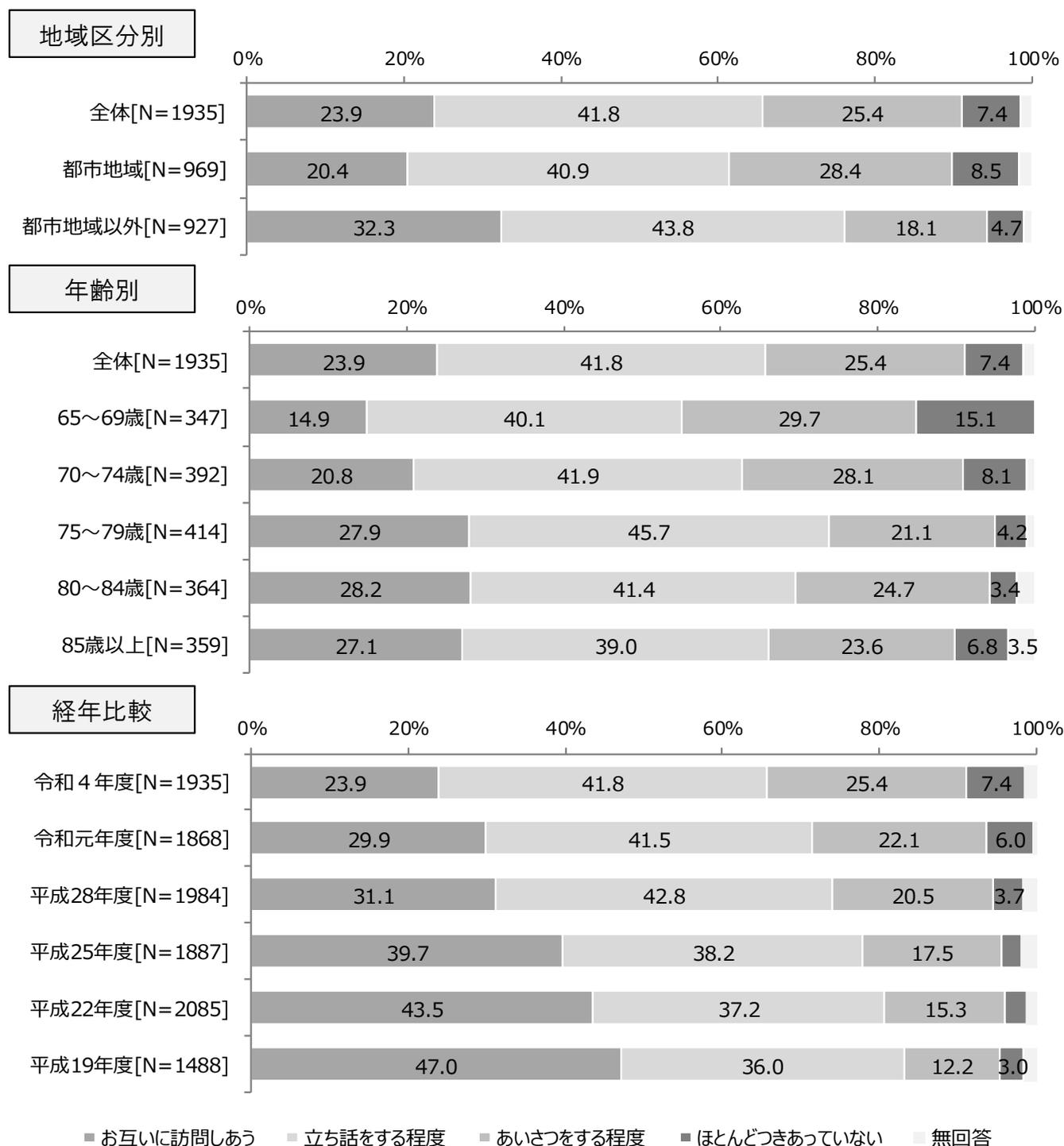
問8 あなたはふだん、最も親しいご近所さんとどのようなつきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

近所とのつきあいについて聞いたところ、「立ち話をする程度」が41.8%と最も多く、次いで、「あいさつをする程度」が25.4%、「お互いに訪問しあう」が23.9%等となっています。

地域区別では、都市地域と比較して、都市地域以外で「お互いに訪問しあう」の割合が多くなっています。年齢別では、65～69歳で「お互いに訪問しあう」という人が70歳以上に比べて少なくなっています。

経年比較では、「お互いに訪問しあう」の割合は年々減っています。

図表 9 近所とのつきあい



②外出の頻度

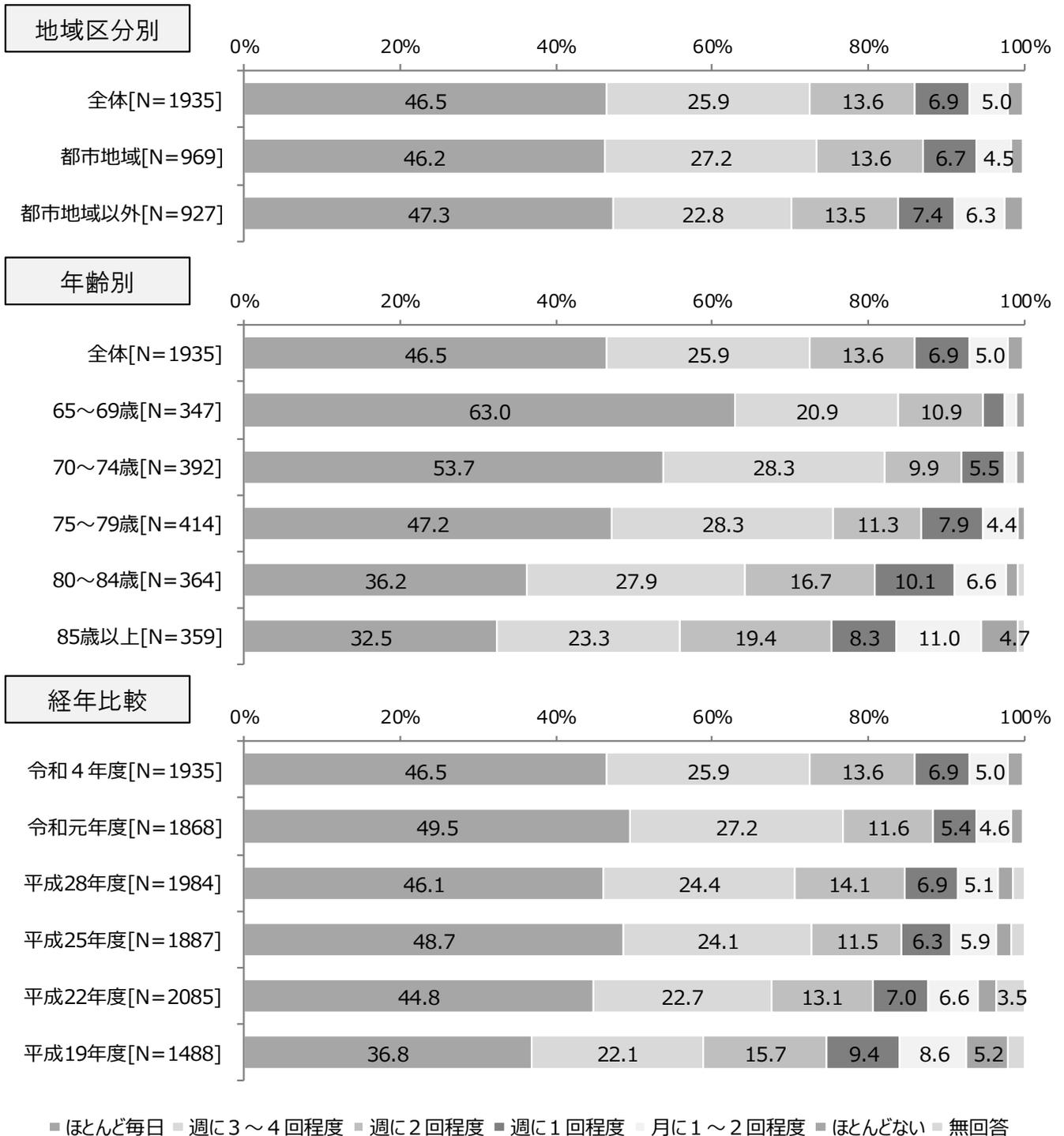
問9 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

外出の程度については、「ほとんど毎日」が46.5%とほぼ半数、次いで、「週に3～4回程度」が25.9%等となっています。

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ、「ほとんど毎日」の割合が少なくなっています。

経年比較では、令和元年度に比べて「ほとんど毎日」「週に3～4回程度」の割合が減っています。

図表 10 外出の頻度



③外出方法

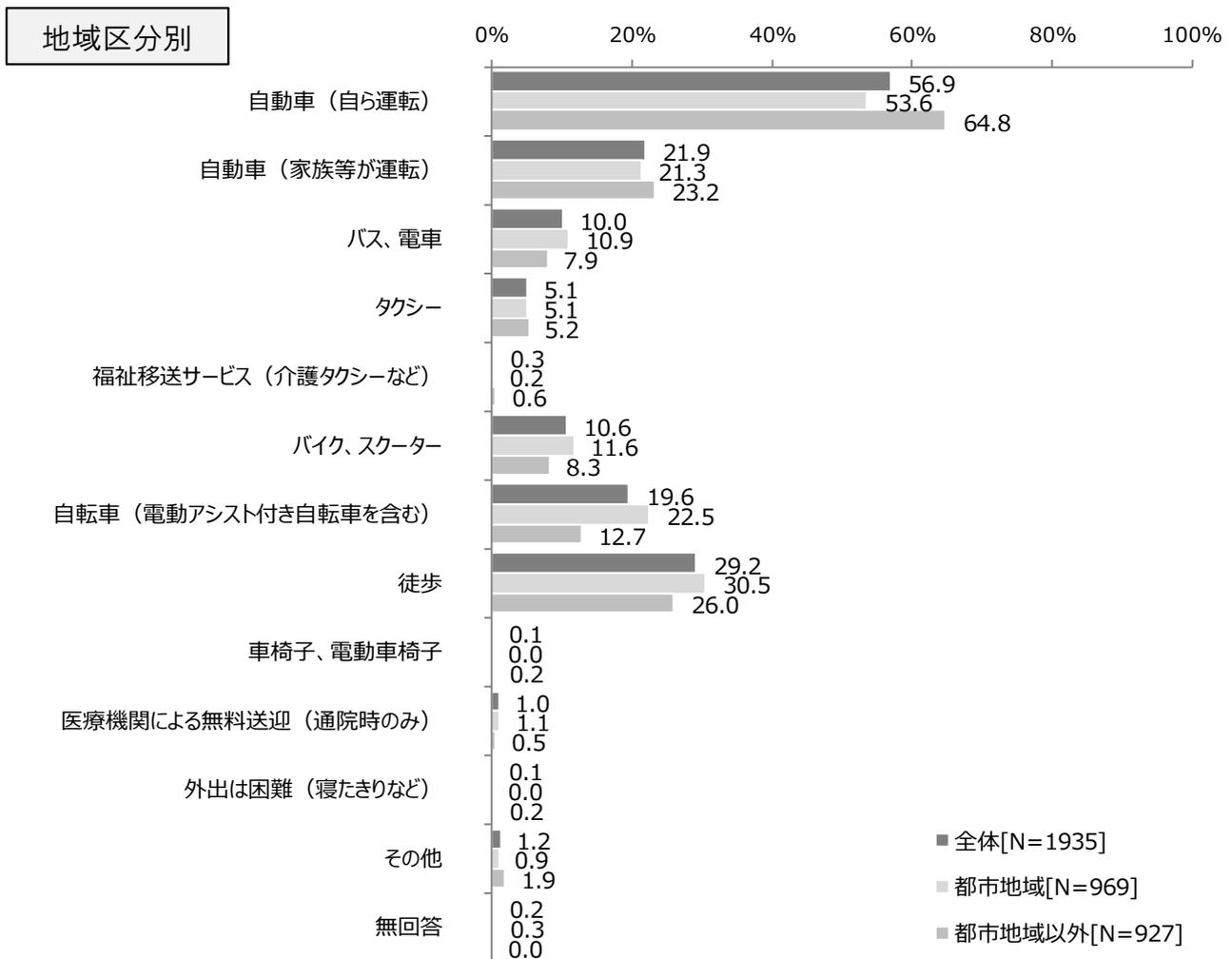
問10 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出方法について聞いたところ、「自動車（自ら運転）」が56.9%と半数以上となっています。次いで、「徒歩」が29.2%、「自動車（家族等が運転）」が21.9%、「自転車（電動アシスト付き自転車を含む）」が19.6%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外で「自動車（自ら運転）」の割合が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「自動車（自ら運転）」が減り、「自動車（家族等が運転）」や「徒歩」が増えています。

図表 11 外出方法（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
自動車（自ら運転）	56.9	80.7	68.0	59.5	44.5	31.4
自動車（家族等が運転）	21.9	17.9	17.9	18.0	25.1	31.3
バス・電車	10.0	8.3	7.9	9.0	10.7	14.4
タクシー	5.1	0.2	1.7	3.6	6.6	13.8
福祉移送サービス（介護タクシーなど）	0.3	0.3	0.0	0.4	0.1	0.7
バイク、スクーター	10.6	9.1	12.4	15.8	8.0	6.9
自転車（電動アシスト付き自転車を含む）	19.6	17.3	20.5	20.9	21.7	17.1
徒歩	29.2	24.2	27.6	29.0	32.6	32.4
車椅子、電動車椅子	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
医療機関による無料送迎（通院時のみ）	1.0	0.0	0.6	0.3	1.4	2.5
外出は困難（寝たきりなど）	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
その他	1.2	0.0	0.0	0.7	1.3	4.2
無回答	0.2	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0

④最寄り駅等までの時間

問11 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

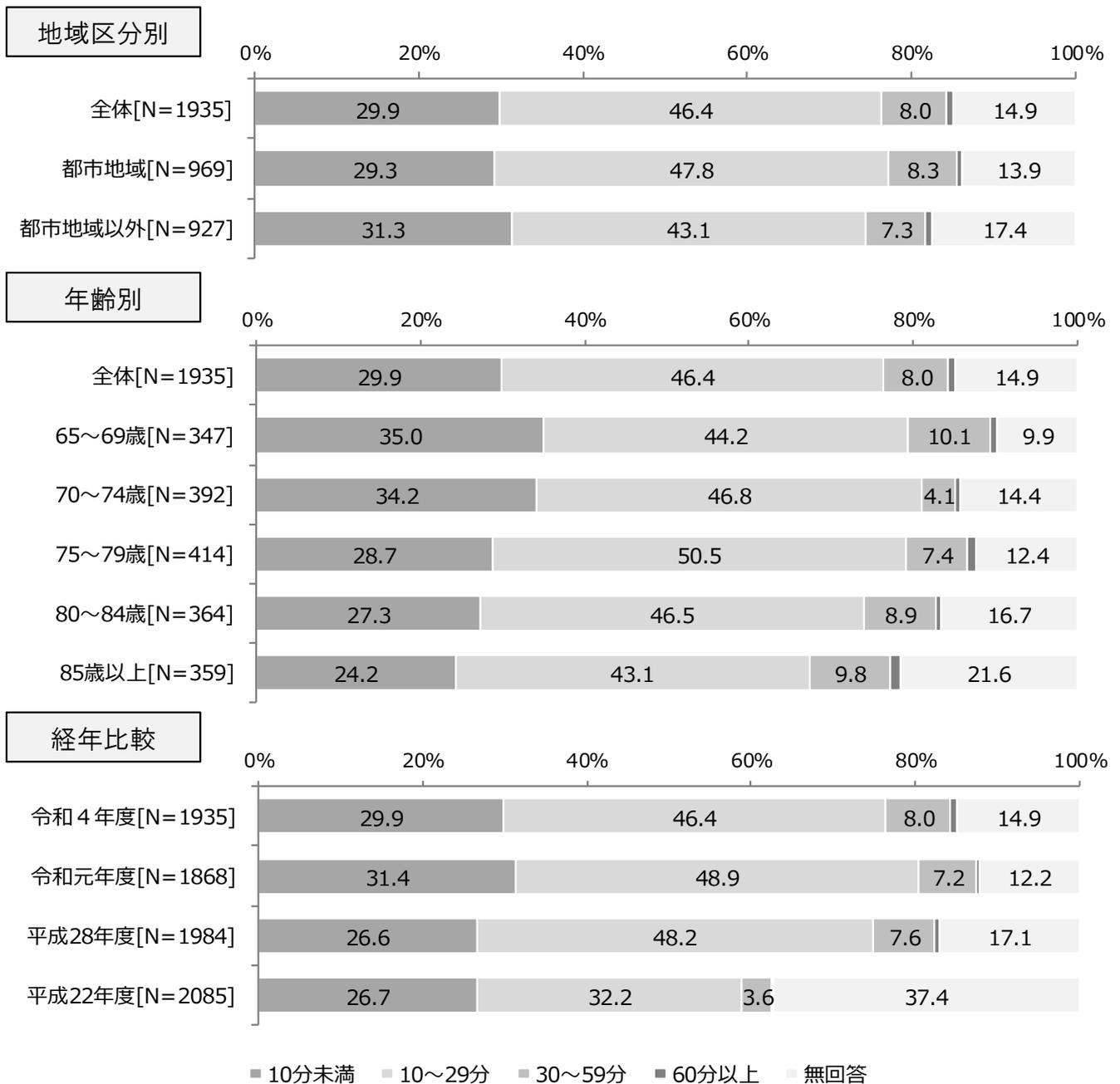
最寄りの駅またはバス停まで、片道でどのくらい時間がかかるかを聞いたところ、「10～29分」が46.4%と最も多く、「10分未満」は29.9%となっています。

地域区別では、都市地域以外で「10分未満」の割合がやや多くなっています。

年齢別に見ると、年齢が下がるにつれ、「10分未満」の割合が多くなっています。

経年比較では、令和元年度と比べて、「10分未満」「10～29分」がやや減っています。

図表 12 最寄り駅等までの時間



(5) 買い物などの日常の状況について

① 買い物の方法

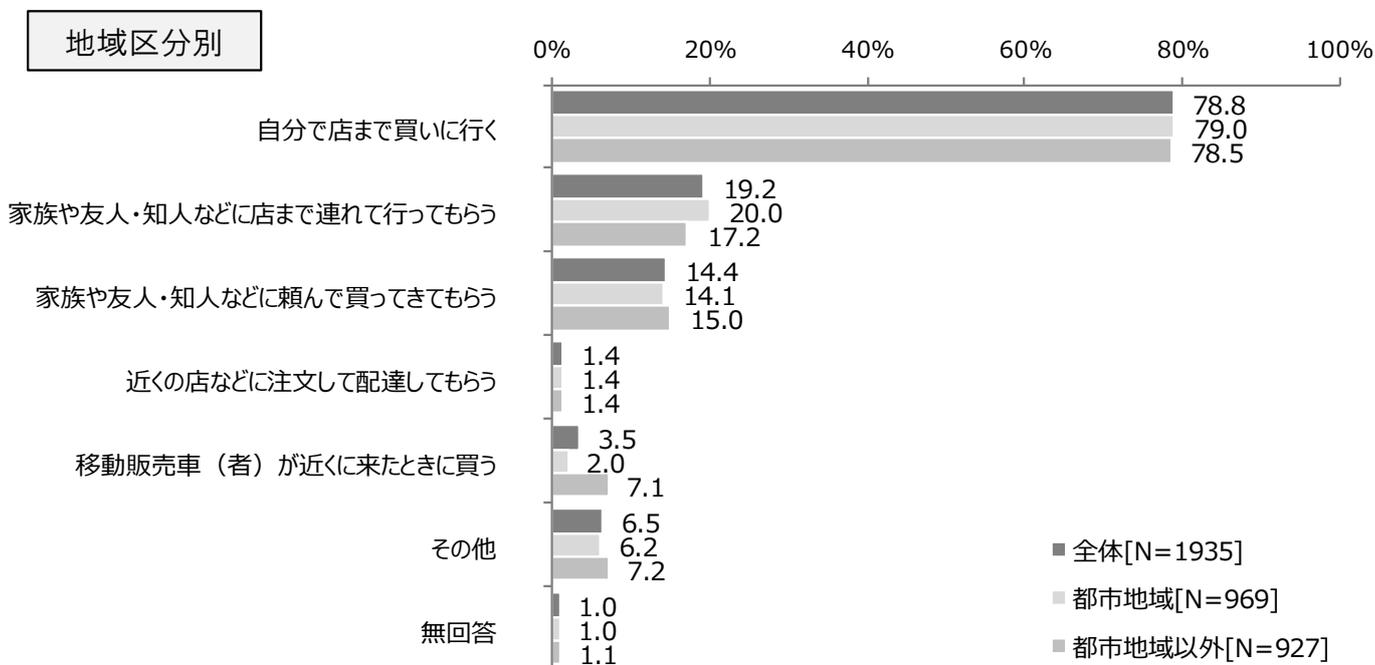
問12 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。(よく使う方法すべてに○)

買い物の方法としては、「自分で店まで買いに行く」が78.8%と多くなっています。その他、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.2%、「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が14.4%等となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「自分で店まで買いに行く」という人が少なくなり、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」「家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう」が多くなっています。

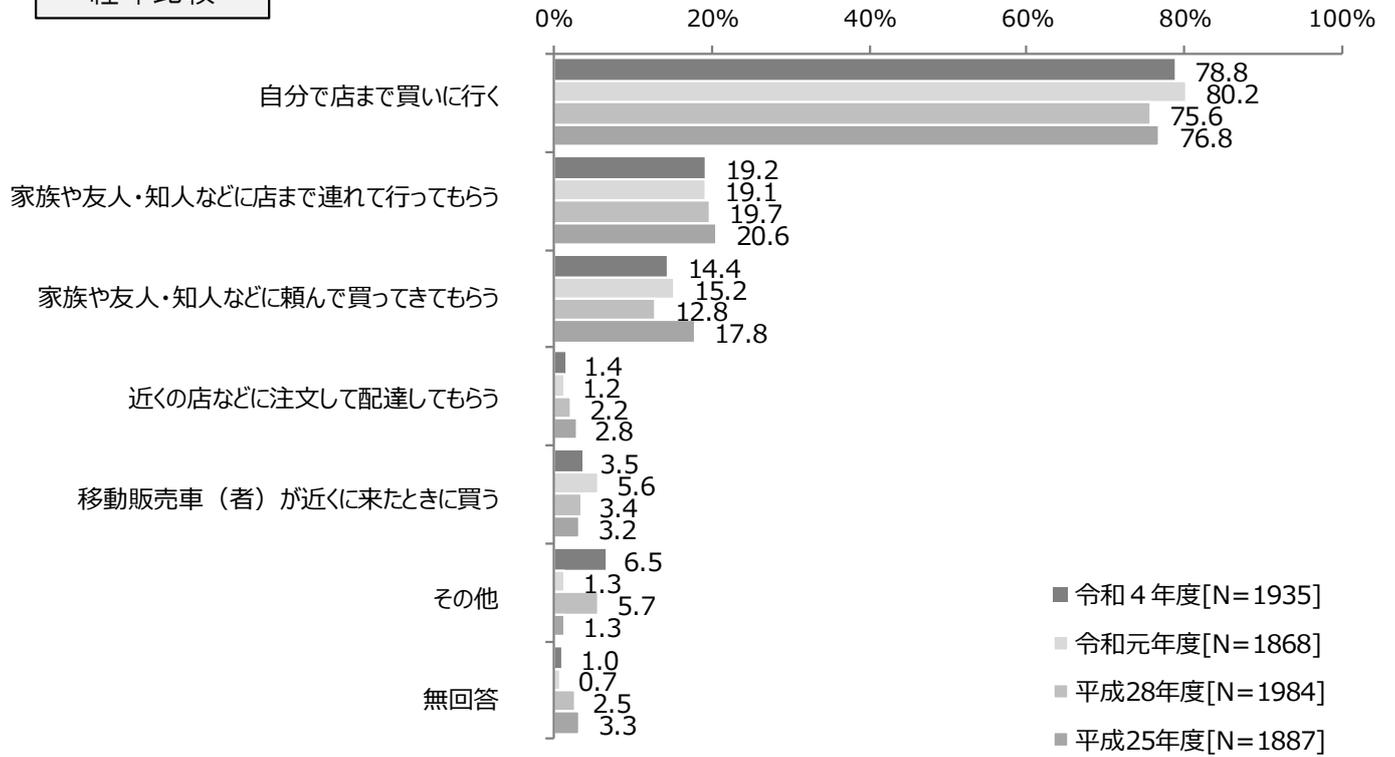
経年比較では、「自分で店まで買いに行く」が令和元年度に比べ、やや減っています。

図表 13 買い物の方法（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
自分で店まで買いに行く	78.8	91.6	87.0	79.9	72.9	62.3
家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう	19.2	10.8	14.4	17.0	24.3	29.8
家族や友人・知人などに頼んで買ってもらう	14.4	10.9	9.6	12.8	16.1	23.1
近くの店などに注文して配達してもらう	1.4	1.3	0.8	0.9	1.6	2.4
移動販売車（者）が近くに来たときに買う	3.5	1.1	2.0	2.7	4.1	7.8
その他	6.5	5.3	4.0	6.1	8.1	8.9
無回答	1.0	0.3	1.0	1.3	0.8	1.5

経年比較



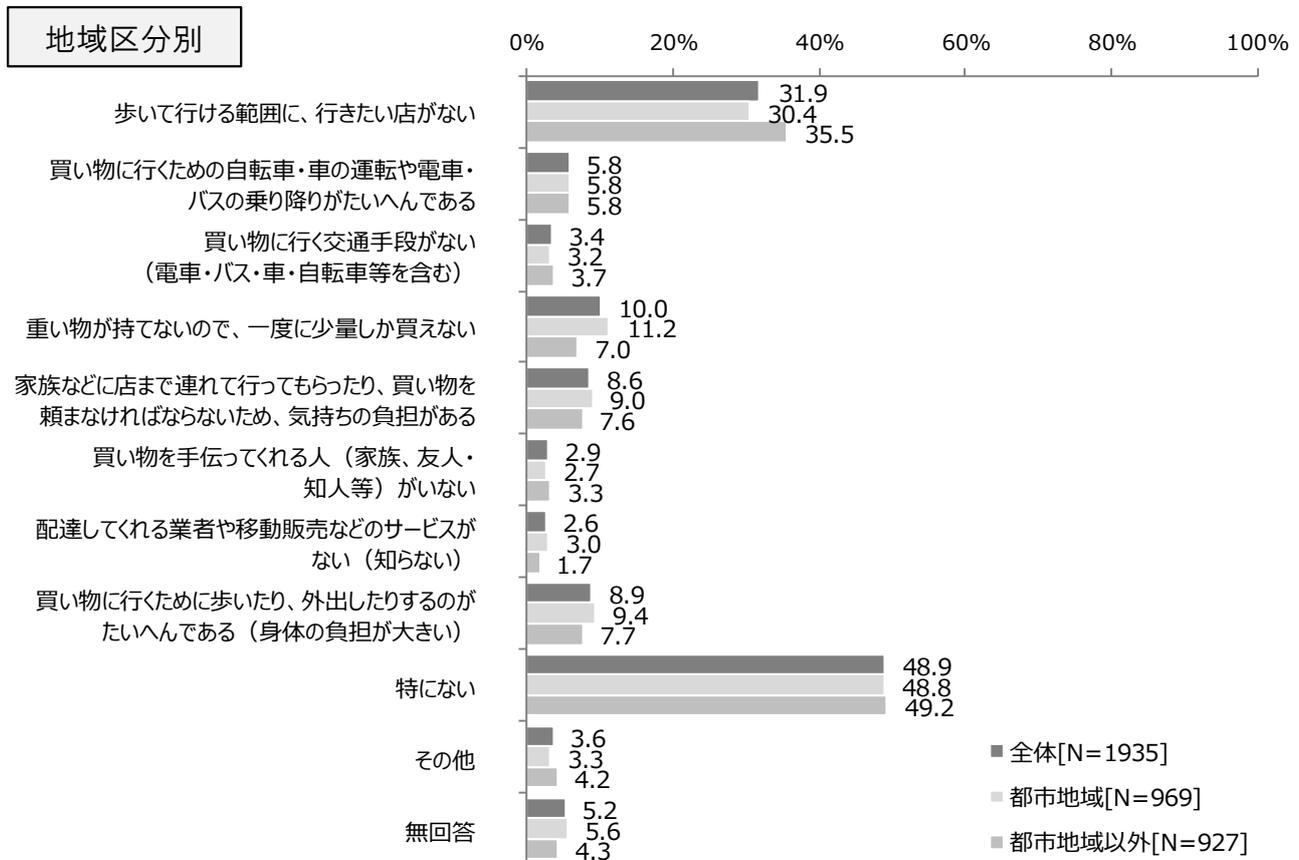
②買い物で不便なことや困っていること

問13 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

買い物で不便なことや困っていることについて聞いたところ、「特にない」が48.9%と半数近くを占めます。不便なことや困っていることとしては、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が31.9%、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が10.0%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」が8.9%等となっています。

地域区別で見ると、都市地域以外で、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」の割合が多くなっています。年齢別では、84歳以下で年齢が上がるにつれ、「歩いて行ける範囲に、行きたい店がない」、「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が多くなっています。

図表 14 買い物で不便なことや困っていること（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
歩いて行ける範囲に、行きたい店がない	31.9	27.8	26.4	33.6	38.3	33.2
買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである	5.8	3.3	3.7	3.8	7.4	11.0
買い物に行く交通手段がない（電車・バス・車・自転車等を含む）	3.4	0.3	1.0	1.7	5.7	8.4
重い物が持てないので、一度に少量しか買えない	10.0	2.1	6.0	8.8	18.0	14.8
家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある	8.6	1.4	5.4	8.0	11.6	16.7
買い物を手伝ってくれる人（家族、友人・知人等）がいない	2.9	0.3	3.1	3.0	4.2	3.6
配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない（知らない）	2.6	1.1	2.8	2.3	2.7	4.2
買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）	8.9	3.1	5.3	7.3	11.3	17.9
特にない	48.9	64.6	59.4	48.6	36.6	35.4
その他	3.6	2.0	3.7	4.3	5.0	2.4
無回答	5.2	3.2	3.2	5.5	5.4	8.9

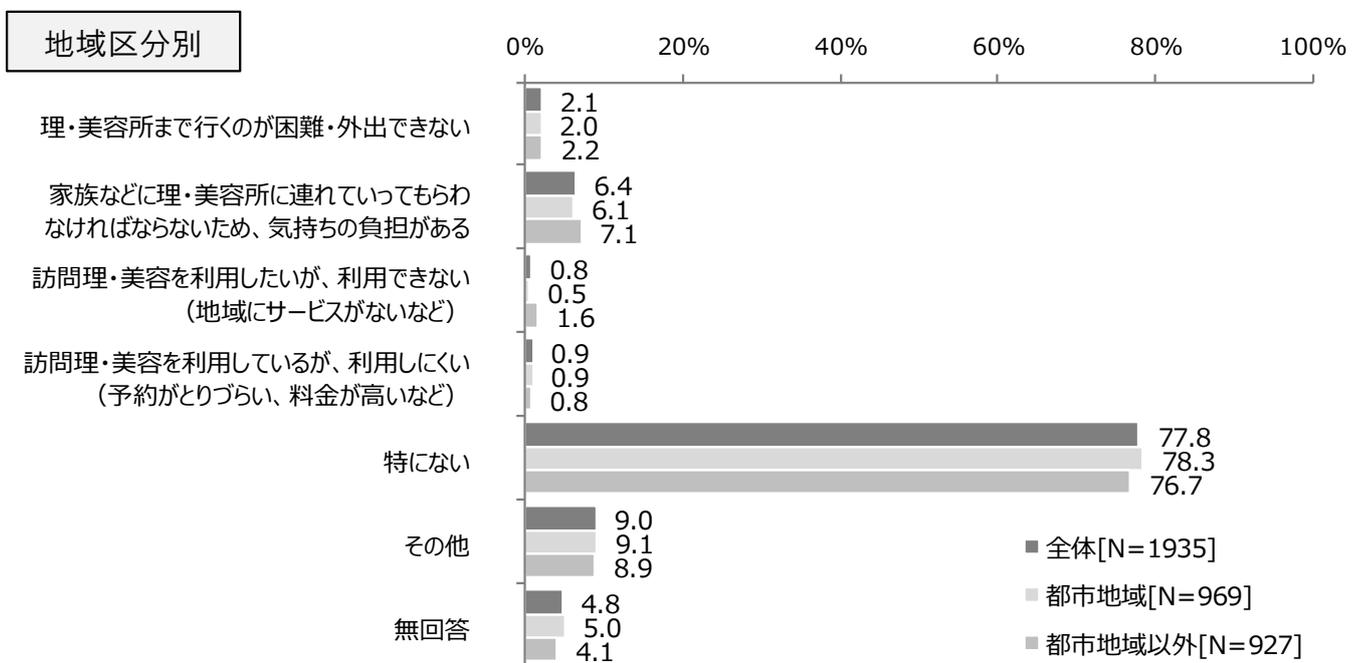
③理・美容で困っていること

問14 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

理・美容で困っていることについて聞いたところ、「特にない」が77.8%と多くなっています。困っていることとしては、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が6.4%等となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある」が増えています。

図表 15 理・美容で困っていること（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
理・美容所まで行くのが困難・外出できない	2.1	1.0	0.2	2.4	2.0	5.0
家族などに理・美容所に連れていってもらわなければならないため、気持ちの負担がある	6.4	1.4	2.7	6.6	7.1	14.5
訪問理・美容を利用したいが、利用できない（地域にサービスがないなど）	0.8	0.3	0.1	0.7	1.0	2.0
訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい（予約がとりづらい、料金が高等）	0.9	0.4	0.2	0.2	1.2	2.5
特にない	77.8	90.4	89.2	77.1	71.4	60.6
その他	9.0	3.9	4.7	10.5	13.6	12.3
無回答	4.8	3.4	2.9	4.1	5.5	8.2

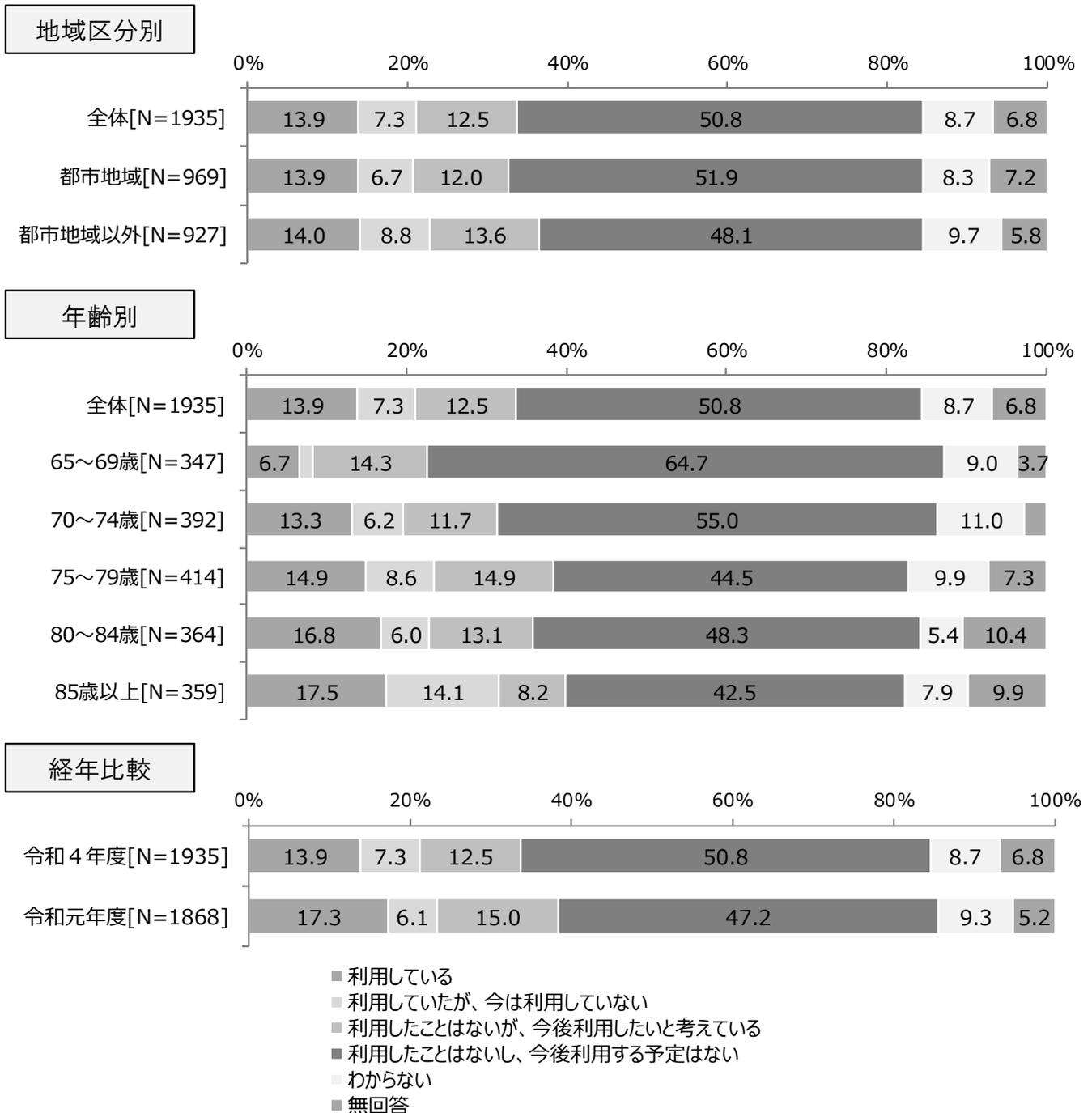
④体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無

問15 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

介護予防のためのサービスの利用の有無については、「利用したことはないし、今後利用する予定はない」が50.8%、「利用している」13.9%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」12.5%、「利用していたが、今は利用していない」7.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「利用している」の割合が多くなっています。

図表 16 体操教室など介護予防のためのサービス利用の有無



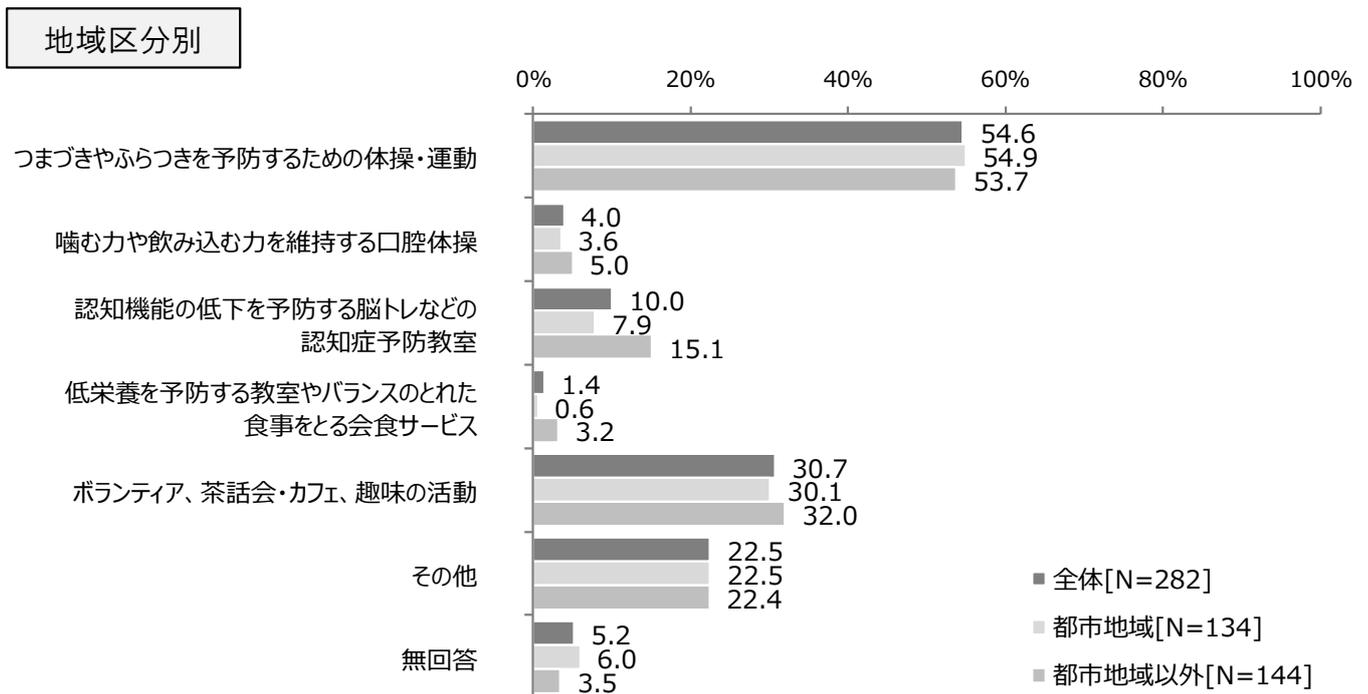
⑤利用している介護予防サービス

問16 前の問で「1. 」と答えた方(かた)にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。
 (1)現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

利用している介護予防のサービス内容は、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が54.6%、「ボランティア、茶話会、カフェ、趣味の活動」が30.7%等となっています。

地域区分別では、都市地域以外では都市地域に比べて「認知症予防教室」の割合が多くなっています。
 年齢別では80～84歳の「噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操」が7.3%と、他の層に比べて多くなっています。

図表 17 利用している介護予防サービス（複数回答）



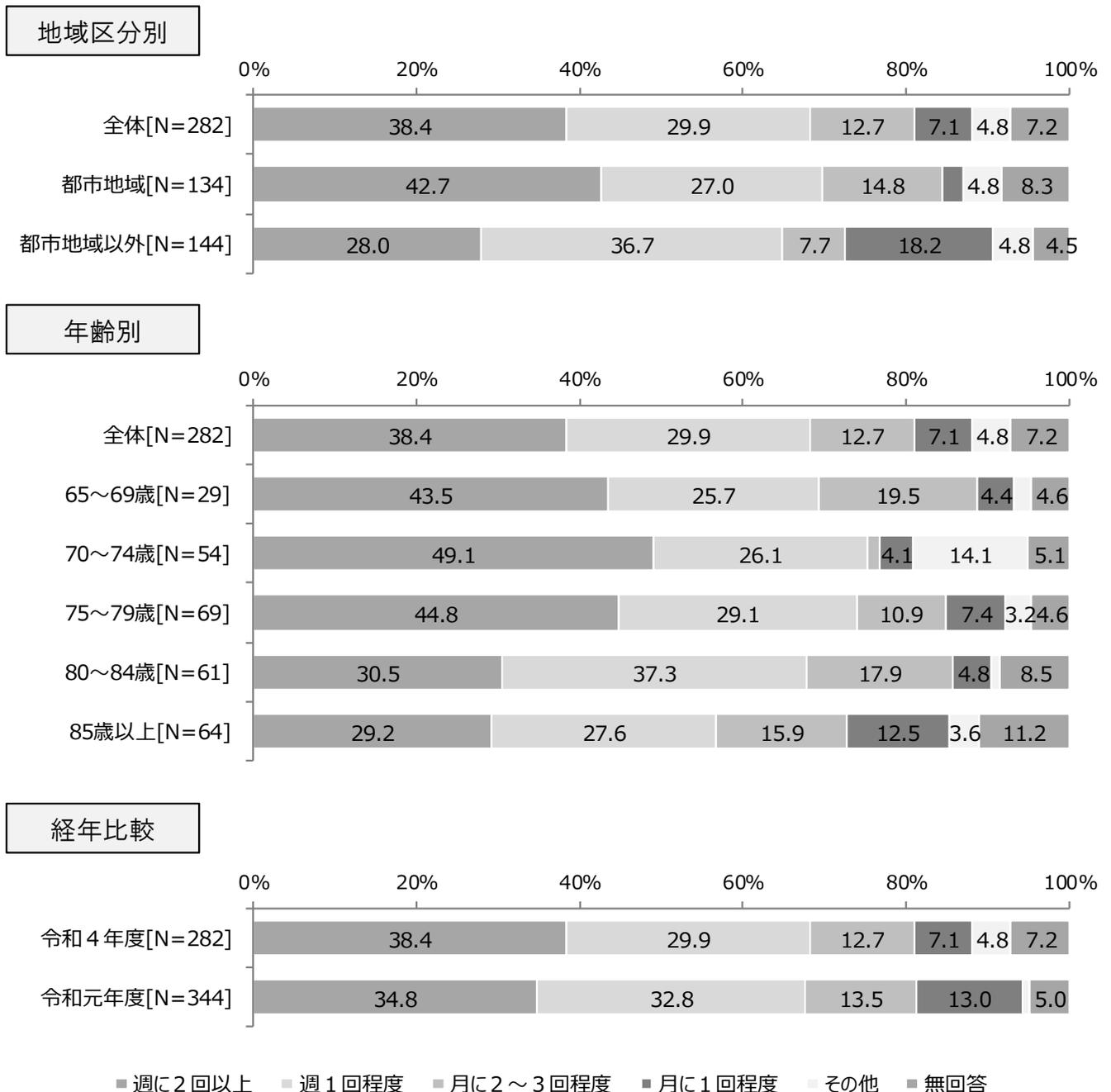
年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=282]	[N=29]	[N=54]	[N=69]	[N=61]	[N=64]
つまづきやふらつきを予防するための体操・運動	54.6	47.5	58.9	49.5	52.0	61.3
噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操	4.0	0.3	5.0	2.4	7.3	2.9
認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室	10.0	2.0	11.8	7.8	9.8	14.0
低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス	1.4	2.0	-	1.8	0.9	2.4
ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動	30.7	40.3	23.3	35.7	35.6	22.9
その他	22.5	29.1	25.6	22.2	25.3	14.6
無回答	5.2	-	6.4	4.1	3.9	8.8

⑥介護予防サービスの利用頻度

問16 (2)現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

介護予防サービスの利用頻度については「週に2回以上」が38.4%、「週1回程度」が29.9%等となっています。地域区分別では、都市地域の「週に2回以上」の割合が42.7%と、都市地域以外に比べて多くなっています。年齢別では、65～79歳で「週に2回以上」の割合が多くなっています。

図表 18 介護予防サービスの利用頻度



⑦介護予防サービスを利用しない理由

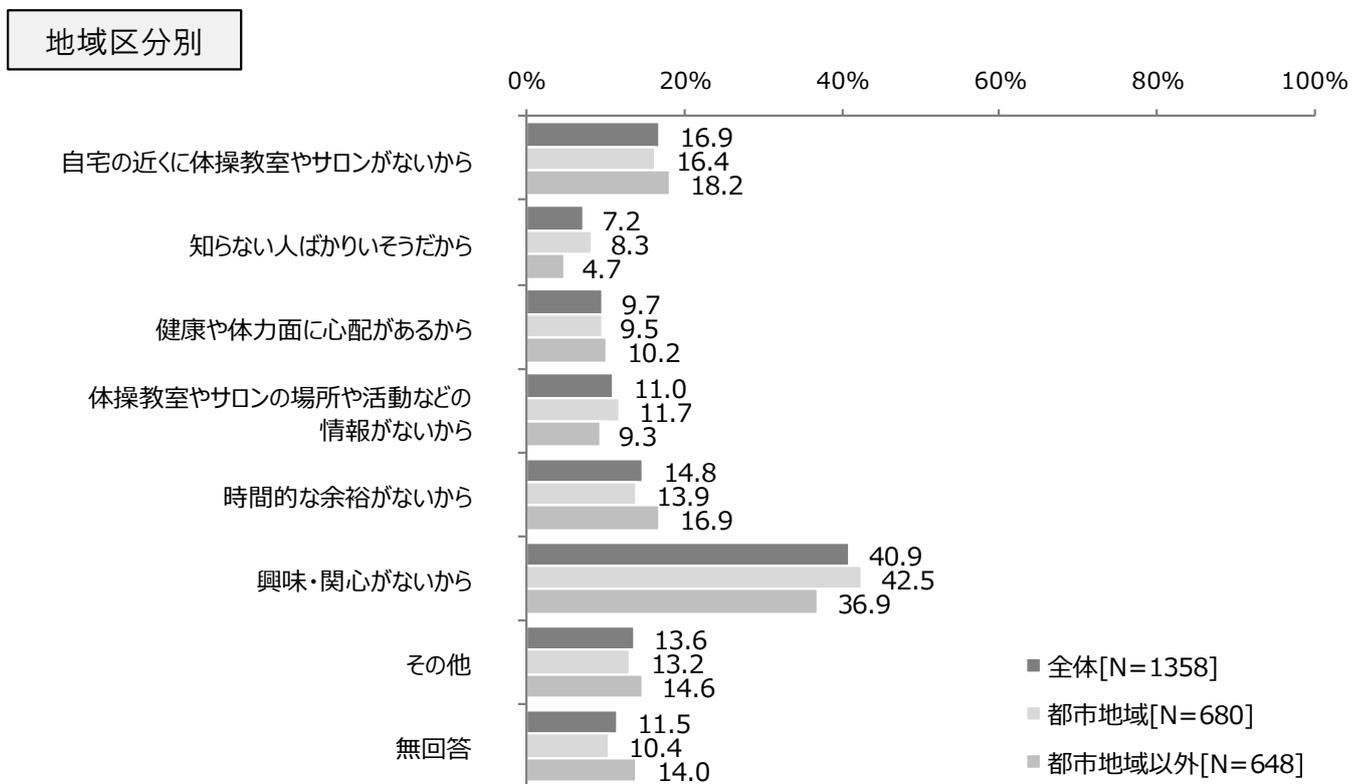
問17 問15で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

介護予防サービスを利用しない理由については、「興味・関心がないから」が40.9%、「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」が16.9%、「時間的な余裕がないから」が14.8%等になっています。

地域区分別では、都市地域は都市地域以外に比べて、「興味・関心がないから」の割合が多くなっています。

年齢別では、75歳以上で「自宅の近くに体操教室やサロンがないから」が多くなっています。

図表 19 介護予防サービスを利用しない理由（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1358]	[N=270]	[N=287]	[N=277]	[N=248]	[N=231]
自宅の近くに体操教室やサロンがないから	16.9	12.8	14.4	17.9	21.6	18.5
知らない人ばかりいそうだから	7.2	8.9	4.8	9.5	6.6	6.0
健康や体力面に心配があるから	9.7	2.9	6.6	12.1	12.1	16.6
体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから	11.0	9.4	11.8	11.3	10.7	11.9
時間的な余裕がないから	14.8	21.9	15.6	16.1	10.4	8.4
興味・関心がないから	40.9	47.8	47.3	35.8	39.1	32.5
その他	13.6	12.4	17.0	13.8	11.7	12.7
無回答	11.5	10.4	7.2	8.7	14.2	18.5

(6) 通院状況などについて

①通院の頻度

問18 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

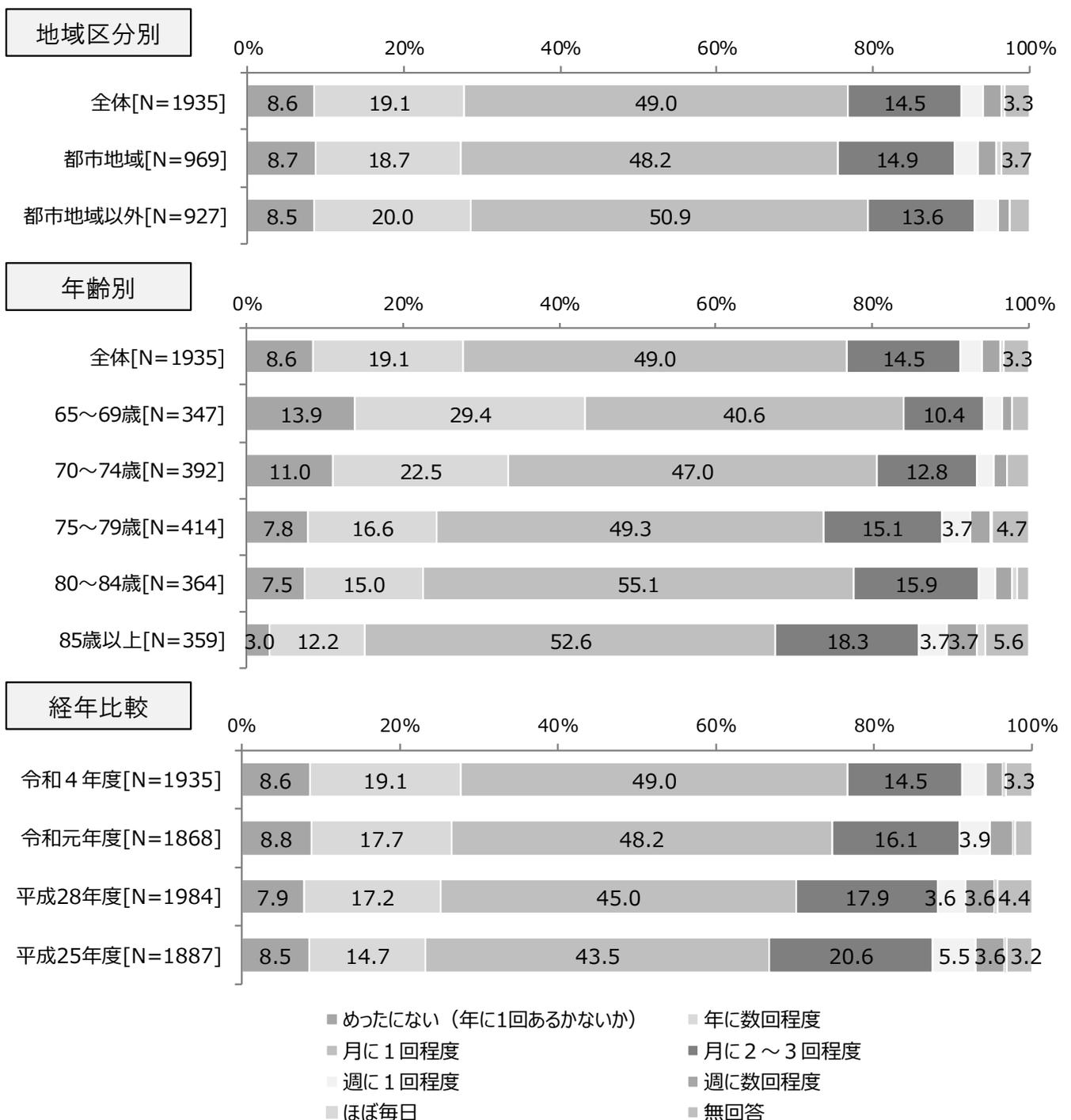
通院の程度としては、「月に1回程度」が49.0%と最も多く、次いで、「年に数回程度」が19.1%、「月に2～3回程度」が14.5%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて、「月に1回程度」がやや多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、通院頻度が多くなる傾向があります。

経年比較では、徐々に「年に数回程度」「月に1回程度」が増え、通院頻度が減る傾向があります。

図表 20 通院の頻度



② かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

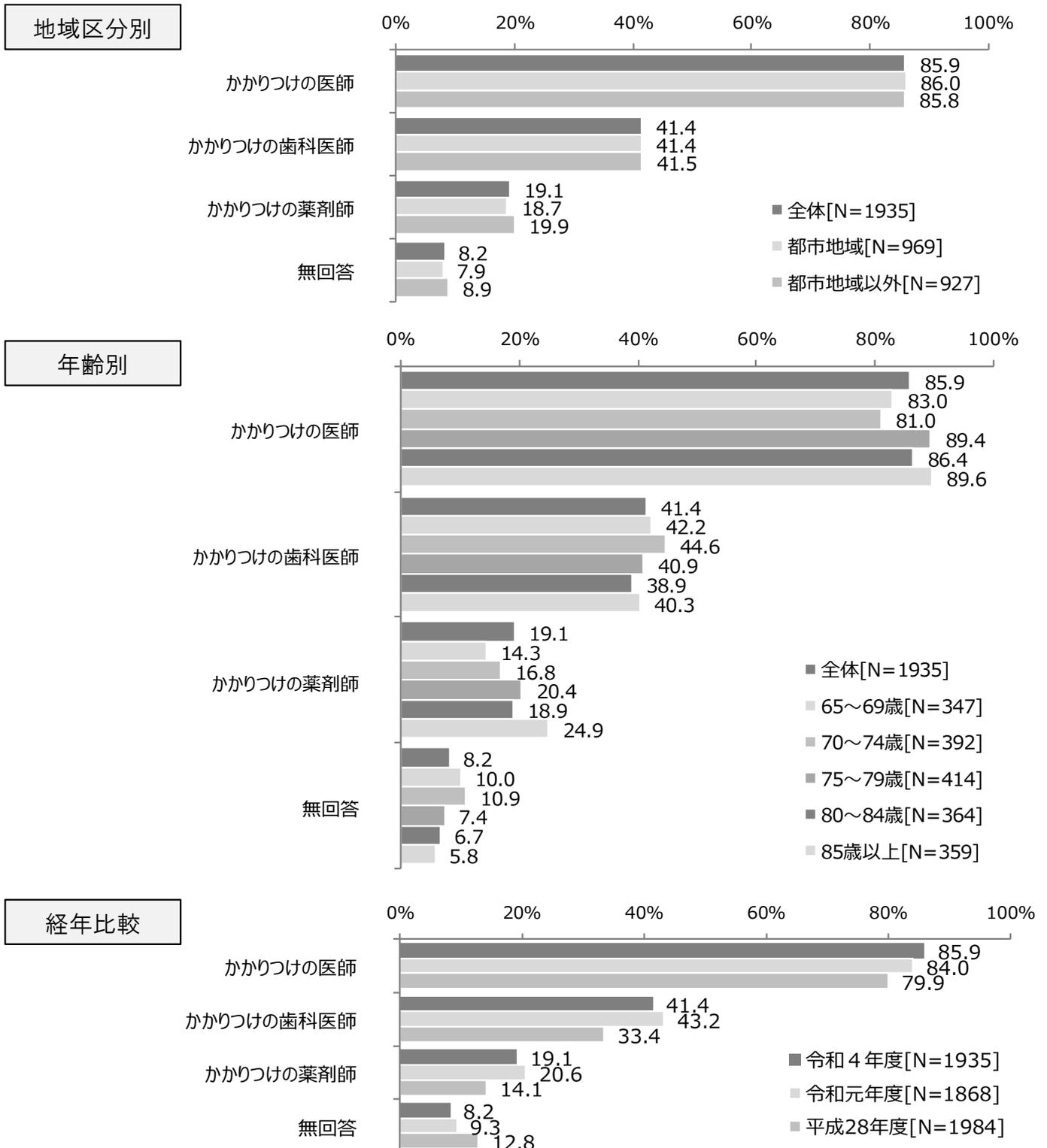
問19 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無については、「かかりつけの医師」は85.9%、「かかりつけの歯科医師」は41.4%、「かかりつけの薬剤師」は19.1%の人がいると回答しています。

年齢別で見ると、75歳以上で「かかりつけの医師」がいる人が多くなっています。

経年比較では、「かかりつけの医師」が徐々に増えています。

図表 21 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



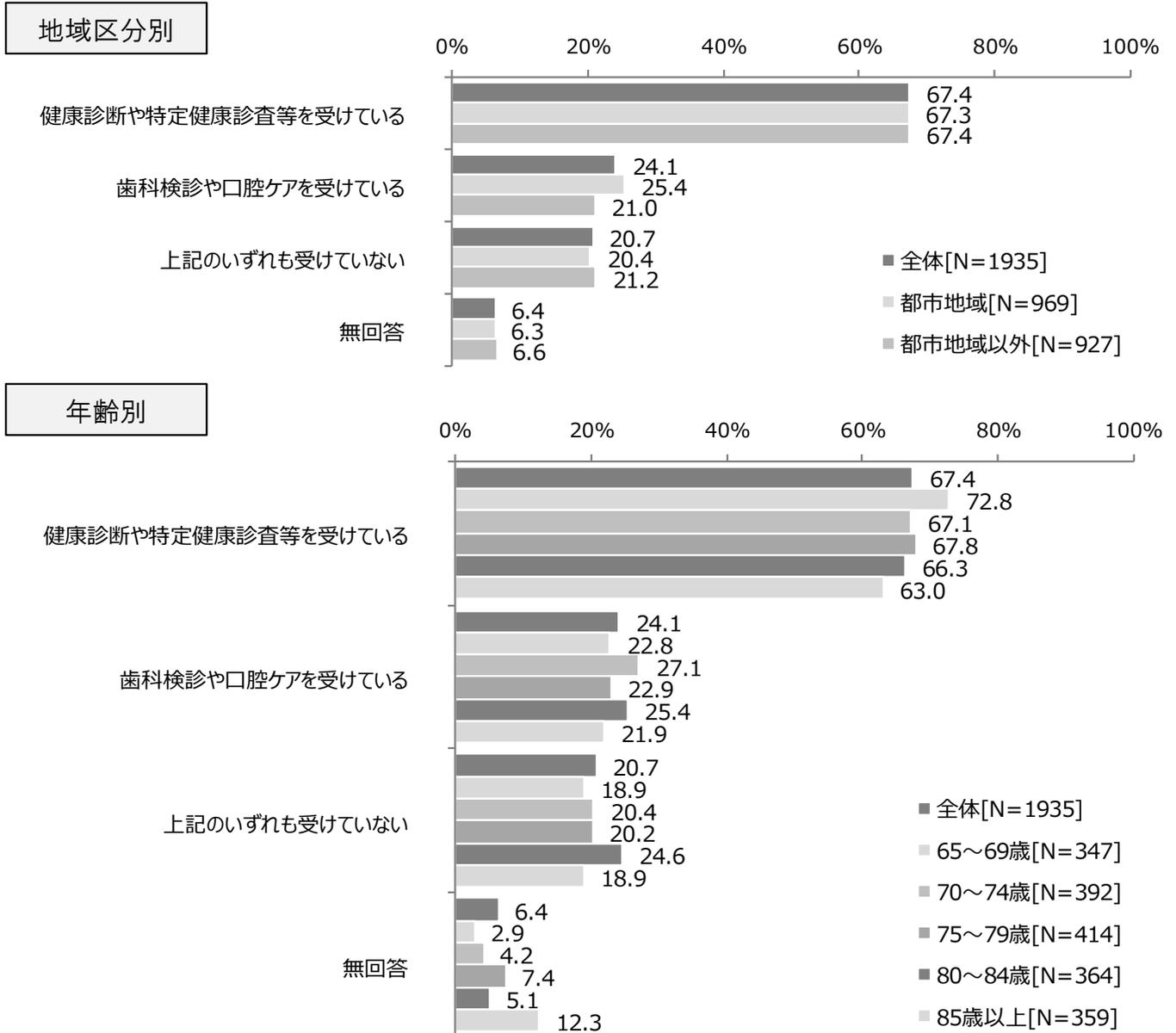
③健康診断の受診状況について

問20 あなたには、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

健康診断については、「健康診断や特定健康診査等を受けている」は67.4%、「歯科検診や口腔ケアを受けている」は24.1%、「上記のいずれも受けていない」は20.7%の人が回答しています。

年齢別では、65～69歳で「健康診断や特定健康診査等を受けている」が多くなっています。

図表 22 健康診断の受診状況について（複数回答）



(7) 健康について

①現在の健康状態

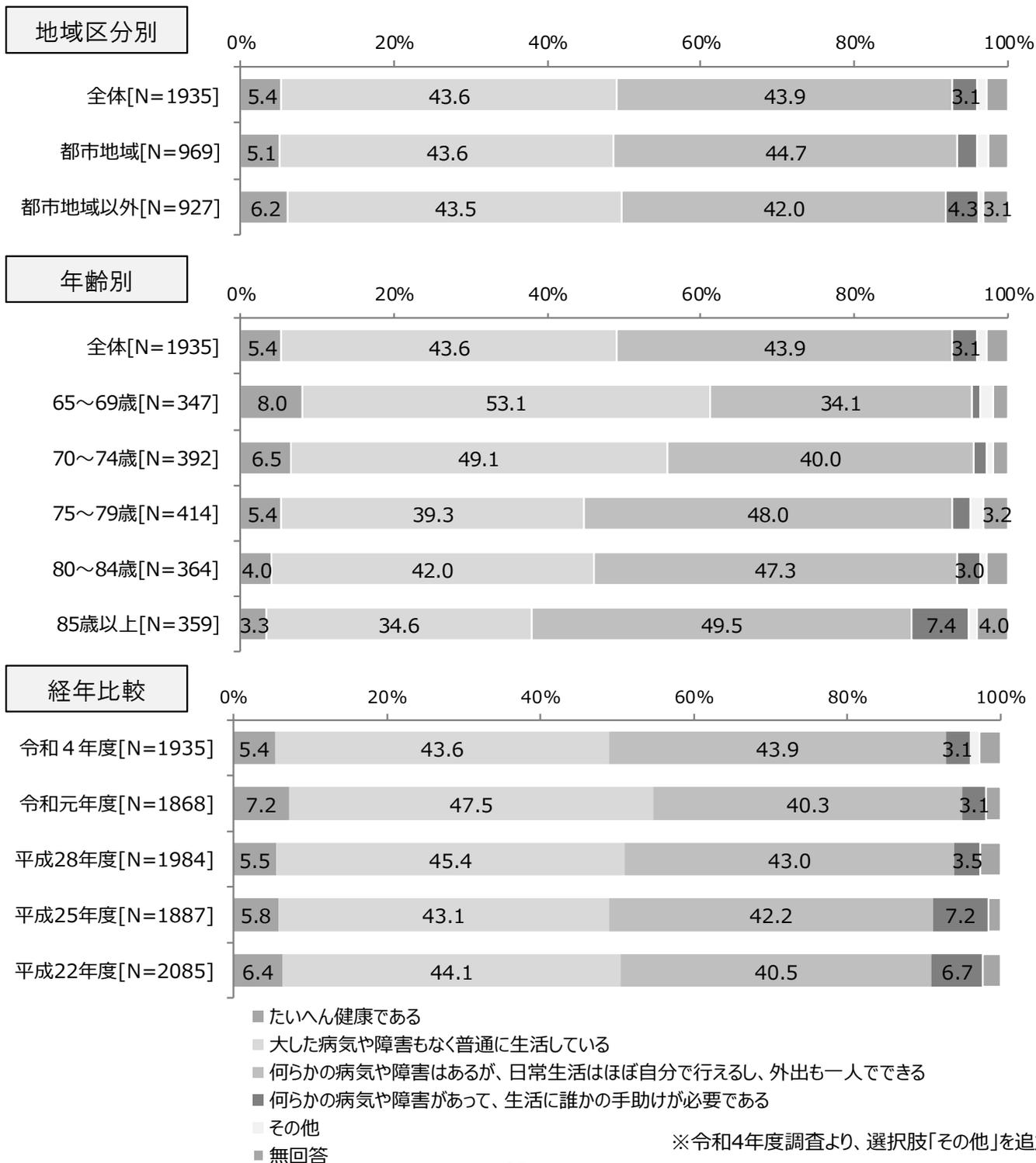
問21 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

現在の健康状態については、「大した病気や障害もなく普通に生活している」が43.6%、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える」が43.9%等となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、なんらかの病気や障害のある人が多くなる傾向にあります。

経年比較では、「何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人で行える」の割合が増えています。

図表 23 現在の健康状態



②運動の有無

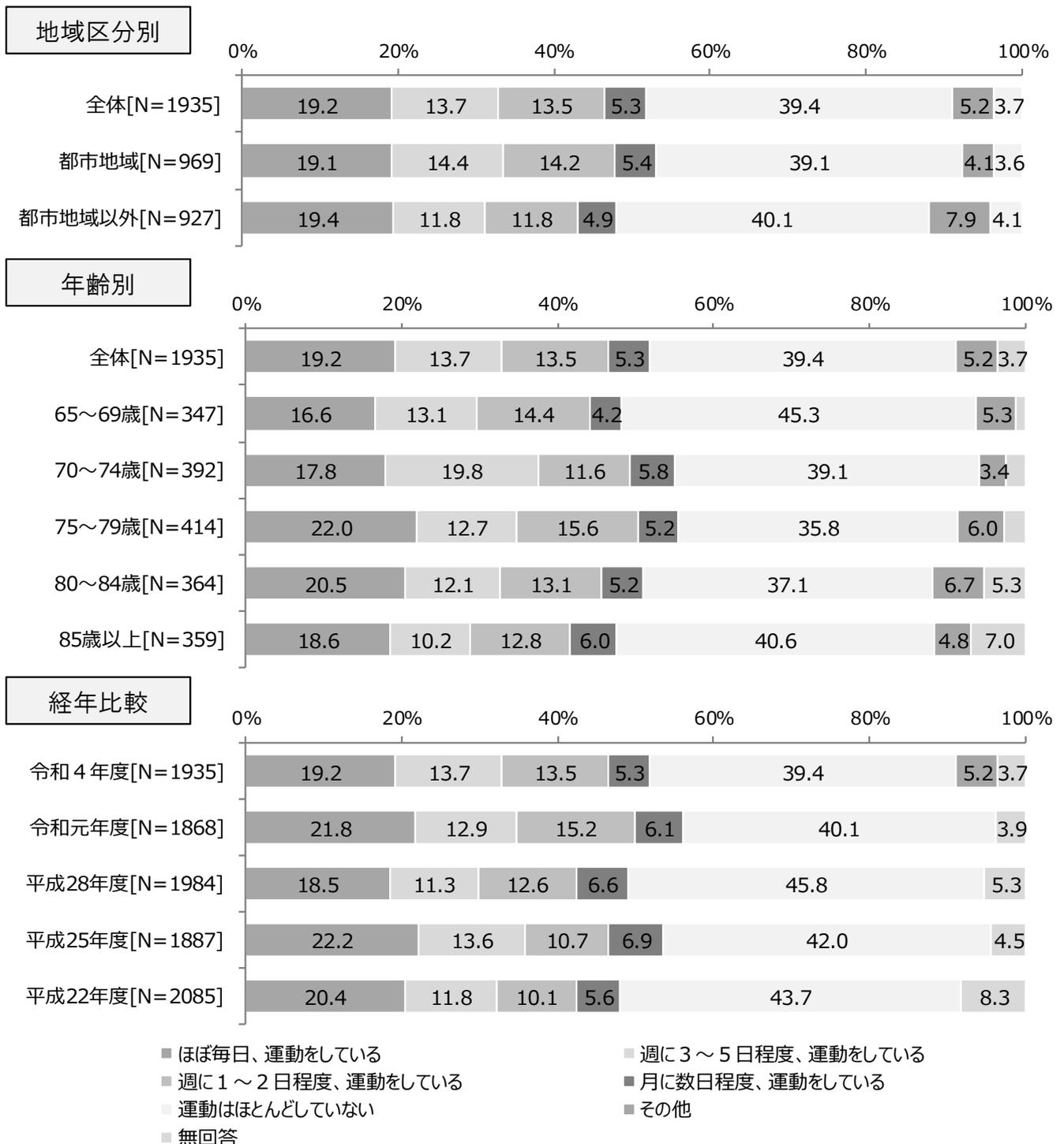
問22 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

運動の有無については、「運動はほとんどしていない」が39.4%と多く、「ほぼ毎日、運動をしている」は19.2%となっています。半数強の人が「運動をしている」人たちです。

地域区別では、都市地域は都市地域以外に比べて、「運動をしている」という人がやや多くなっています。年齢別で見ると、75～84歳で、「ほぼ毎日、運動をしている」という人が多くなっています。

経年比較では、令和元年度に比べ、「運動をしている」という人が減っていますが、運動以外の作業（農作業等）を行っている人がいます。

図表 24 運動の有無



※令和4年度調査より、選択肢「その他」を追加

③健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと

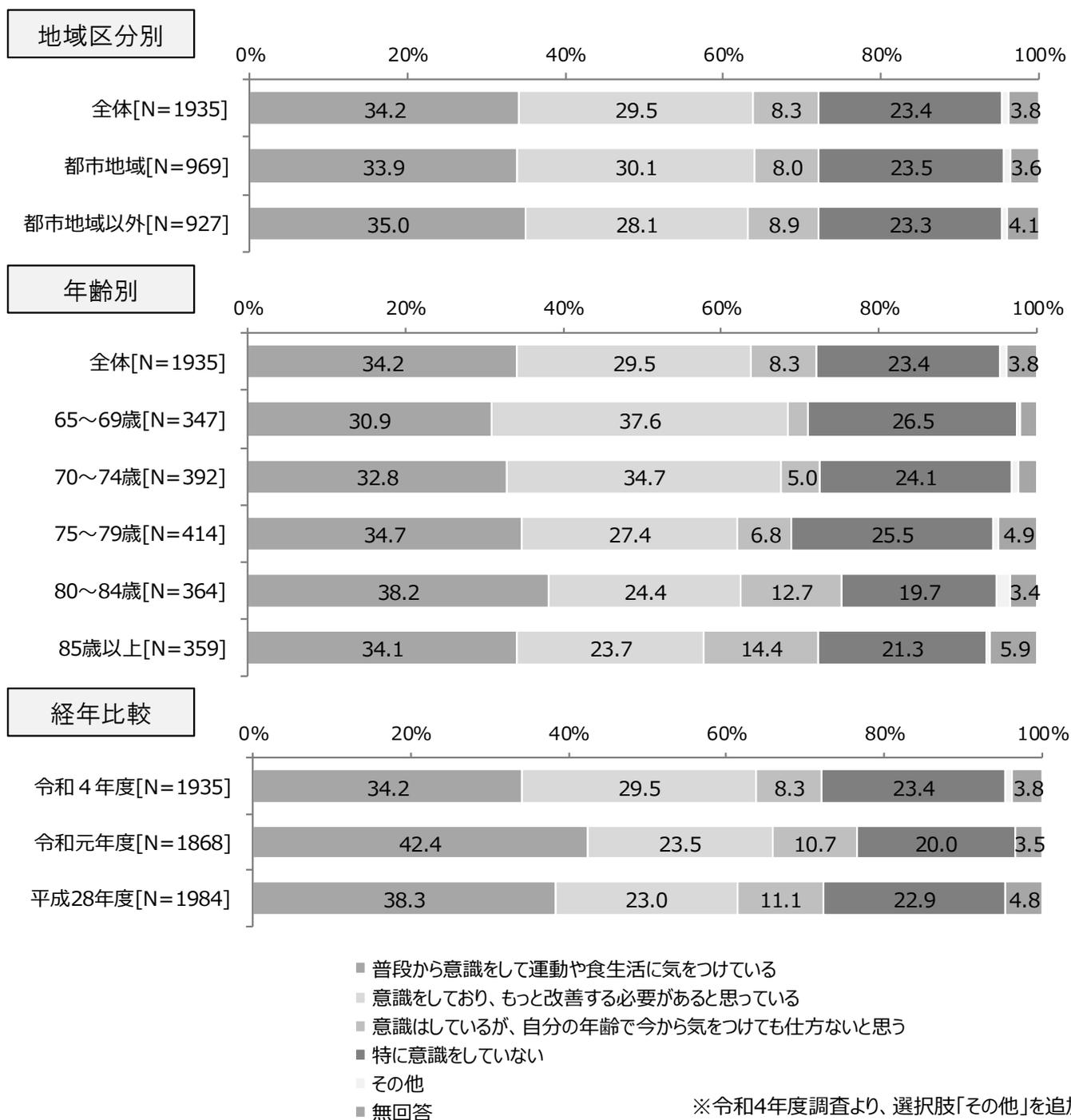
問23 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が34.2%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が29.5%、「特に意識をしていない」が23.4%、「意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う」が8.3%となっています。

年齢別で見ると、75歳～84歳で、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」の割合が多くなっています。

経年比較では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が増えています。

図表 25 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣に思うこと



(8) 普段の暮らしぶりについて

問24 以下の質問に、「はい」か「いいえ」で教えてください。(いずれか1つに○)

JST版活動能力指標（「一人暮らし高齢者が自立し活動的に暮らす」ために必要な能力を測定する尺度）は、「新機器利用」で和歌山県が全国平均を上回っていますが、それ以外の領域は全国平均を下回っています。

図表 26 普段の暮らしぶりについて

		※無回答を除く (%)		JST版活動評価指数 (はい：1点、いいえ：0点)	
		はい	いいえ	本県	(全国)
新機器利用	携帯電話を使うことができますか	87.0	13.0	3.0	> (2.3)
	電話をすることができますか	100.0	0.0		
	スマートフォンのアプリ（例：天気予報アプリ、ゲームアプリなど）を使うことができますか	58.9	41.1		
	ATMを使うことができますか	78.3	21.7		
	ビデオやDVD（ブルーレイ）プレーヤーの操作ができますか	66.3	33.7		
	携帯電話やパソコンでメールができますか	63.0	37.0		
情報収集	外国のニュースや出来事に感心がありますか	83.5	16.5	2.8	< (2.9)
	健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか	85.7	14.3		
	美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか	57.0	43.0		
	教育・教養番組を視聴していますか	49.9	50.1		
生活マネジメント	詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか	76.3	23.7	2.5	< (2.8)
	生活の中でちょっとした工夫をすることがありますか	76.3	23.7		
	病人の看病ができますか	58.6	41.4		
	孫や家族、知人の世話をしていますか	38.2	61.8		
社会参加	地域の祭りや行事などに参加していますか	40.0	60.0	1.3	< (1.7)
	町内会・自治会で活動していますか	34.9	65.1		
	自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか	32.7	67.3		
	奉仕活動やボランティア活動をしていますか	25.0	75.0		

※JST版活動能力指標

【合計】

9.6 < (9.7)

(9) 今後の在宅での暮らし、住み替えなどについて

①現在の住まいの種類

問25 あなたの現在のお住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

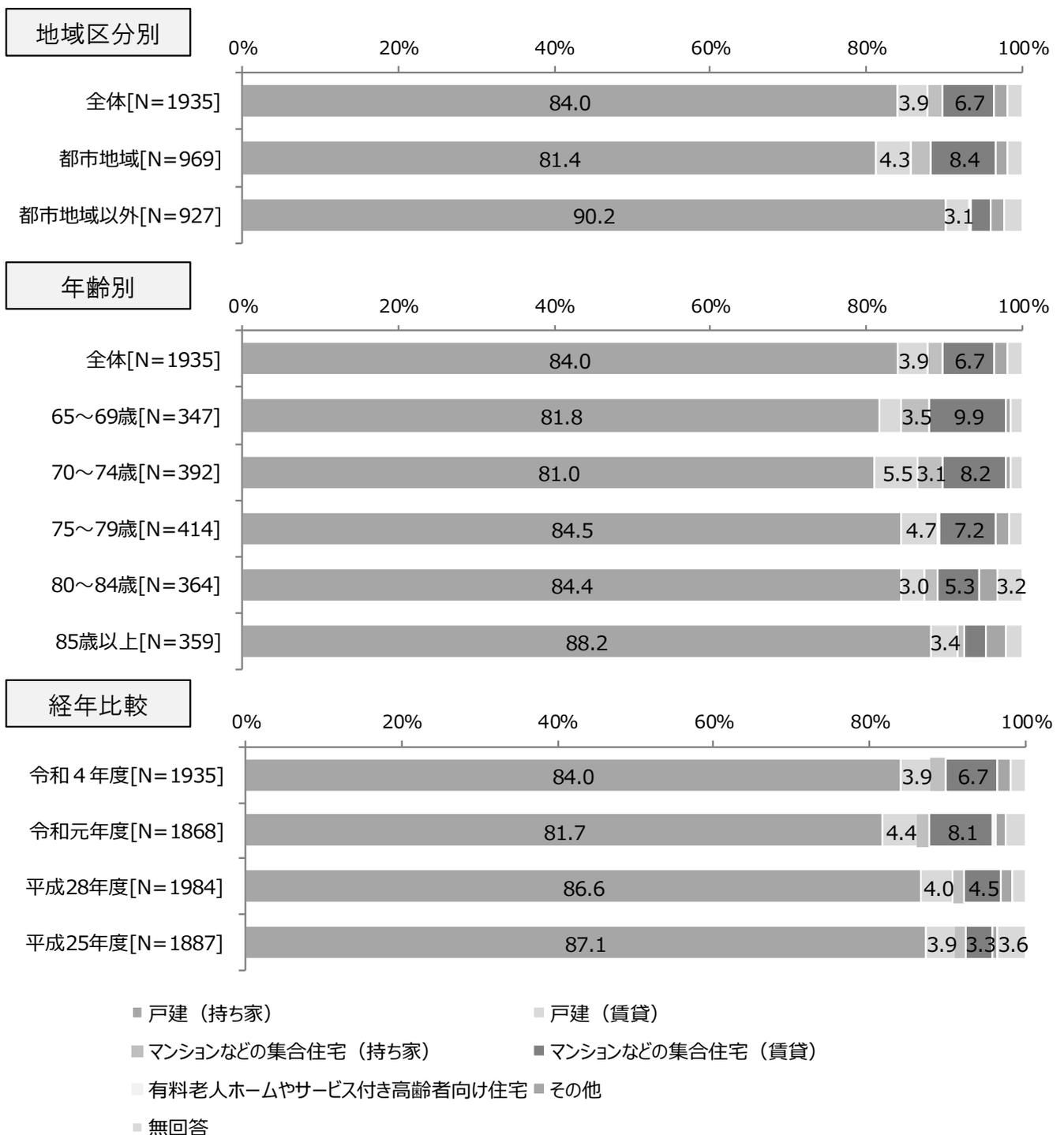
現在の住まいの種類については、「戸建（持ち家）」が84.0%と多くなっています。

地域区別では、都市地域に比べて、都市地域以外で「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。

年齢別では、75歳以上は74歳以下に比べて「戸建（持ち家）」の割合が多くなっています。

経年比較では、令和元年度に比べ、「戸建（持ち家）」がやや増えています。

図表 27 現在の住まいの種類



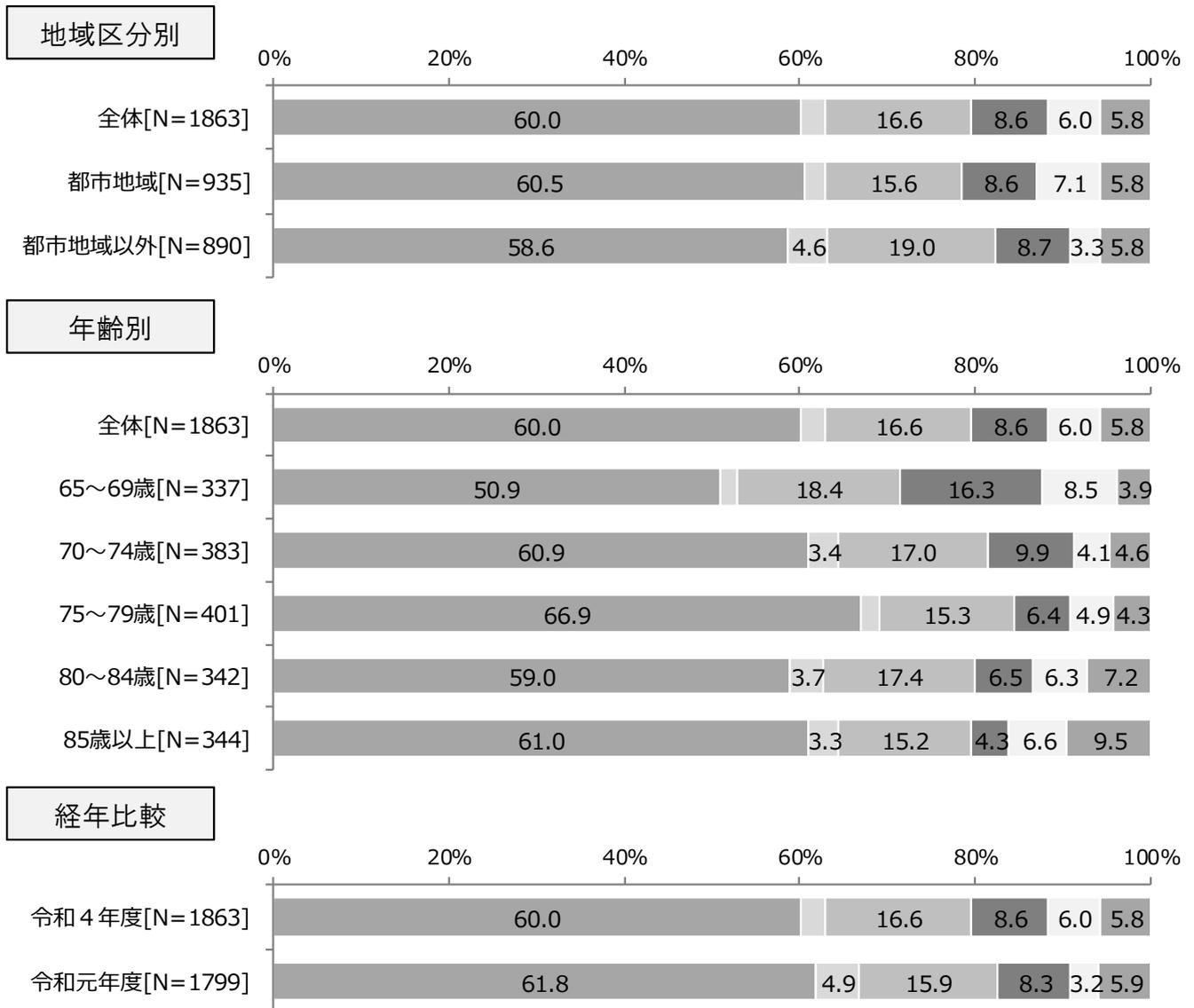
②介護が必要になった場合の住み替え意向

問26 前の問で「1.」～「4.」と答えた方におたずねします。次の(1)～(2)をご回答ください。
 (1)あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在のお住まいから介護サービスが付いている住宅・施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

介護が必要になった場合の住み替え意向について聞いたところ、「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」が60.0%と半数以上を占めます。

地域区分別では、都市地域以外では「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う」の割合が多くなっています。また、年齢別では、65～69歳で「自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う」の割合が少なくなっている一方、「介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う」の割合が多くなっています。

図表 28 介護が必要になった場合の住み替え意向



- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

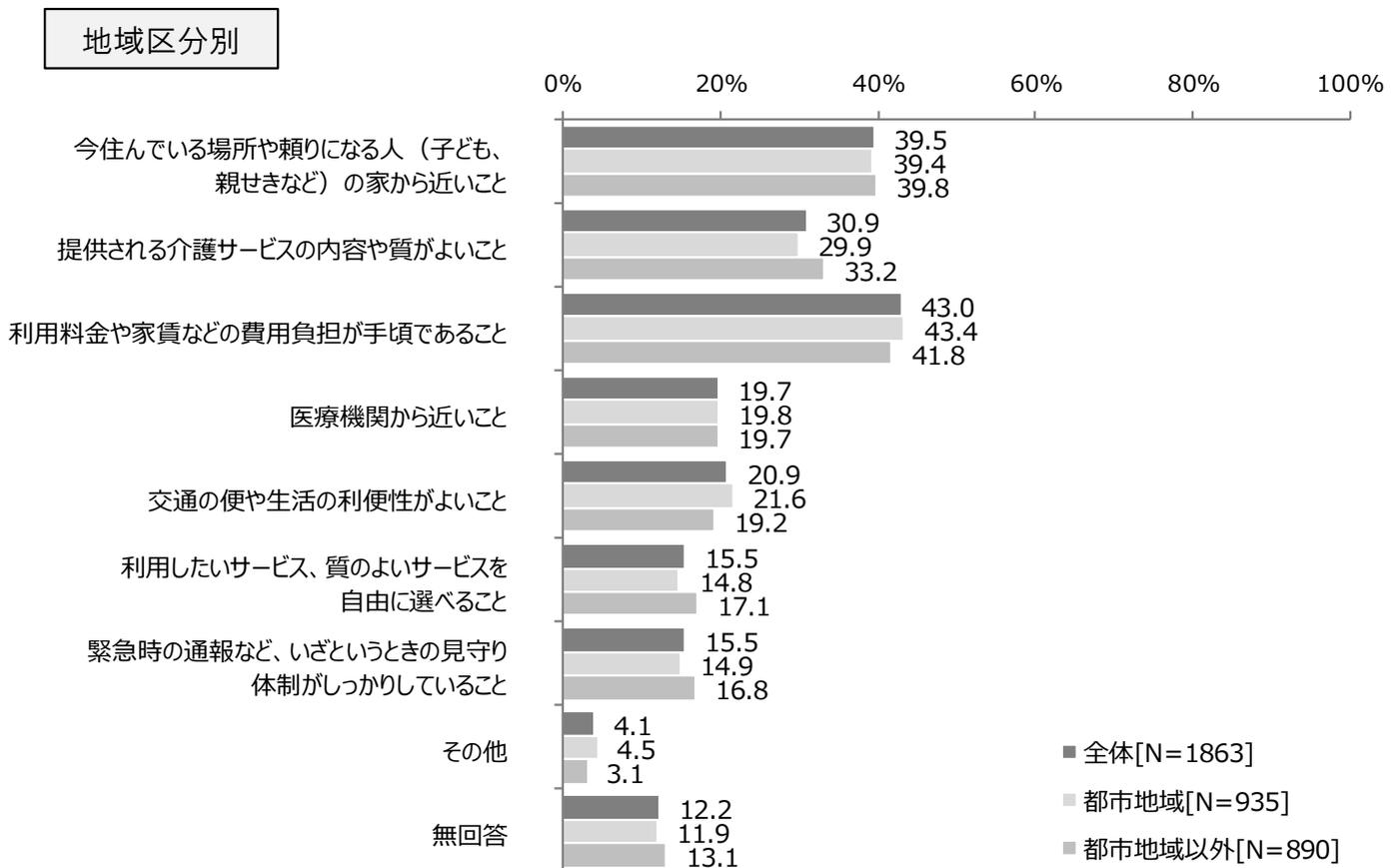
③ 住み替えで重視すること

問26 (2)もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

住み替えで重視することについて聞いたところ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」が43.0%、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が39.5%等となっています。地域区別では、都市地域以外は都市地域に比べて「提供される介護サービスの内容や質がよいこと」「利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること」の割合がやや多くなっています。

年齢別では年齢が下がるにつれ、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」の割合が多くなっています。また、85歳以上では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」の割合が多くなっています。

図表 29 住み替えで重視すること（3つまで○）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1863]	[N=337]	[N=383]	[N=401]	[N=342]	[N=344]
今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと	39.5	35.5	39.2	38.6	37.9	47.0
提供される介護サービスの内容や質がよいこと	30.9	41.4	37.0	28.3	19.9	28.2
利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること	43.0	54.2	46.6	42.5	34.5	37.1
医療機関から近いこと	19.7	15.3	20.9	19.5	19.2	23.7
交通の便や生活の利便性がよいこと	20.9	26.5	21.9	21.3	21.2	13.4
利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること	15.5	23.2	17.2	13.3	12.3	11.5
緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること	15.5	16.0	15.1	15.5	16.1	14.6
その他	4.1	4.7	4.3	2.8	4.6	4.1
無回答	12.2	4.3	9.2	13.2	17.8	16.5

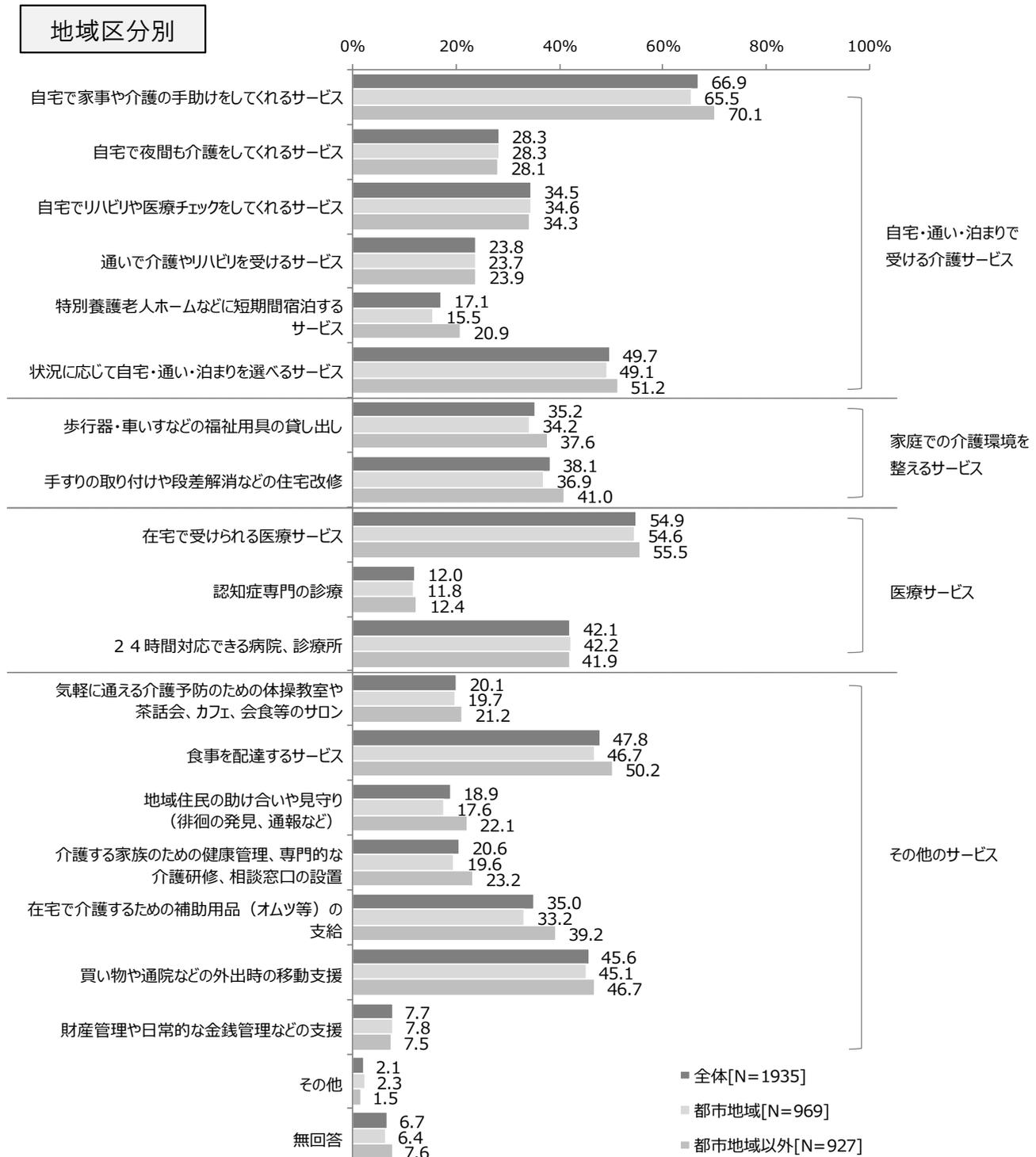
④介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス

問27 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービスについて聞いたところ、「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」が66.9%と最も多く、次いで、「在宅で受けられる医療サービス」が54.9%、「状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス」が49.7%、「食事を配達するサービス」が47.8%、「買い物や通院などの外出時の移動支援」が45.6%等と続いています。

地域区分別では、都市地域以外は都市地域に比べて全般的に割合が多い傾向があります。また、年齢別では65～69歳で全般的に割合が多い傾向にあります。

図表 30 介護が必要になった場合の在宅生活に必要なサービス（複数回答）



要介護度別		全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
		[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
自宅・通い・泊りで受ける介護サービス	自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス	66.9	65.4	69.9	71.8	64.2	62.2
	自宅で夜間も介護をしてくれるサービス	28.3	32.7	26.0	25.0	28.6	29.8
	自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス	34.5	34.1	38.7	32.6	33.0	34.2
	通いで介護やリハビリを受けるサービス	23.8	27.3	25.6	21.2	23.6	21.5
	特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス	17.1	18.7	15.3	17.3	15.9	18.3
	状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス	49.7	53.2	53.0	51.4	44.4	46.7
家庭での介護環境を整えるサービス	歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し	35.2	40.2	38.3	32.6	30.8	34.8
	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修	38.1	50.0	38.3	35.8	36.9	30.3
医療サービス	在宅で受けられる医療サービス	54.9	60.4	59.0	55.4	52.6	46.6
	認知症専門の診療	12.0	16.3	12.6	9.3	10.1	12.4
	24時間対応できる病院、診療所	42.1	50.1	43.8	42.5	38.6	35.5
その他のサービス	気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン	20.1	21.8	20.6	17.0	22.6	18.9
	食事を配達するサービス	47.8	55.8	54.0	45.4	41.5	42.4
	地域住民の助け合いや見守り（徘徊の発見、通報など）	18.9	23.6	17.3	18.1	15.2	21.0
	介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置	20.6	27.0	18.5	20.4	17.1	20.8
	在宅で介護するための補助用品（オムツ等）の支給	35.0	38.6	29.9	34.4	31.9	41.0
	買い物や通院などの外出時の移動支援	45.6	52.5	50.1	43.7	43.1	38.6
	財産管理や日常的な金銭管理などの支援	7.7	13.5	7.6	5.5	7.4	5.2
その他	2.1	1.8	3.0	2.1	1.3	2.1	
無回答	6.7	5.9	5.3	6.7	7.8	8.1	

(10) 自宅での看取りの考え方などについて

①延命治療等への関心

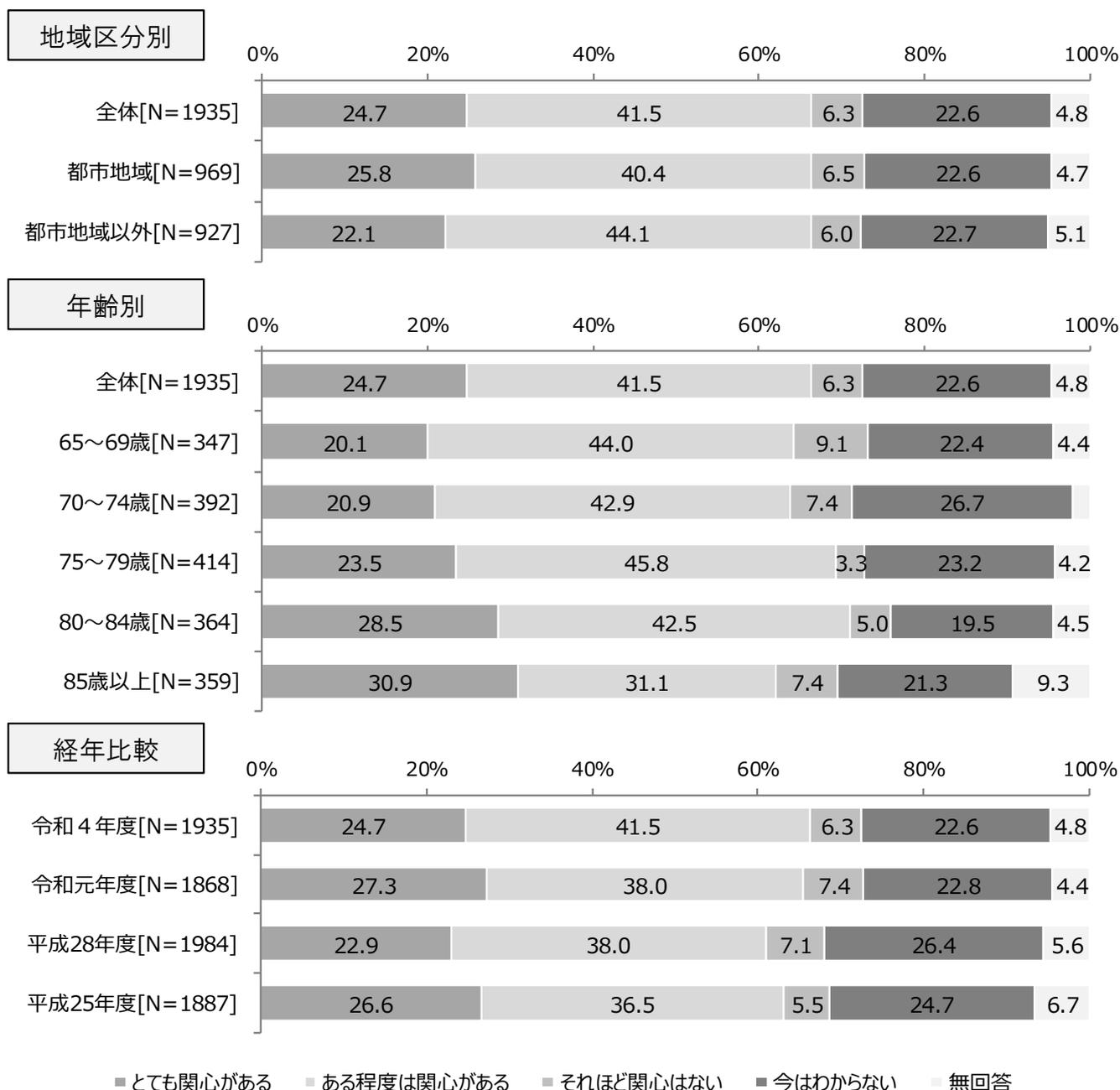
問28 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療等への関心については、「ある程度は関心がある」が41.5%、「とても関心がある」が24.7%、「今はわからない」が22.6%、「それほど関心はない」が6.3%となっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「とても関心がある」の割合が多くなっています。

経年比較では、「とても関心のある」がやや減少し、「ある程度は関心がある」が増えています。

図表 31 延命治療等への関心

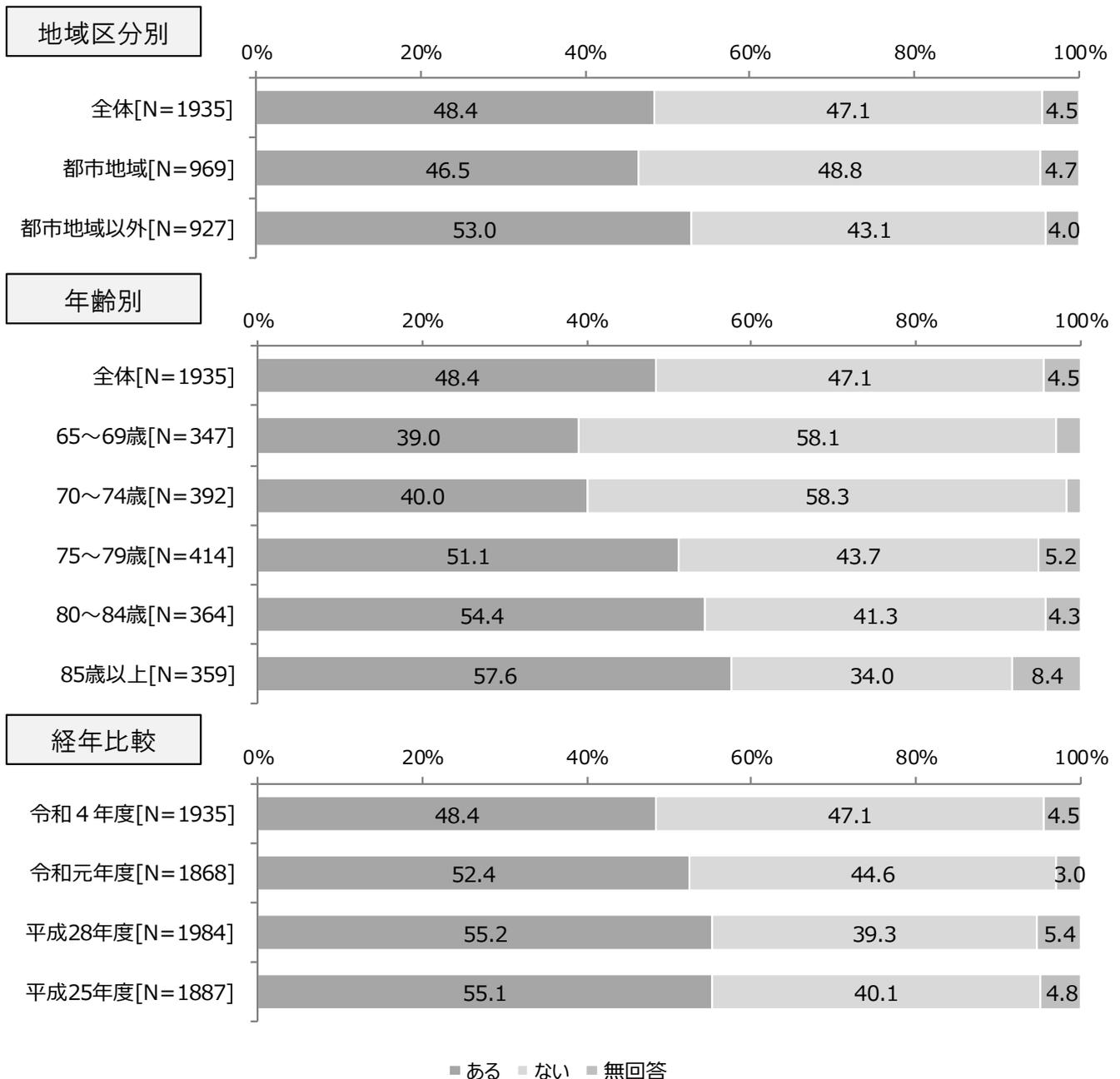


② 自宅で家族を看取った経験の有無

問29 あなたは、自宅(または親の自宅等)で、家族を看取った経験がありますか。(いずれか1つに○)

自宅で家族を看取った経験について聞いたところ、「ある」が48.4%、「ない」が47.1%となっています。
 年齢別では、年齢が上がるにつれ、「ある」の割合が多くなっています。
 経年比較では、「ある」が減り、「ない」という人がやや増えています。

図表 32 自宅で家族を看取った経験の有無



③リビング・ウィルに対する意見

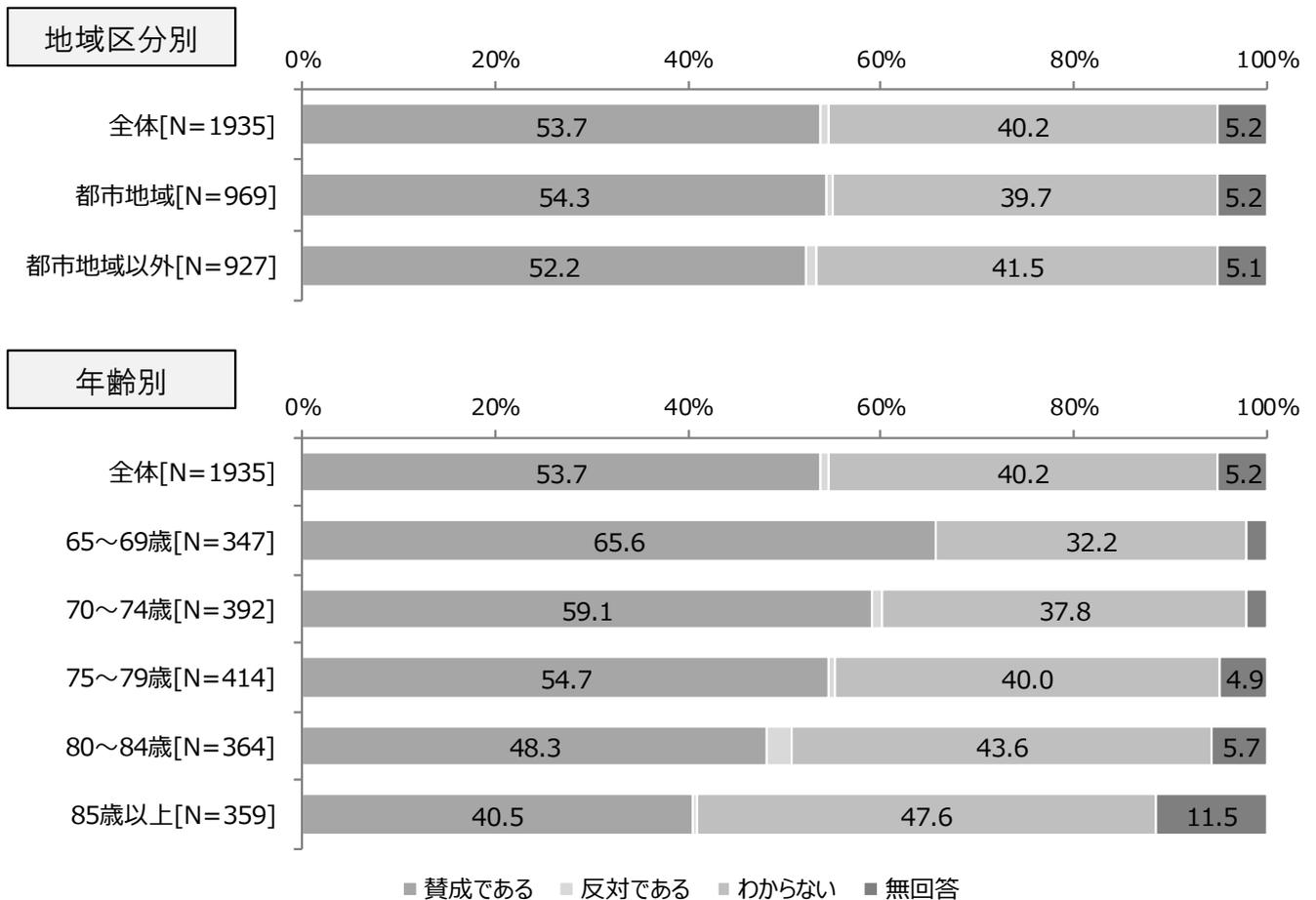
問30 あなたは、自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくこと(リビング・ウィル)について、どう思いますか。(最も近いもの1つに○)

リビング・ウィルについて聞いたところ、「賛成である」が53.7%、「わからない」が40.2%等となっています。

地域区分別では、それほど大きな違いは見受けられません。

年齢別では、年齢が下がるにつれ、「賛成である」という人が多くなっています。

図表 33 リビング・ウィルに対する意見



④延命治療への希望

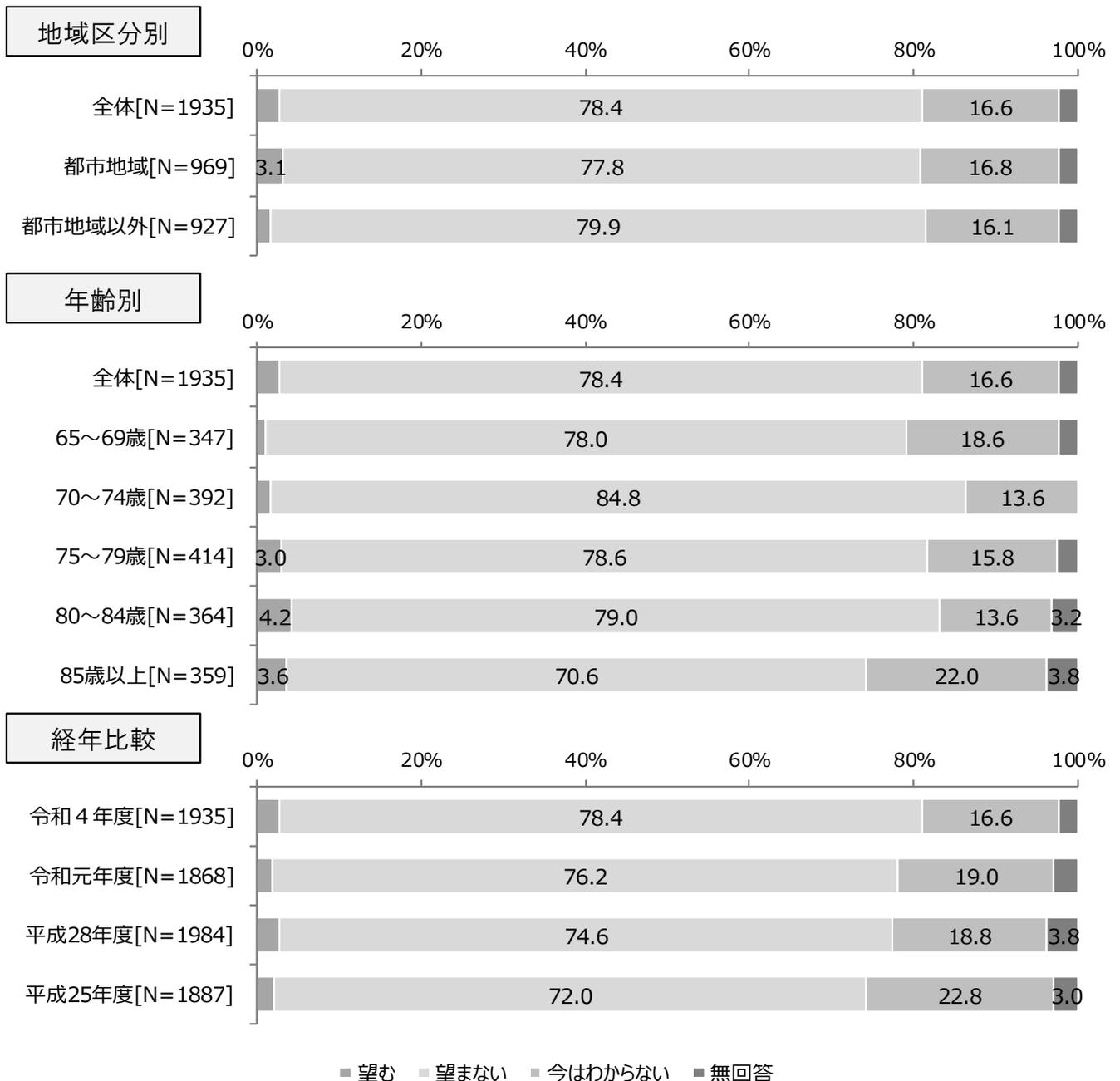
問31 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、延命治療を望みますか。(最も近いもの1つに○)

延命治療の希望については、「望まない」が78.4%、「今はわからない」が16.6%等となっています。

年齢別では、85歳以上では、「今はわからない」の割合が多くなっています。

経年比較では、「望まない」がやや増えています。

図表 34 延命治療への希望



⑤最期を過ごしたい場所

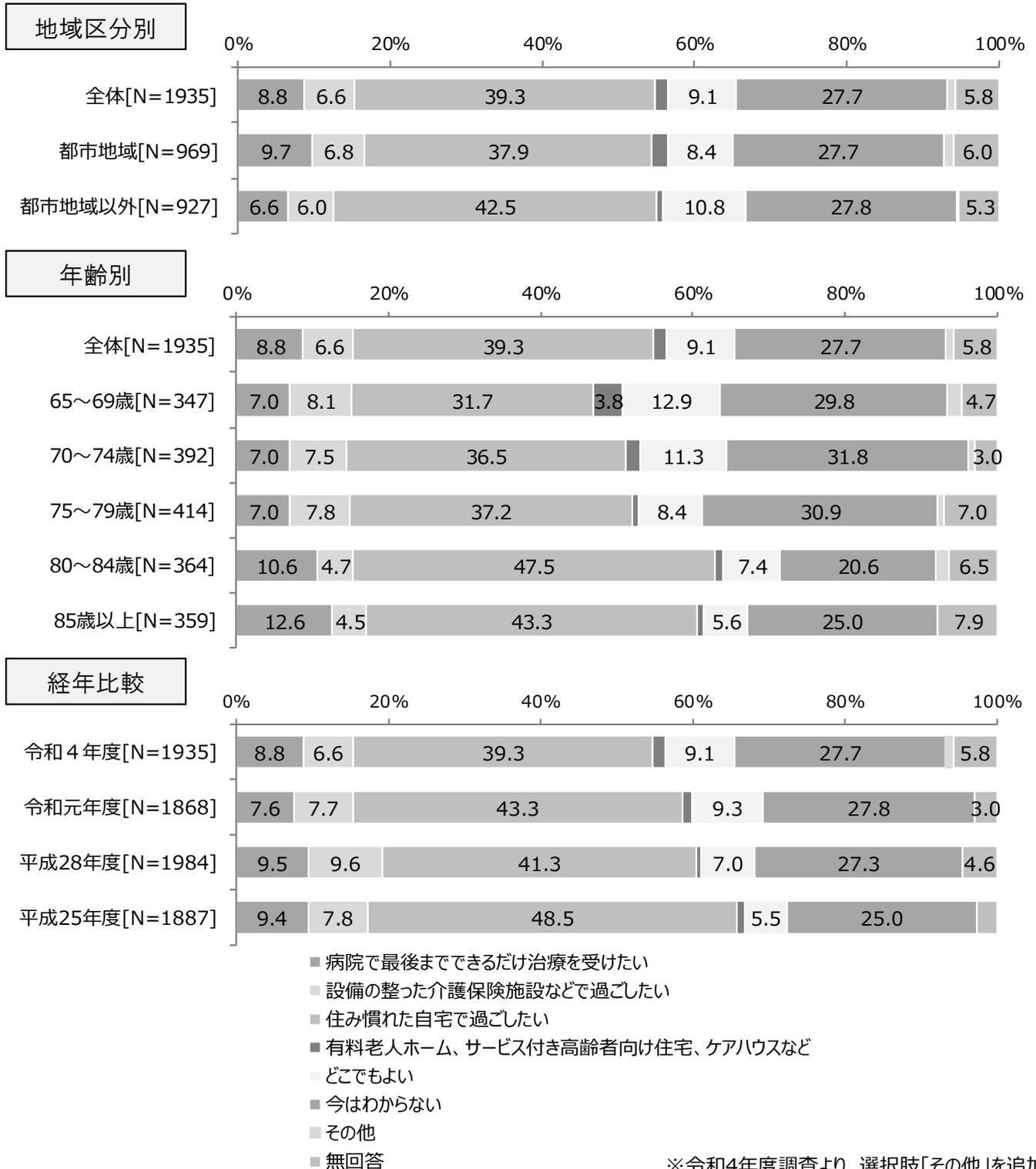
問32 もしも、適切な医療を受けたにも関わらず治る見込みがなく、死期が迫っている状態になった場合に、あなた自身は、最期をどこで迎えたいと思われますか。(最も近いもの1つに○)

自分が最期を過ごしたい場所について聞いたところ、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が39.3%と多くなっています。次いで、「今はわからない」が27.7%等となっています。

地域別では、都市地域以外で「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。年齢別では、80歳以上の人で、「住み慣れた自宅で過ごしたい」の割合が多くなっています。

経年比較では、「住み慣れた自宅で過ごしたい」が減っています。

図表 35 最期を過ごしたい場所



※令和4年度調査より、選択肢「その他」を追加

(11) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

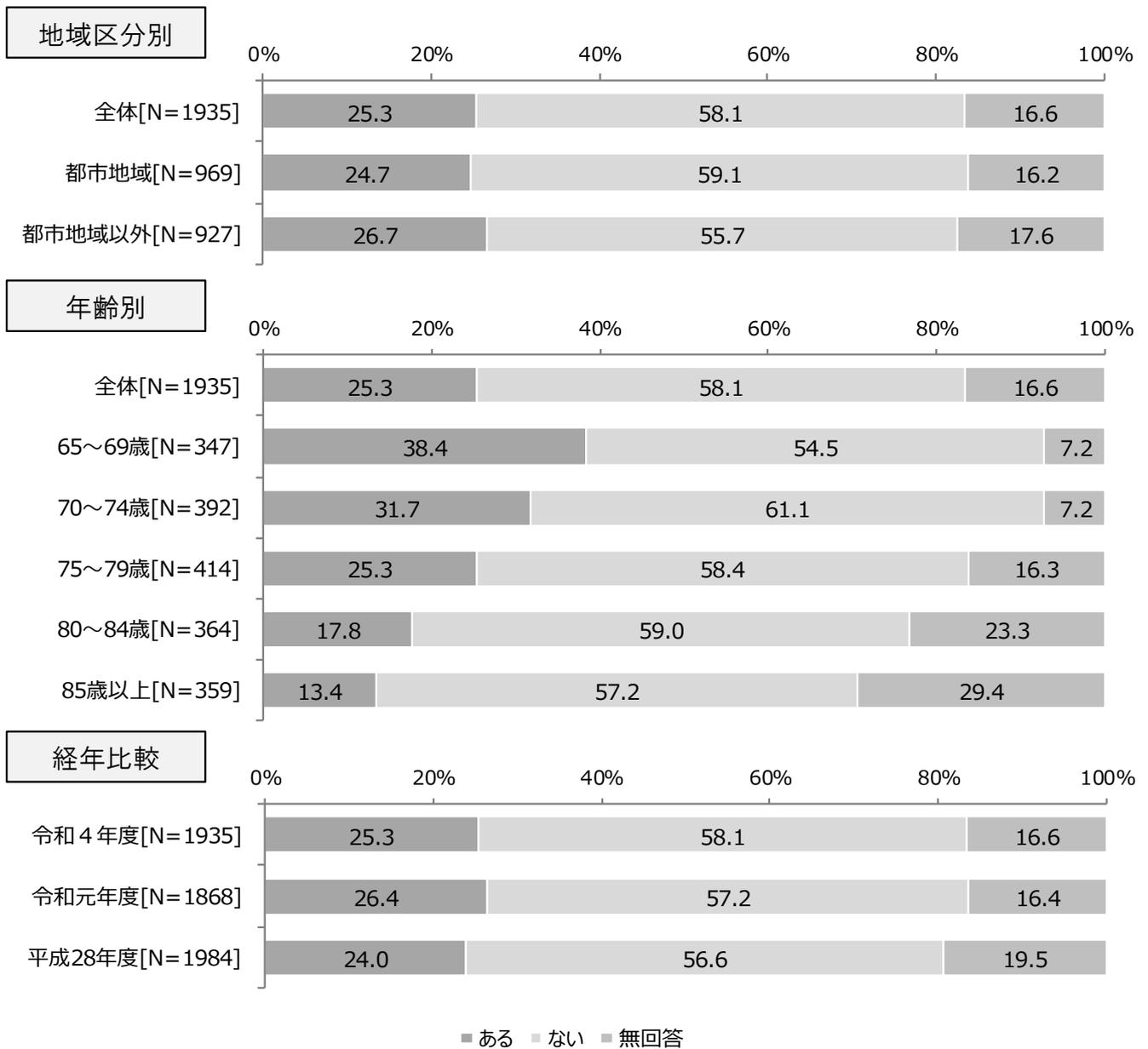
問33 あなたは、地域で、高齢者の生活を支援するための事業が運営されることになった場合、そのような事業への参加に興味はありますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、「ない」が58.1%、「ある」が25.3%となっています。

年齢別では、年齢が下がるにつれ、「ある」が多くなっています。

経年比較では、大きな違いは見受けられません。

図表 36 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味



②高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望

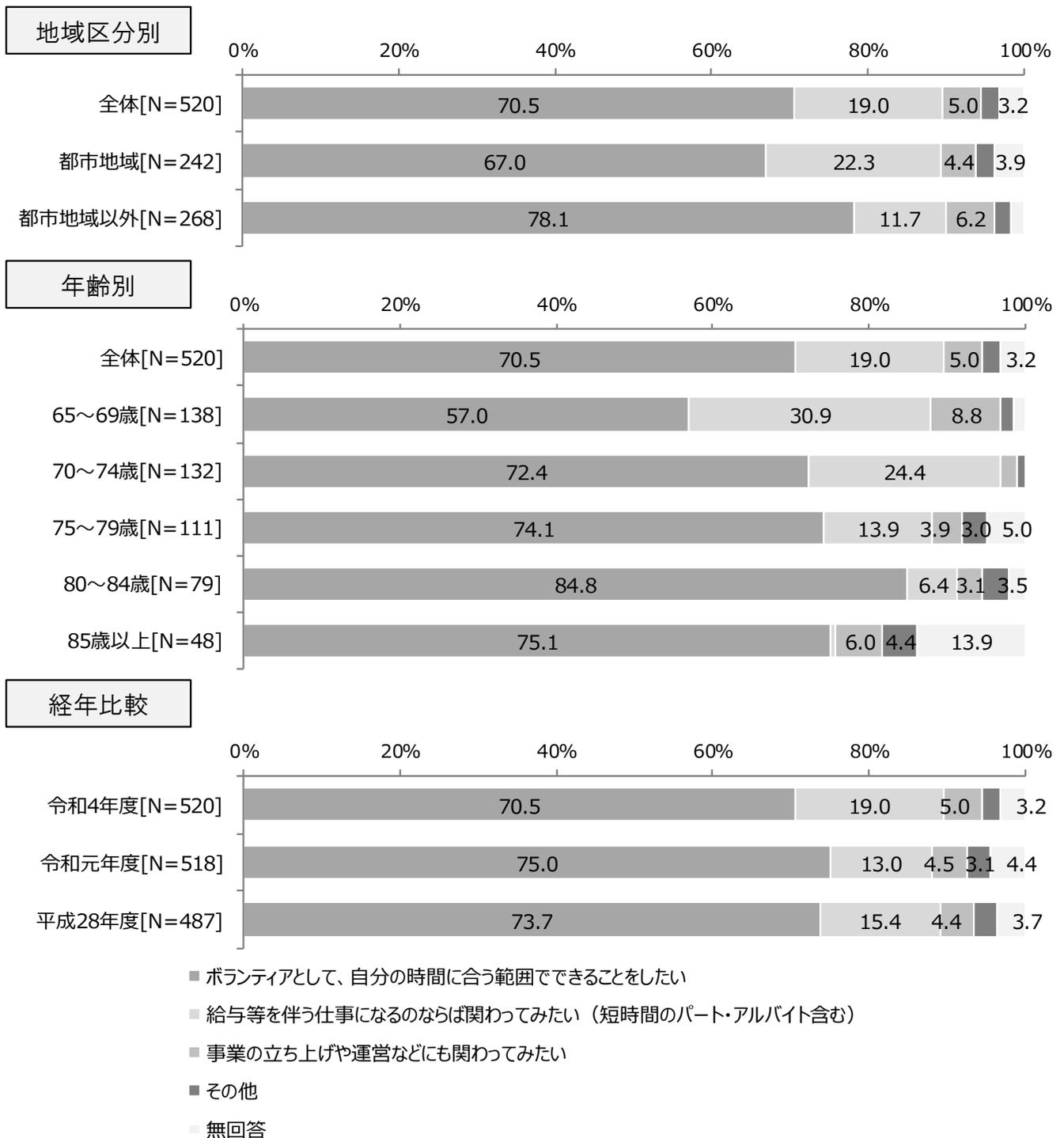
問34 前の問で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような参加の仕方を希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者の生活支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が70.5%と多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」の割合が多くなっています。65～69歳では「給与等が伴う仕事になるのならば関わってみたい」の割合が多くなっています。

経年比較では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が減っています。

図表 37 高齢者の生活支援事業への参加の仕方の希望



(12) 介護保険制度などについて

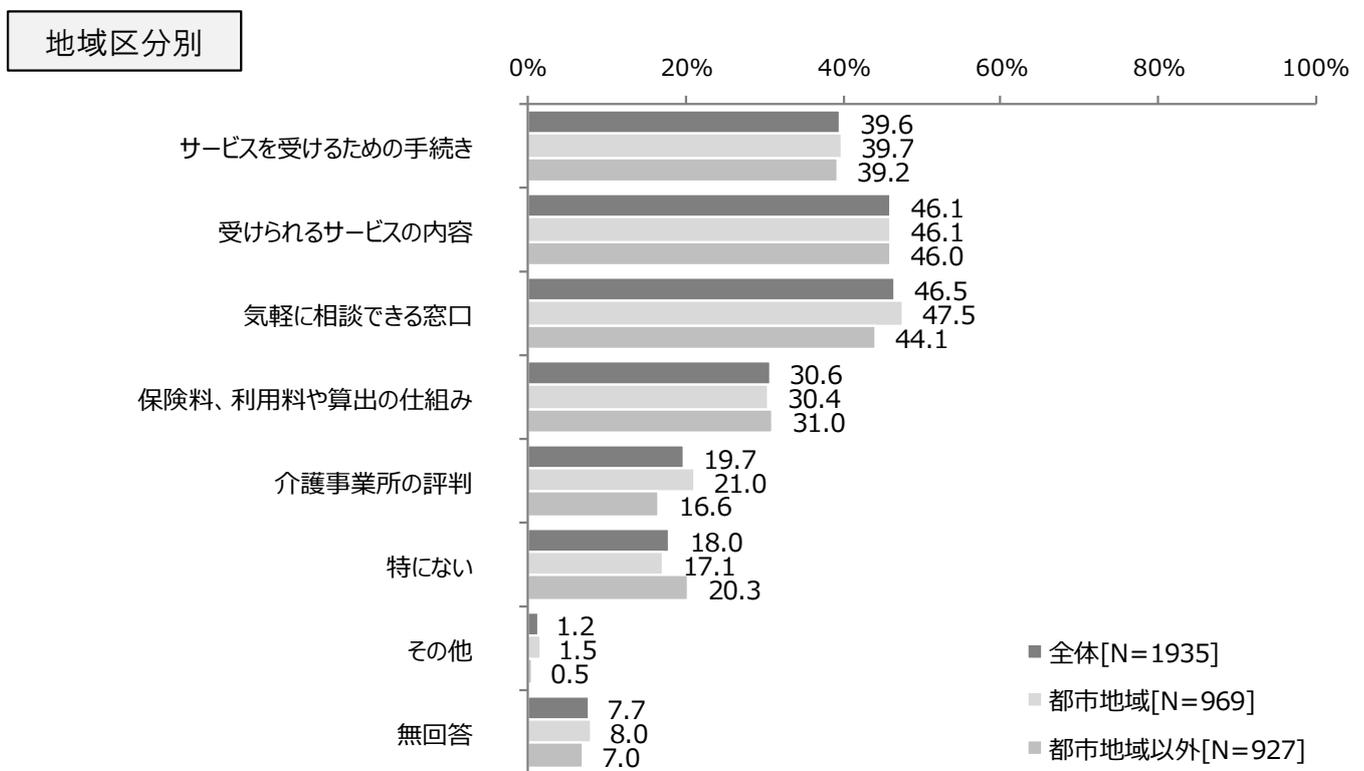
①介護保険制度やサービスについて知りたいこと

問35 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護保険制度やサービスで知りたいことについて聞いたところ、「気軽に相談できる窓口」が46.5%、「受けられるサービスの内容」が46.1%、「サービスを受けるための手続き」が39.6%、「保険料、利用料や算出の仕組み」が30.6%等となっています。

地域区分別では、都市地域で「気軽に相談できる窓口」の割合が多くなっています。年齢別では、70～74歳で「受けられるサービスの内容」の割合が多くなっています。

図表 38 介護保険制度やサービスについて知りたいこと（複数回答）



年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
サービスを受けるための手続き	39.6	39.6	34.6	40.3	43.4	40.0
受けられるサービスの内容	46.1	45.7	49.3	46.0	45.7	43.5
気軽に相談できる窓口	46.5	47.7	44.3	49.2	46.8	44.3
保険料、利用料や算出の仕組み	30.6	31.8	29.7	29.7	30.6	31.3
介護事業所の評判	19.7	22.7	21.4	20.2	20.4	13.6
特にない	18.0	20.3	17.0	16.5	17.8	19.0
その他	1.2	2.7	1.1	1.3	0.2	0.8
無回答	7.7	4.3	6.6	7.6	8.0	12.0

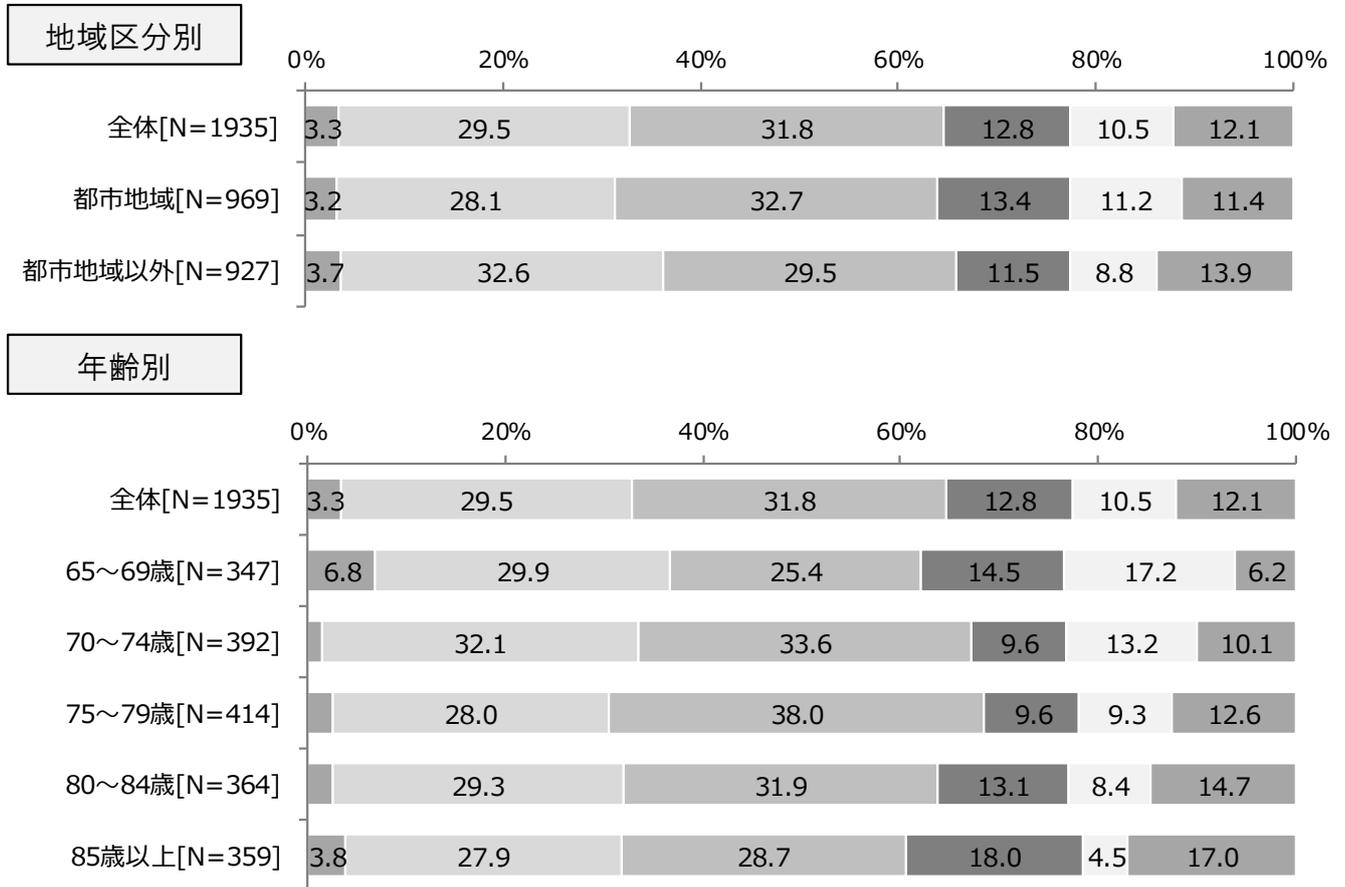
②介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方

問36 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険のサービスと保険料の負担についての考え方を聞いたところ、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない」が31.8%と最も多く、次いで、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が29.5%等となっています。

年齢別では、75～79歳は「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」の割合がやや多くなっています。

図表 39 介護保険のサービスと介護保険料の負担についての考え方



- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

③ 「福祉サービス利用援助」 や 「成年後見制度」 の認知状況

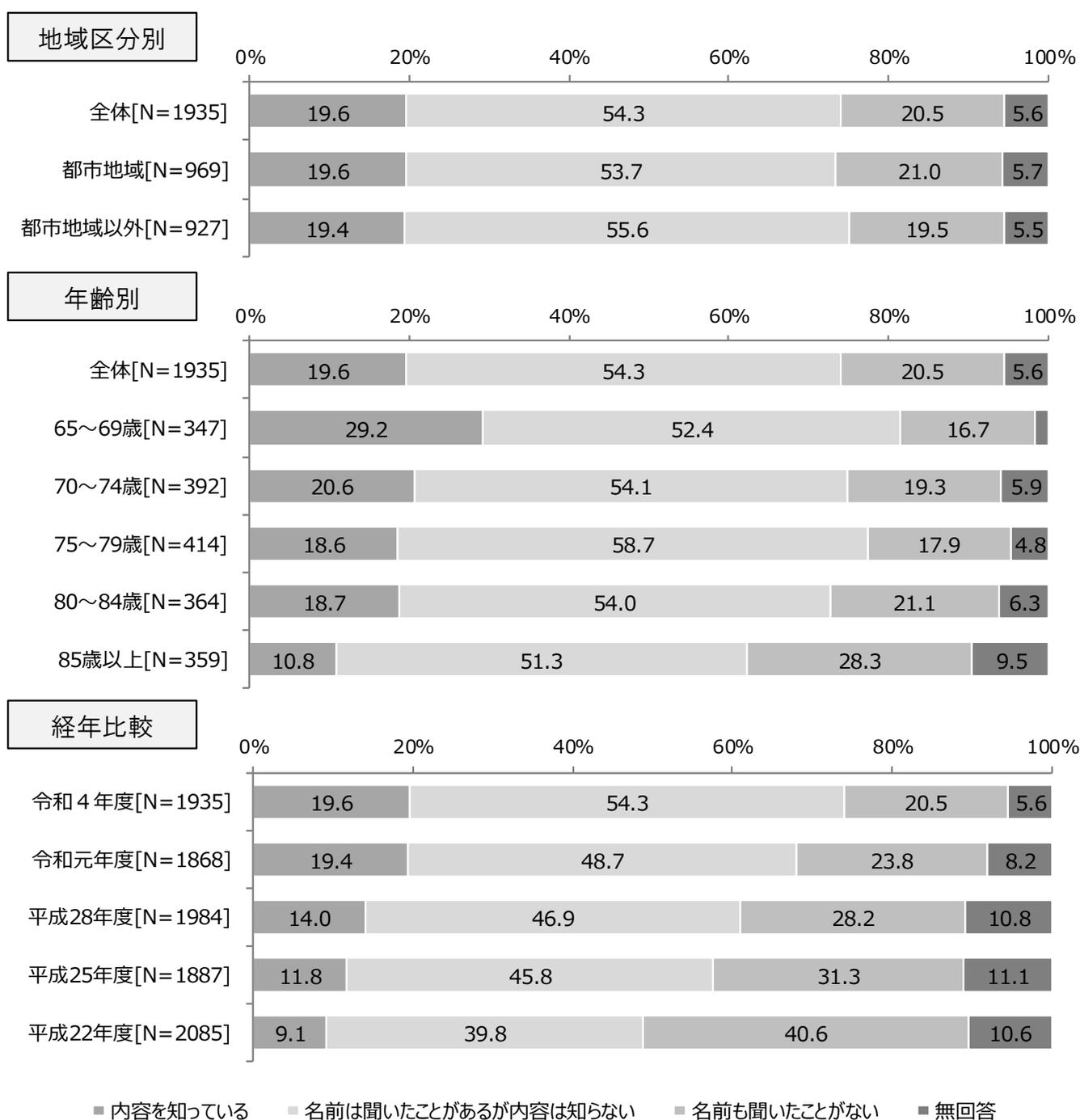
問37 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」について、知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が54.3%、「名前も聞いたことがない」が20.5%、「内容を知っている」が19.6%となっています。

年齢別では、65～69歳で「内容を知っている」の割合が多くなっています。

経年比較では、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が増え、「名前も聞いたことがない」が減っています。

図表 40 「福祉サービス利用援助」 や 「成年後見制度」 の認知状況



(13) 認知症について

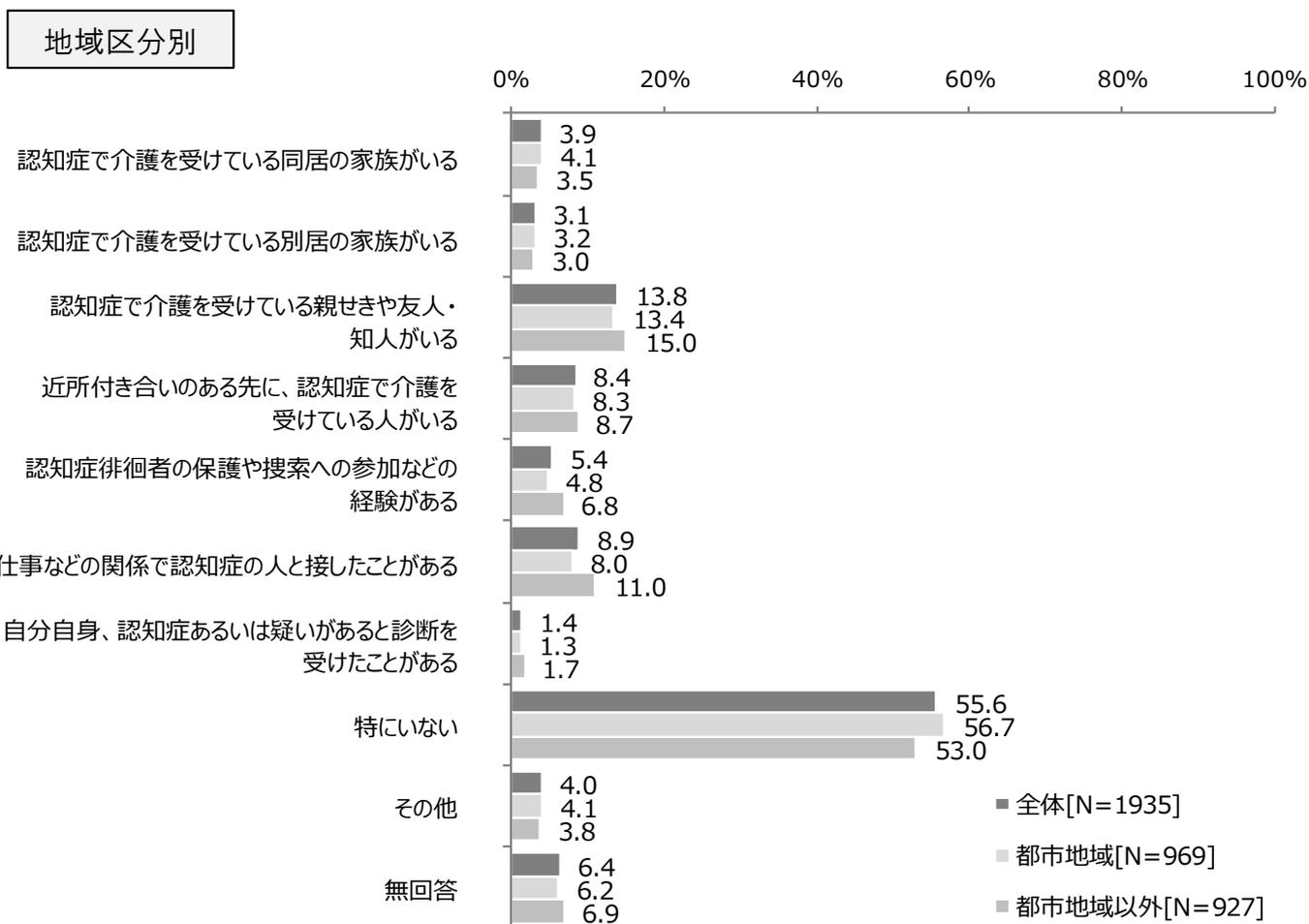
①認知症の人との関わり

問38 高齢化が進む中で、認知症になる高齢者も増えており、今後も認知症高齢者はさらに増加していくことが予想されます。あなたの身の回りで、認知症の人とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の人との関わりについては、「特にない」が55.6%と多くなっています。関わりのある人では、「認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる」が13.8%等となっています。

年齢別では、65～69歳で「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」の割合が70歳以上に比べて多くなっています。

図表 41 認知症の人との関わり



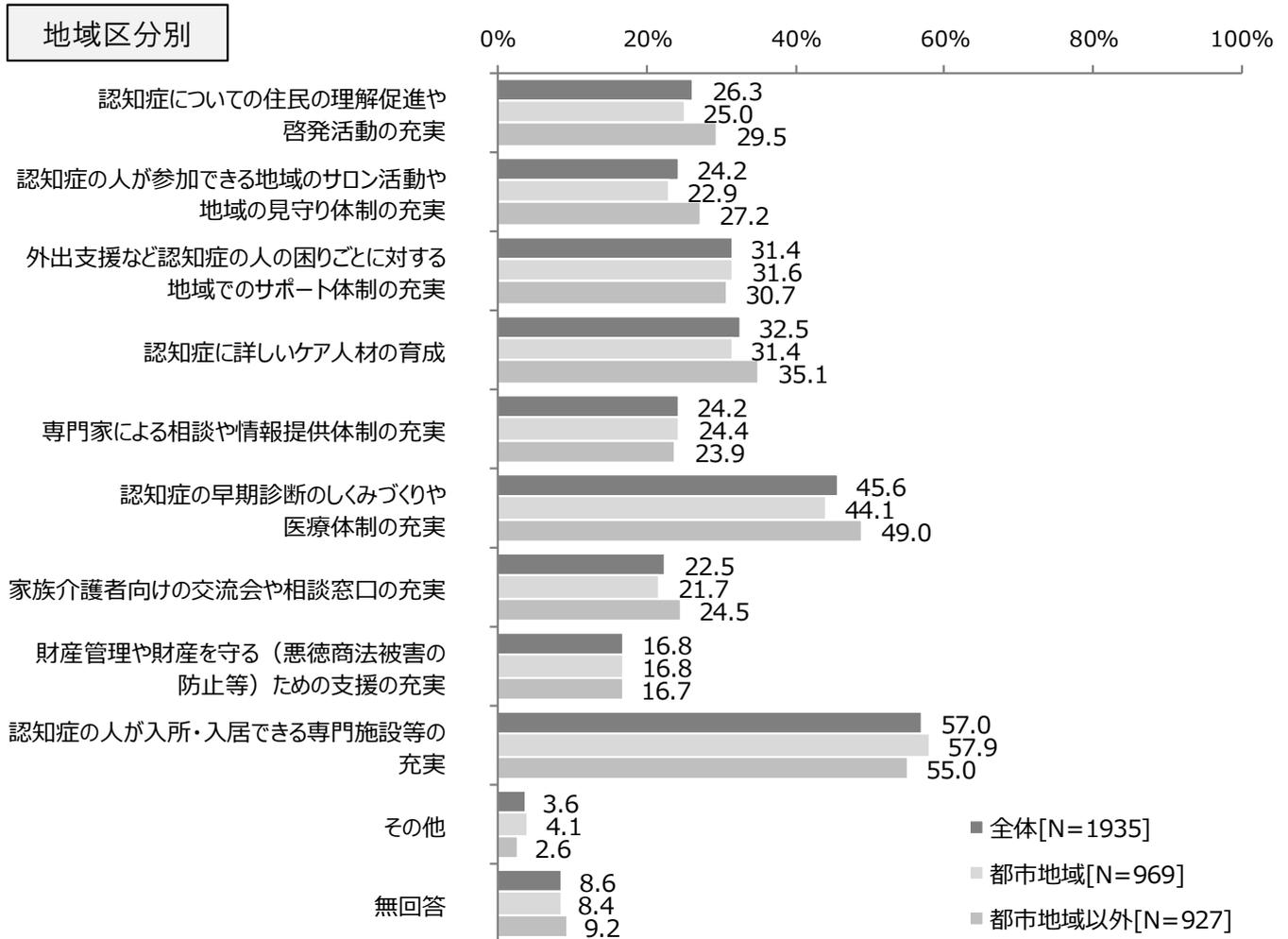
年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
認知症で介護を受けている同居の家族がいる	3.9	5.5	2.8	2.9	4.5	4.1
認知症で介護を受けている別居の家族がいる	3.1	8.6	2.9	1.1	1.3	2.2
認知症で介護を受けている親せきや友人・知人がいる	13.8	10.8	14.2	14.0	15.1	15.0
近所付き合いのある先に、認知症で介護を受けている人がいる	8.4	7.8	7.8	8.4	10.9	7.1
認知症徘徊者の保護や捜索への参加などの経験がある	5.4	5.3	7.1	4.6	5.1	4.7
仕事などの関係で認知症の人と接したことがある	8.9	17.2	10.4	6.0	7.7	3.7
自分自身、認知症あるいは疑いがあると診断を受けたことがある	1.4	0.3	0.7	2.2	0.8	3.3
特にない	55.6	52.6	56.1	55.8	57.5	55.7
その他	4.0	6.7	3.0	4.4	3.0	3.3
無回答	6.4	1.9	5.2	7.4	6.9	10.5

②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

問39 認知症の高齢者や家族介護者などに、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が57.0%と最も多く、次いで、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が45.6%、「認知症に詳しいケア人材の育成」が32.5%等と続いています。

図表 42 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

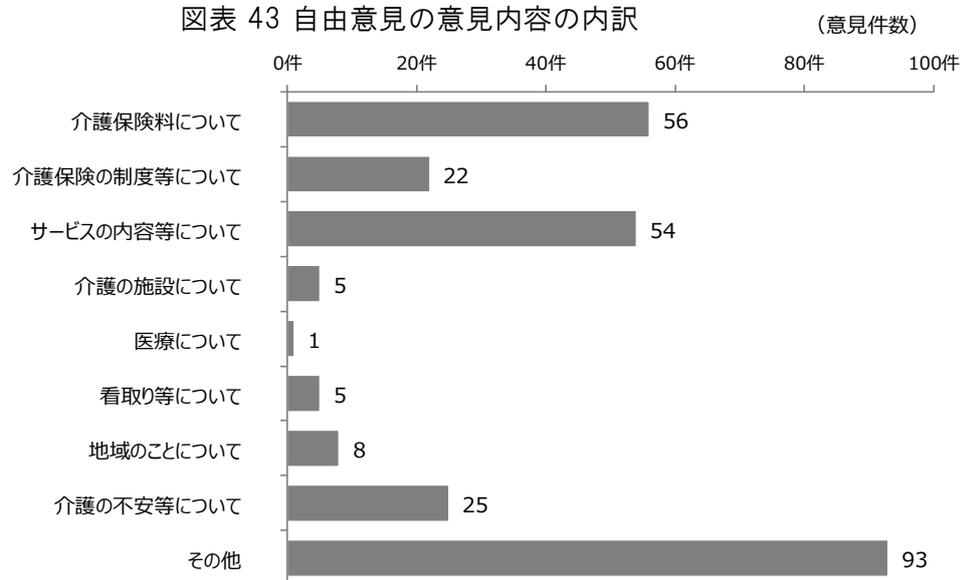


年齢別	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
	[N=1935]	[N=347]	[N=392]	[N=414]	[N=364]	[N=359]
認知症についての住民の理解促進や啓発活動の充実	26.3	28.3	25.3	27.2	24.4	26.4
認知症の人が参加できる地域のサロン活動や地域の見守り体制の充実	24.2	25.6	25.7	25.5	19.7	24.5
外出支援など認知症の人の困りごとに対する地域でのサポート体制の充実	31.4	35.0	34.6	26.6	34.7	26.1
認知症に詳しいケア人材の育成	32.5	34.2	32.1	38.4	28.6	28.4
専門家による相談や情報提供体制の充実	24.2	24.8	23.3	24.9	25.8	22.2
認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実	45.6	45.8	46.2	48.8	47.4	38.8
家族介護者向けの交流会や相談窓口の充実	22.5	30.9	21.0	24.0	20.1	16.6
財産管理や財産を守る（悪徳商法被害の防止等）ための支援の充実	16.8	24.9	15.7	15.2	14.5	14.1
認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実	57.0	63.6	61.1	58.2	51.8	50.2
その他	3.6	3.8	1.8	3.5	4.6	4.7
無回答	8.6	3.1	6.6	7.2	10.2	16.2

(14) 自由意見

問40 高齢者の生活支援（見守り、外出支援、買い物・調理・掃除などの家事支援など）、介護保険制度（介護保険料、要介護認定、介護保険サービスの内容など）、保健福祉サービス（介護予防教室、家族介護者教室など）などについて、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

自由意見は、269件の記入がありました。意見内容の内訳は次のようになっています。介護保険料やサービスの内容等についての意見が多くなっています。



【主な意見】

(介護保険料について)

- 低所得者から取らなくてもいいのでは？それが無理なら上限を決めず、たくさん所得のある人からはたくさんもらってください。
- 手厚いサービスはありがたいのですが、介護保険料等がこれ以上増えないよう、お願いします。
- 年間を通じ日々の生活にも影響する高額保険料を徴収されているが、その額に見合う介護支援が受けられるのか大きな心配事である。年金のみの収入生活者から考えると年金額は少なくなっていくばかりで、各種行政徴収金が高くなっていることに腹立たしい思いである。
- 介護保険料が年金生活者の負担になっているのではないか。国費か地方予算で下げるように工夫、改善できるよう頑張ってください。
- 介護保険料を支払っていても、何も利用しないまま一生を送っている人も多いと思う。せめて定期的に何らかの形で還元すべきではないかと思う。

(介護保険の制度等について)

- 高齢者の生活支援、介護施設でのサービスを受けるには、高齢者数に見合った要員が必要だと思います。介護の仕事にかかわる人たちの賃金を上げ、やりがいのある職場環境をつくるのが大切ではと考えます。
- 在宅介護が国の方針ならば、ヘルパーさん、ケアマネさん、訪問看護師さんの質と数と時間、きめ細かい訪問看護制度を。家族の負担がないように。
- 県は国に対して、介護保険制度の切り下げによる高齢者の経済的負担増による弊害を進言し、介護保険制度の充実に向けて考えを改めるべき。高齢者人口は当分増え続けるが、減少に転じる時がきます。その時まで国の負担を増やす施策が必要です。

(サービスの内容等について)

- ・ 一人住まいの高齢者の外出支援・買い物は、特に必要だと日頃から感じています。
- ・ 高齢でも目的地が遠い場合、車が必要となり、免許返納が難しいのが現状である。もう少し、外出支援をしっかりとしてほしい。
- ・ スーパーと連携したバスなどがあればいいと思います。予約なしで気軽に乗りやすいバスがあれば、特に買うものがなくても毎日利用できると思います。バスの中で会話するだけでも認知症予防になると思います。
- ・ もっと予防するというところに着目点をおいてほしいものです。病気（人）を少なくするためにサービスの良く届くことは素晴らしいことですが、今後の若い皆様のためにゆとりのある財政が望まれます。
- ・ 施設介護や他人による生活支援だけでなく、家族による介護が最も望まれるので、介護家族への支援をもっと充実していただきたい。

(介護の施設について)

- ・ 低所得者や認知症の人が入所、入居できる施設等を望みます。
- ・ 最近、県内いたるところに介護施設ができ、その数もだんだん増えて、家族の支えにはなっているが、入所した本人としては、どうかと思う。都会で増えている様々な設備が整った高齢者向けの集合住宅、マンションのような少し元気なうちに住み替えられる施設があればと思う。ただ、高額になると現状のように一部の人がしか入ることができなくなるので、少しは安価な物件があればと考える。

(医療について)

- ・ 認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実、ぜひ早急に実現してほしいです。

(看取り等について)

- ・ 主人を2年前に看取ることができ、その際病院より医師に往診にきていただき、医師や看護師さんにお世話になりました。また、介護事業所の方々にも親切にいただき感謝しています。
- ・ 独居老人の孤独死が身に降りかかるこの頃です。在宅介護を望み、地域で医療、介護、生活支援が受けられる体制ができれば安心して自宅で最期を迎えたいと願っています。

(地域のことについて)

- ・ 地域で活躍できる高齢者を増やすことができれば、結果的には支援の必要な高齢者を減らす（高齢者が活躍できる場が増えれば）ことにもなります。生活支援と同時に高齢者の自立支援にも力をいれてほしい。
- ・ 介護、福祉について学んでいますが、もっと地域の人々といろいろとかかわってお互いに生活していきたいと考えます。せっかく地域包括支援センターがあるのに老人の方々には知らないと思います。私自身これから少しでも医療のこと、介護のこと、地域の人々に力になれるなら、頑張りたいと思っています。

(介護の不安等について)

- ・ 何をしてもお金が要ることです。一人ひとりの介護保険がどうなっていくのか心配です。
- ・ この後、自分にどのような老後が訪れるのか、とても不安ですが、家族、子供や近所の方にあまり迷惑がかからない状態で過ごしたいと思います。
- ・ 独居者等に対して常に見守っていただきたいと思います。特に独居者は常に他方面においてたくさんの不安をもっております。夜間の一人は大変心細くそのようなことも大切だと思います。
- ・ 買い物は単車で行っていますが、何年か先に足等が悪くなって単車に乗れなくなったら、日々の買い物の不安があります。スーパーや薬局等も少し遠いです。バスなどもないし、移動スーパーの車も現在来ていません。歩いては行けません。

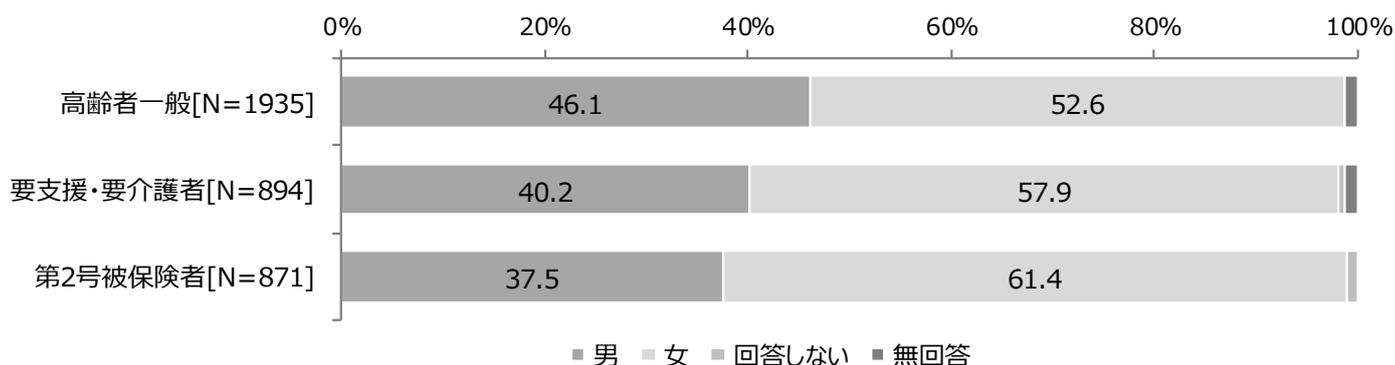
3 調査間の比較

(1) 回答者の属性

①性別

性別は、高齢者一般で「女」が52.6%、「男」が46.1%、要支援・要介護者で「女」が57.9%、「男」が40.2%、第2号被保険者で「女」が61.4%、「男」が37.5%となっています。いずれの調査も女性の比率が高くなっています。

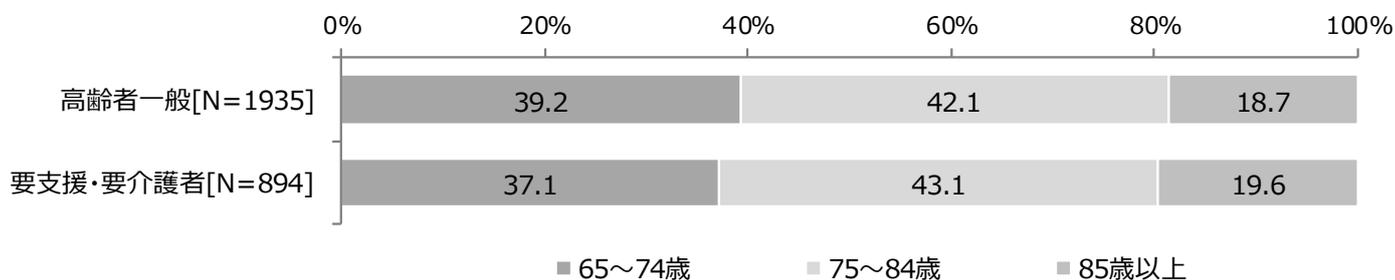
図表 44 性別



②年齢

年齢は、高齢者一般では「65～74歳」が39.2%、「75～84歳」が42.1%、「85歳以上」が18.7%となっています。要支援・要介護者では「65～74歳」が37.1%、「75～84歳」が43.1%、「85歳以上」が19.6%となっています。

図表 45 年齢

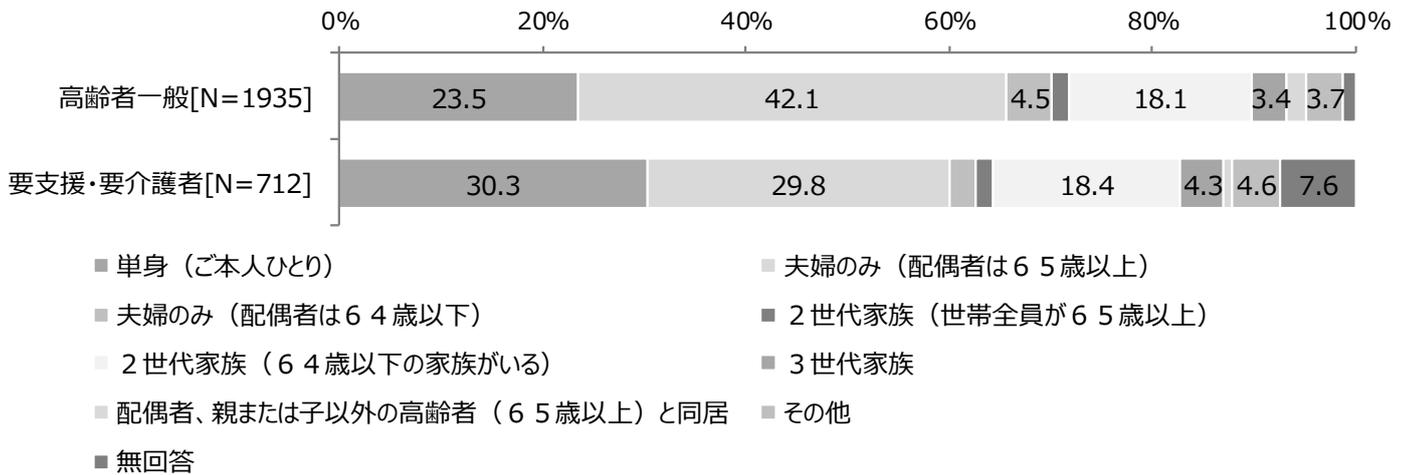


③世帯

世帯については、高齢者一般で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が42.1%、「単身（ご本人ひとり）」が23.5%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.1%等となっています。

また、要支援・要介護者の世帯で「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が29.8%、「単身（ご本人ひとり）」が30.3%、「2世代家族（64歳以下の家族がいる）」が18.4%等となっています。高齢者一般に比べて要支援・要介護者は「単身（ご本人ひとり）」の比率が高く、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」の比率が低くなっています。

図表 46 世帯

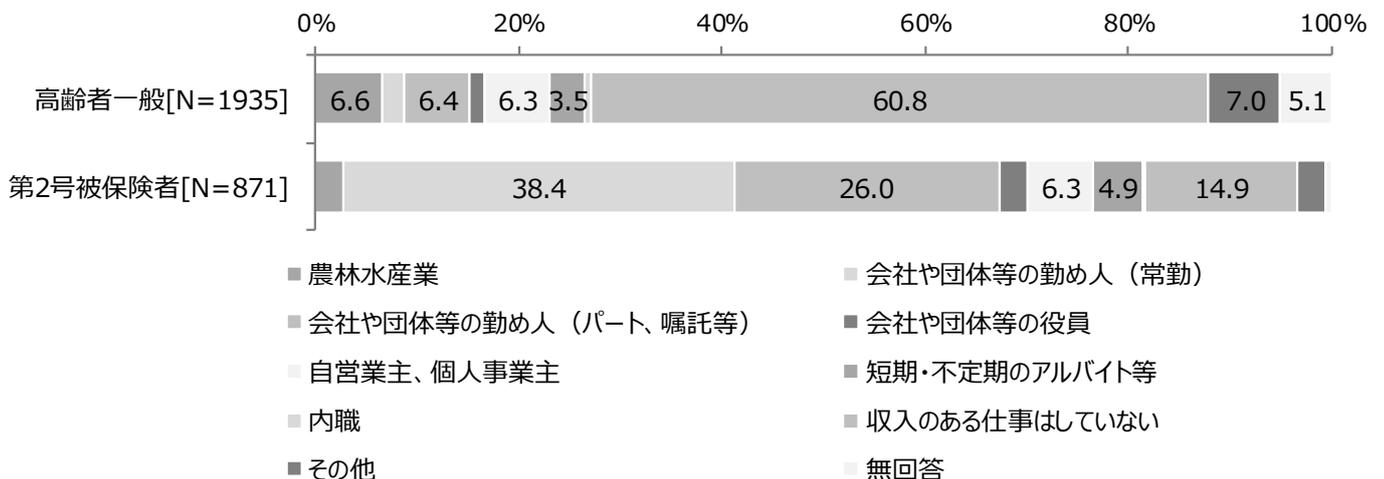


④仕事

仕事は、第2号被保険者では、「会社や団体等の勤め人（常勤）」が38.4%と最も高く、次いで、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が26.0%、「収入のある仕事はしていない」が14.9%等となっています。

高齢者一般では「収入のある仕事はしていない」が60.8%となっており、仕事をしている人では、「農林水産業」が6.6%、「会社や団体等の勤め人（パート、嘱託等）」が6.4%、「自営業主、個人事業主」が6.3%等となっています。「農林水産業」は第2号被保険者より高齢者一般で高い比率となっています。

図表 47 仕事



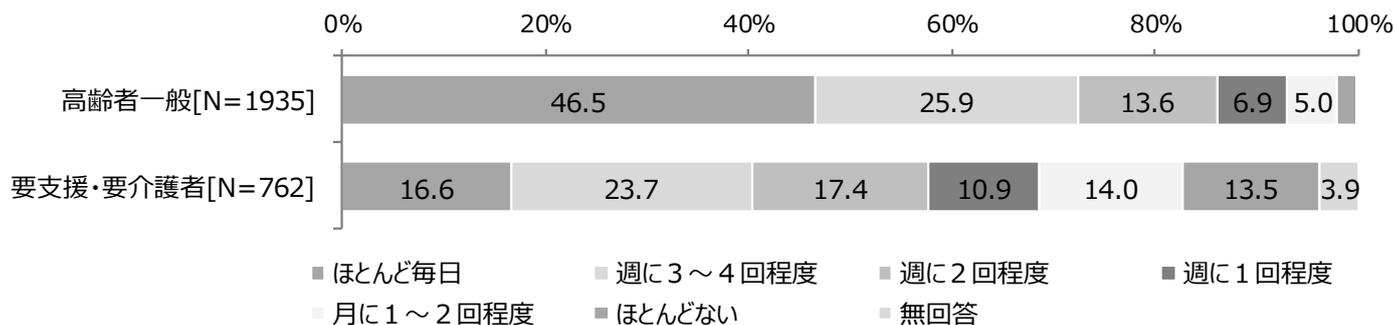
(2) 日常生活について

①外出の頻度

高齢者に対し、外出の程度を聞いたところ、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が46.5%、「週に3～4回程度」が25.9%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「週に3～4回程度」が23.7%、「週に2回程度」が17.4%等となり、高齢者一般に比べて外出が少ない様子がうかがえます。

図表 48 外出の頻度

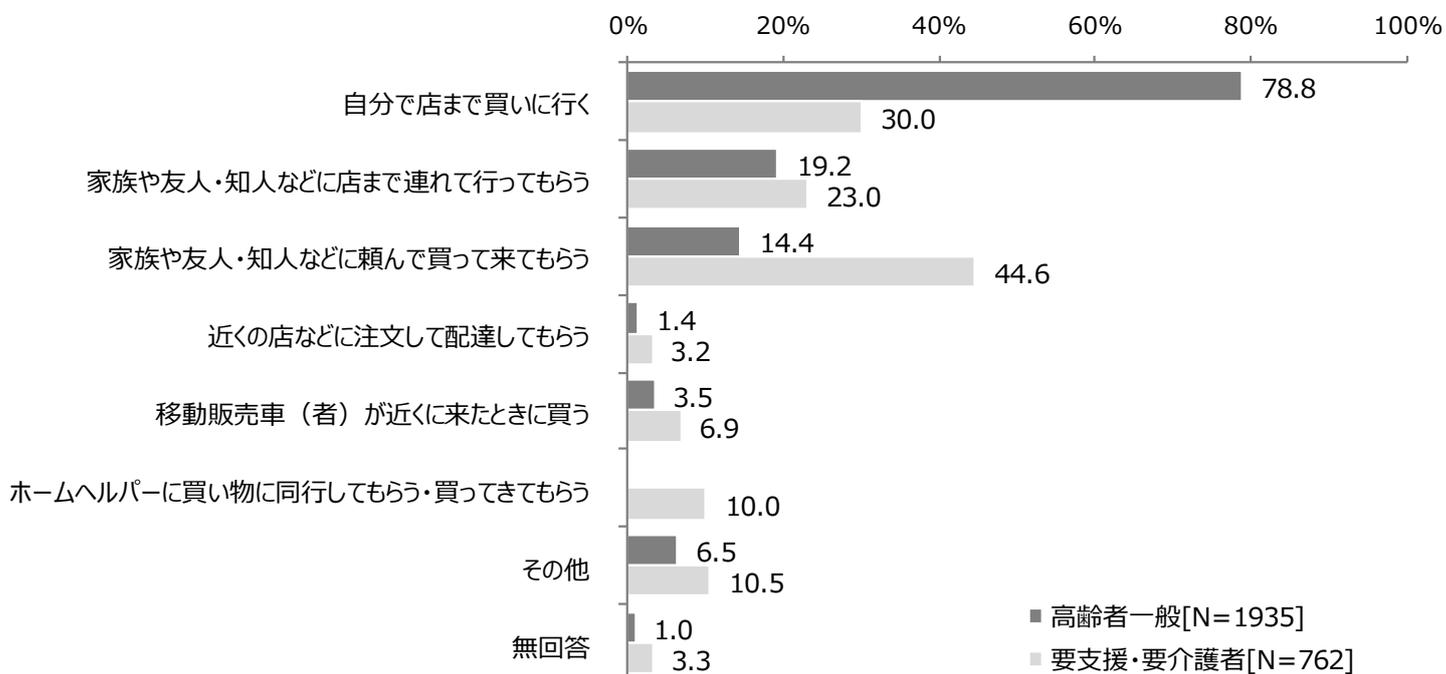


②買い物の状況

高齢者に対し、現在の買い物の方法を聞いたところ、高齢者一般では、「自分で店まで買いに行く」が78.8%と多くなっています。また、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が19.2%、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が14.4%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう」が44.6%と多くなっています。次いで、「自分で店まで買いに行く」が30.0%、「家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう」が23.0%等となり、多くの人が家族等を頼って買い物をしている様子がうかがえます。

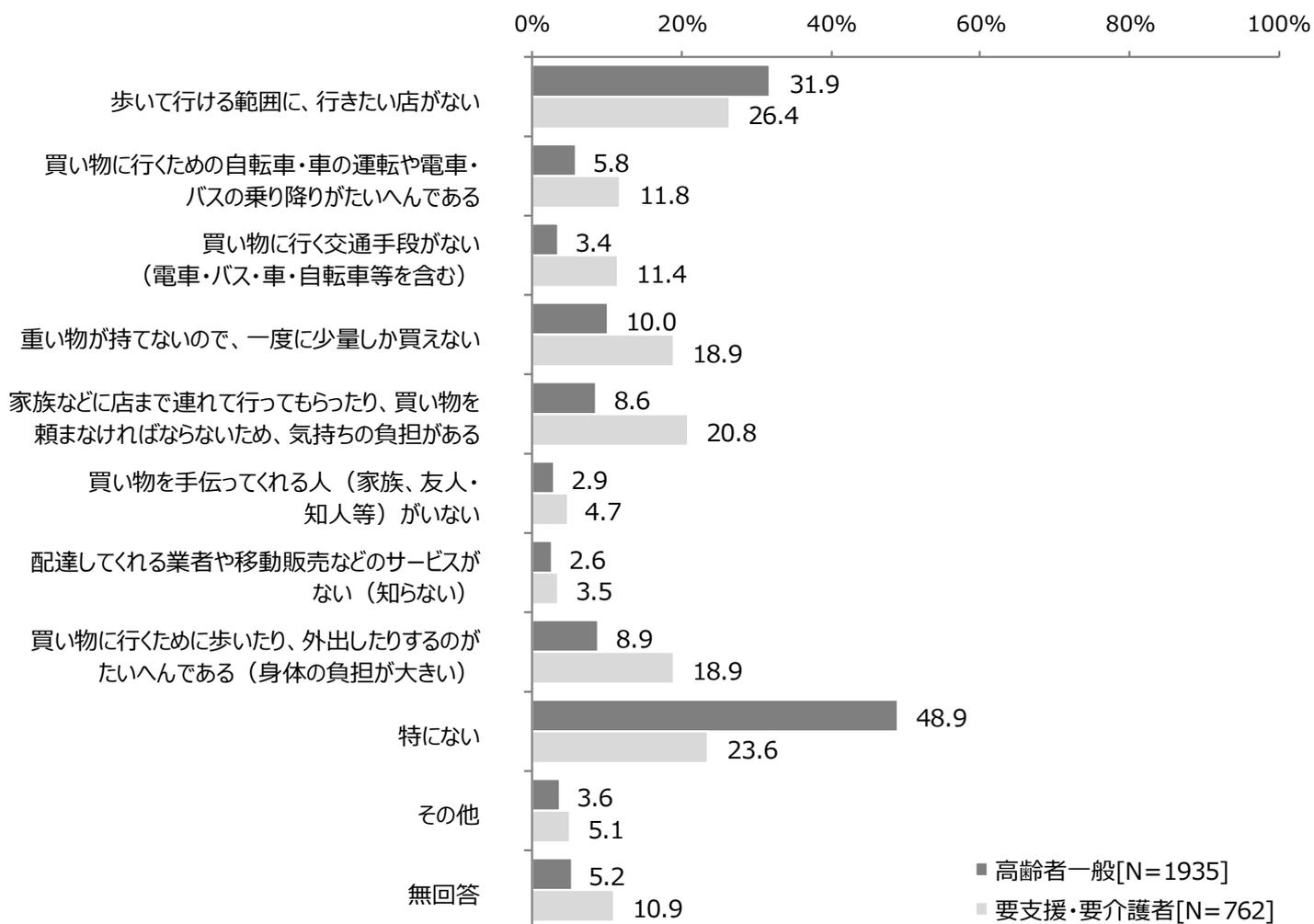
図表 49 買い物の方法（複数回答）



また、買い物で困っていることについては、高齢者一般では「特にない」が48.9%と半数近くを占め、また、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が31.9%等となっています。

一方、在宅の要支援・要介護者では、「歩いていける範囲に、行きたい店がない」が26.4%、「家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある」が20.8%、「買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである（身体の負担が大きい）」「重い物が持てないので、一度に少量しか買えない」が18.9%等となっており、「特にない」という人は23.6%と高齢者一般に比べると低い比率になっています。

図表 50 買い物で困っていること（複数回答）

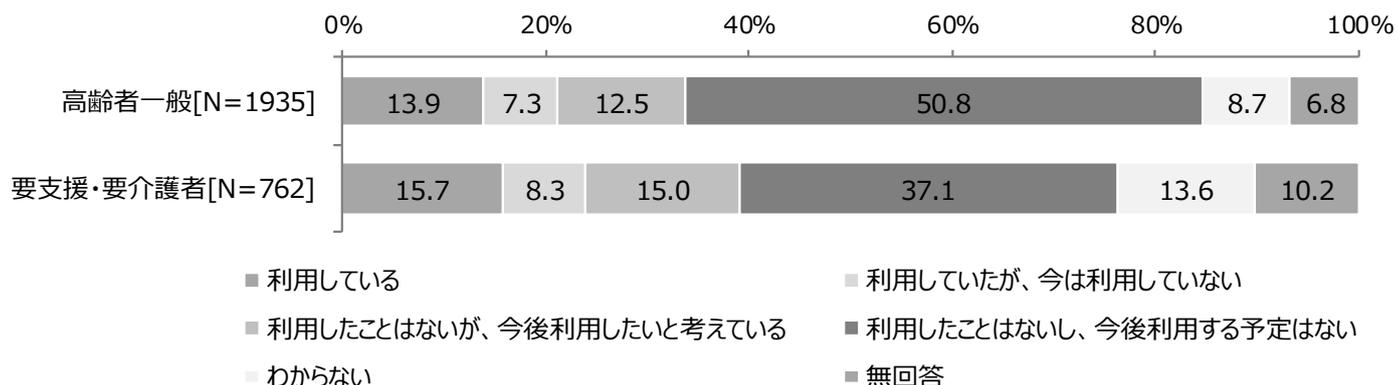


③介護予防で利用している介護予防サービス

介護予防のためのサービスの利用の有無については、高齢者一般では、「利用している」が13.9%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が12.5%、「利用していたが、今は利用していない」が7.3%となっています。一方で「利用したことはないし、今後利用する予定はない」は50.8%となっています。

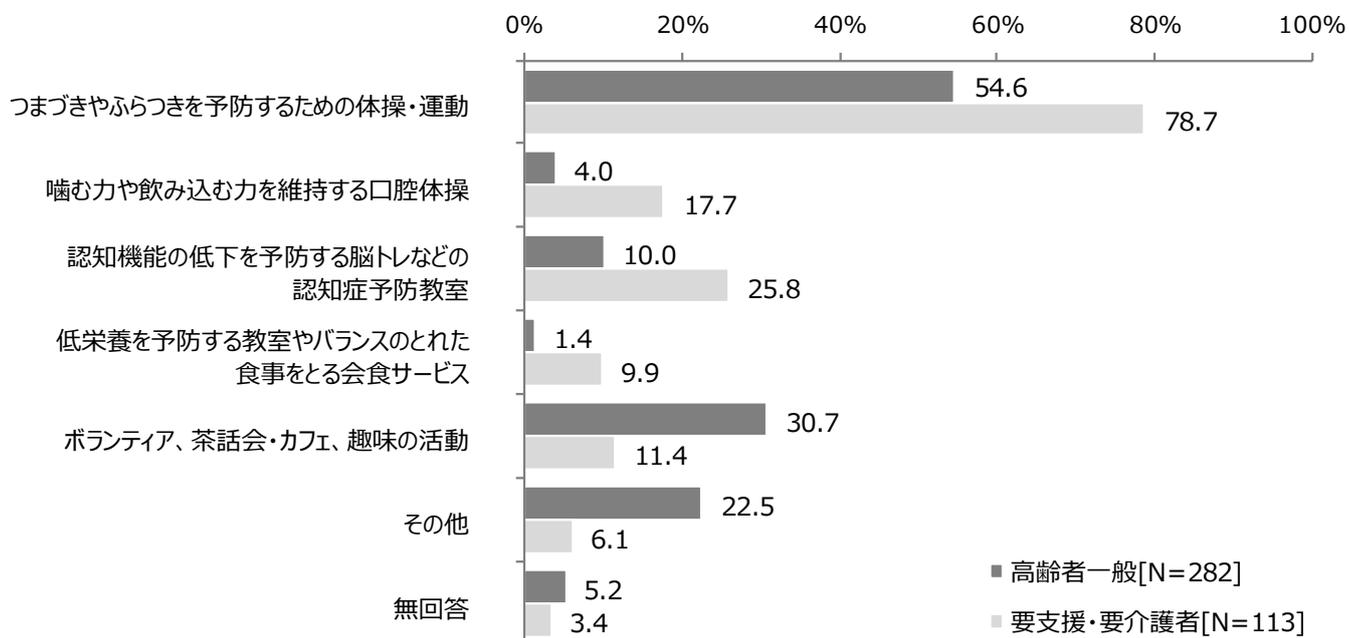
要支援・要介護者では、「利用している」が15.7%、「利用したことはないが、今後利用したいと考えている」が15.0%、「利用していたが、今は利用していない」が8.3%となっています。「利用したことはないし、今後利用する予定はない」については37.1%となっています。

図表 51 介護予防のためのサービス利用の有無



利用している介護予防サービスについては、高齢者一般では「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が54.6%、「ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動」が30.7%、「脳トレなどの認知症予防教室」が10.0%等となっています。要支援・要介護者については、「つまづきやふらつきを予防するための体操・運動」が78.7%、「脳トレなどの認知症予防教室」が25.8%、「噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操」が17.7%等となっています。

図表 52 利用している介護予防サービス（複数回答）

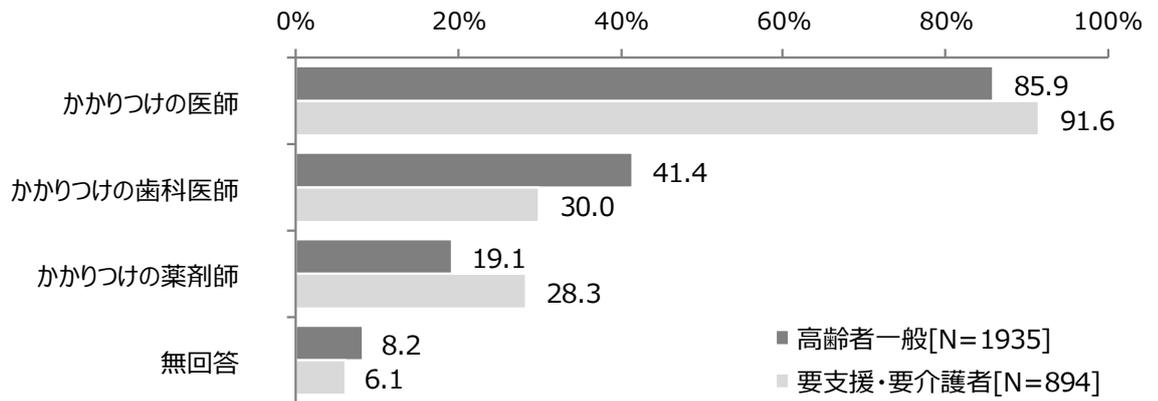


(3) 医療等の状況について

① かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無

高齢者に対し、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無について聞いたところ、「かかりつけの医師」がいる人は、高齢者一般で85.9%、要支援・要介護者で91.6%となっており、多くの高齢者にかかりつけの医師がいます。

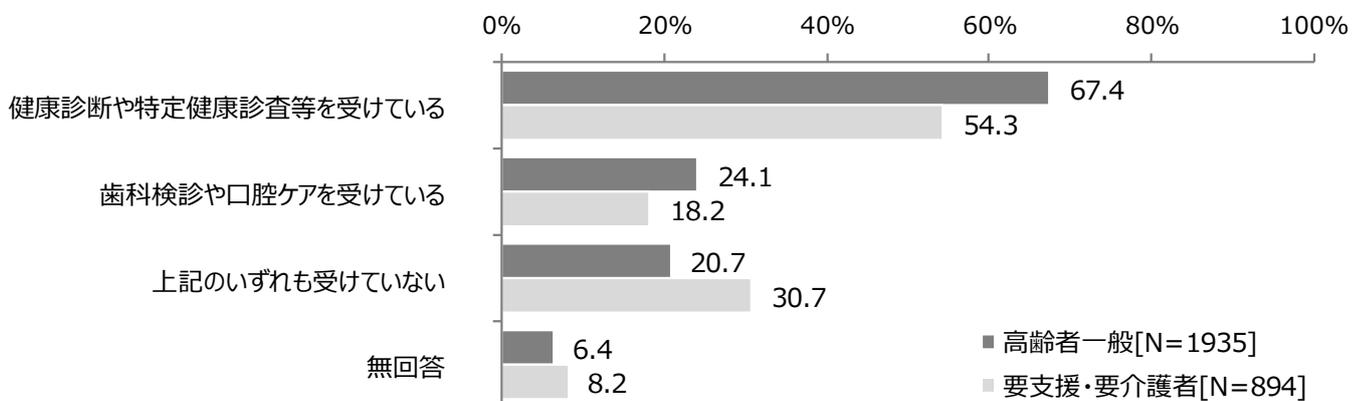
図表 53 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師の有無（複数回答）



② 健康診断の受診状況について

高齢者に対し、健康診断の受診状況について聞いたところ、「健康診断や特定健康診査等を受けている」人は、高齢者一般で67.4%、要支援・要介護者で54.3%となっており、要支援・要介護者では健康診断を受ける人が高齢者一般に比べると少なくなっています

図表 54 健康診断の受診状況について（複数回答）



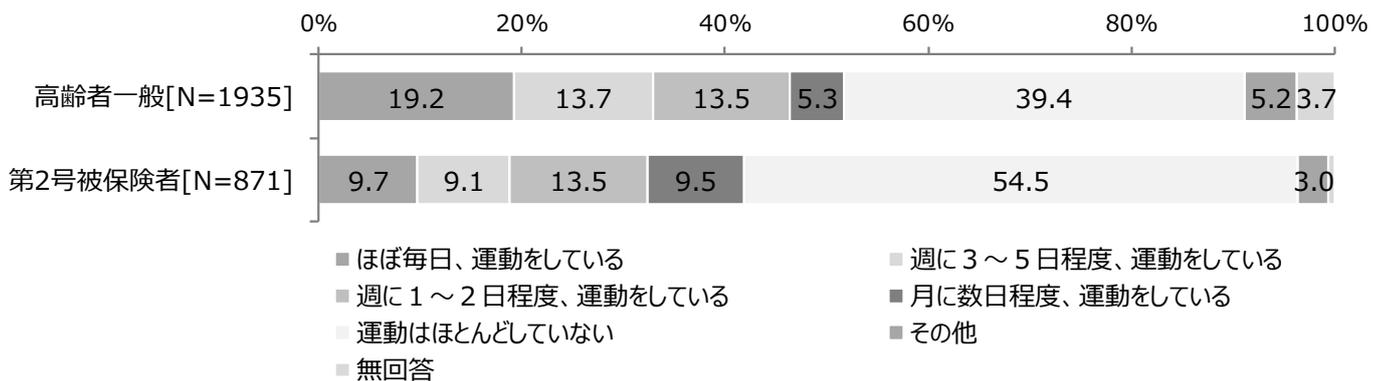
(4) 健康について

①運動の状況

運動の状況は、高齢者一般では、「運動はほとんどしていない」が39.4%である一方、「ほぼ毎日、運動をしている」も19.2%と多くなっています。

第2号被保険者では、「運動はほとんどしていない」が54.5%と半数以上みられ、次いで、「週に1～2日程度、運動をしている」が13.5%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は運動をしていない人が多くなっています。

図表 55 運動の状況

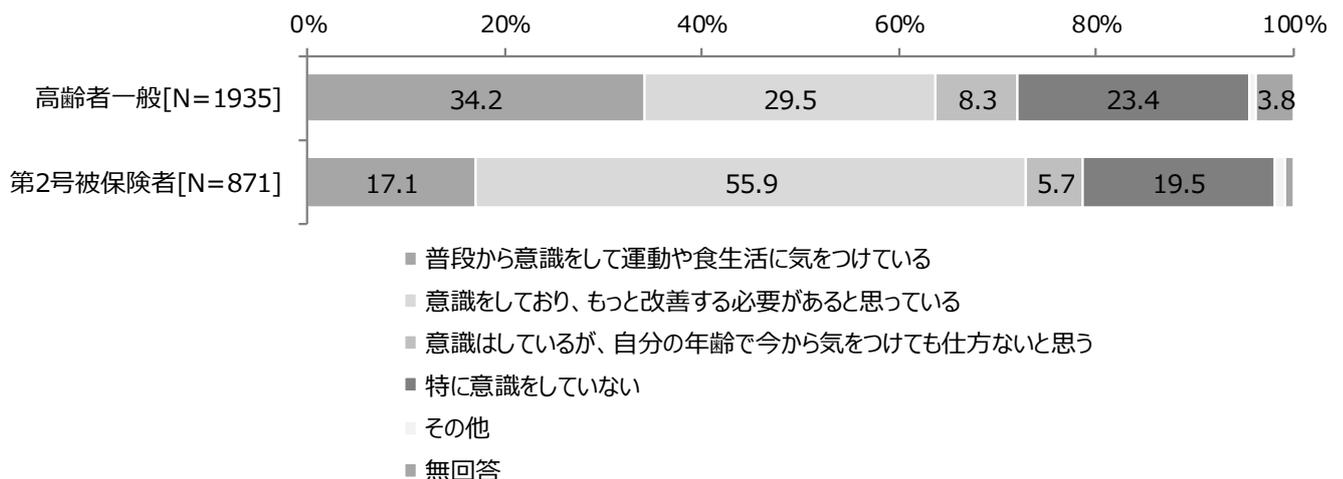


②健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

健康づくりや介護予防に関し、日頃の生活習慣について聞いたところ、高齢者一般では、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が34.2%と最も多くなっており、次いで、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が29.5%等となっています。

第2号被保険者では、「意識をしており、もっと改善する必要があると思っている」が55.9%と半数以上を占め、次いで、「普段から意識をして運動や食生活に気をつけている」が17.1%等となっています。高齢者に比べて、第2号被保険者は意識をしている人は多いですが、普段から気をつけている人は少ない傾向が見られます。

図表 56 健康づくりや介護予防に関する日頃の生活習慣

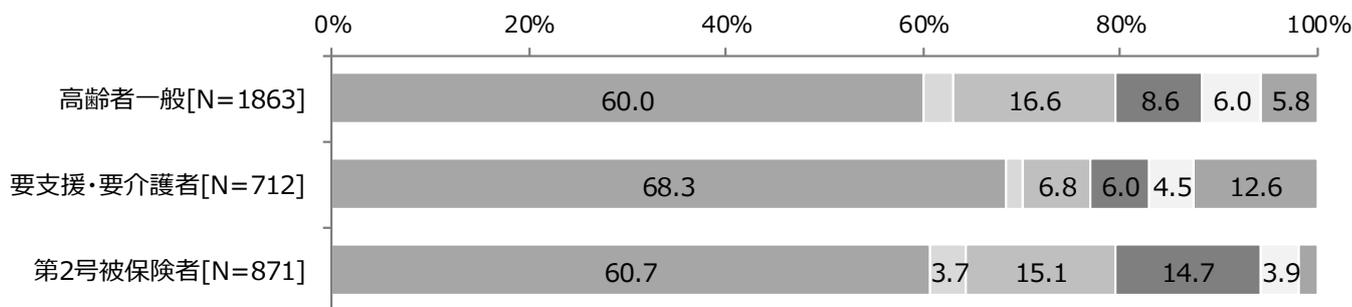


(5) 住まい、住み替えなどについて

①住み替えの希望

将来の住み替えの希望は、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者の全てで、「自宅で、在宅サービスを利用しながら住み続けようと思う」が多くなっており、要支援・要介護者ではとくに多く、現在の場所に住み続けたいという人が多くなっています。

図表 57 住み替えの希望

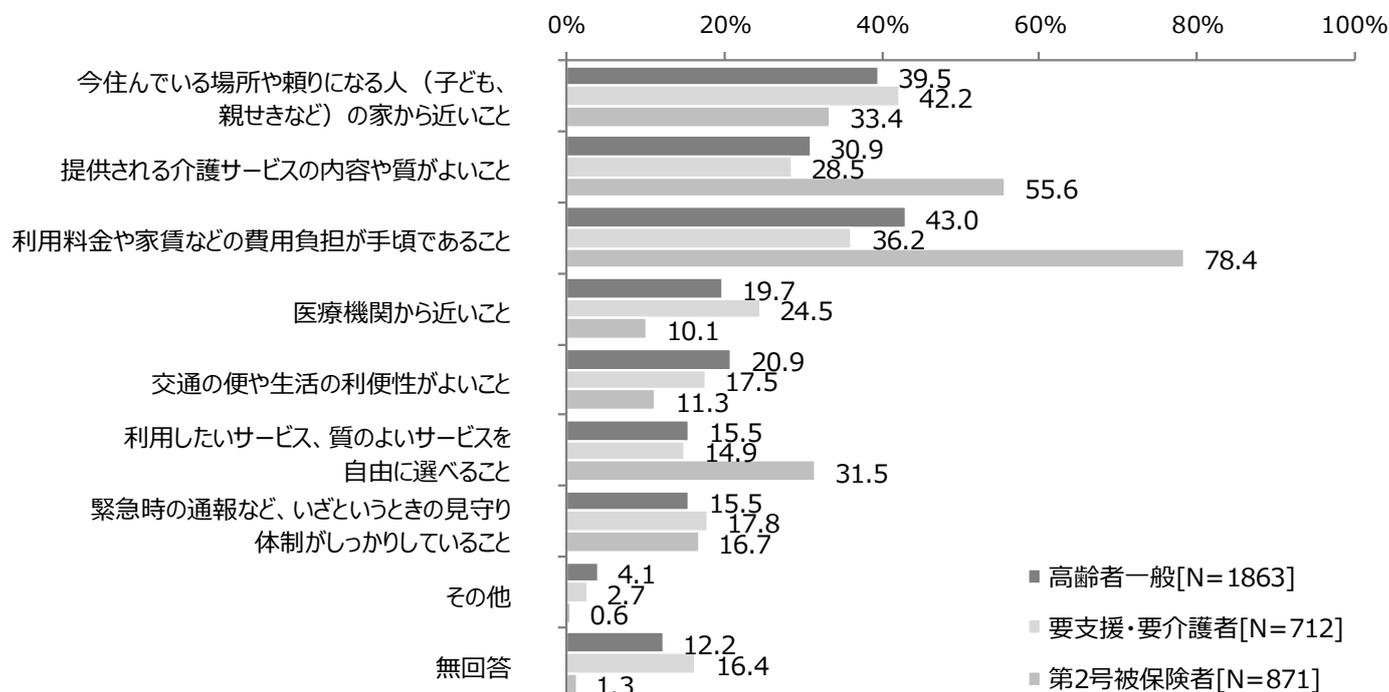


- 自宅で、在宅サービス（ホームヘルプやデイサービスなど）を利用しながら住み続けようと思う
- 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入所しようと思う
- 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
- その他
- 無回答

②住み替えで重視すること

住み替えで重視することとしては、高齢者一般、要支援・要介護者では、「今住んでいる場所や頼りになる人（子ども、親せきなど）の家から近いこと」が多くなっています。一方、第2号被保険者では、「利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること」や「提供される介護サービスの内容や質が良いこと」の割合が多くなっており、第2号被保険者で費用負担やサービスの質を重視する人が多くなっています。

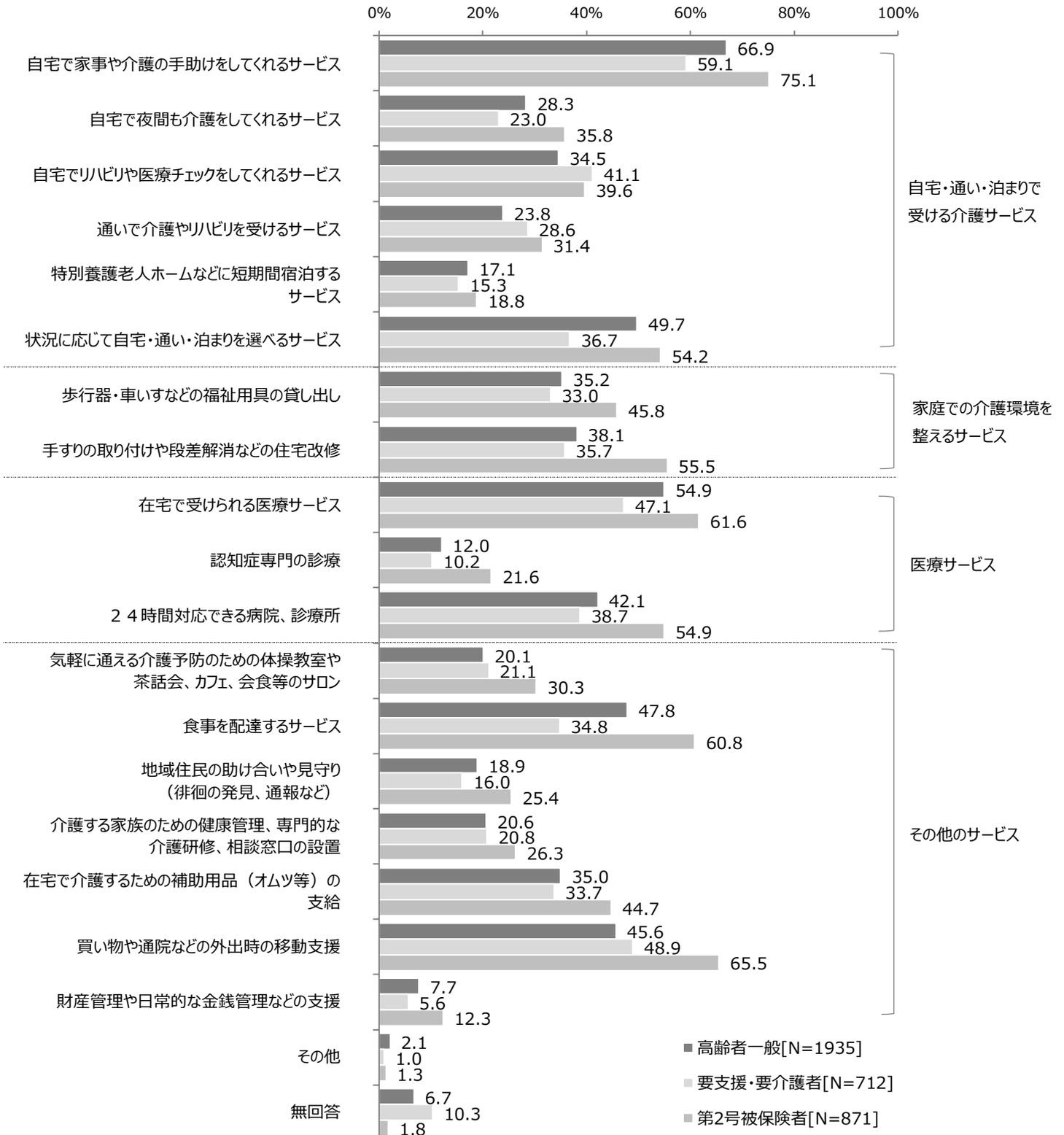
図表 58 住み替えで重視すること（複数回答）



③在宅生活に必要なサービス

在宅生活のために必要と思うサービスについて聞いたところ、高齢者一般に比べ、第2号被保険者で必要と思う割合が全般的に多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者いずれも「自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス」の割合が最も多くなっています。

図表 59 在宅生活に必要なサービス（複数回答）

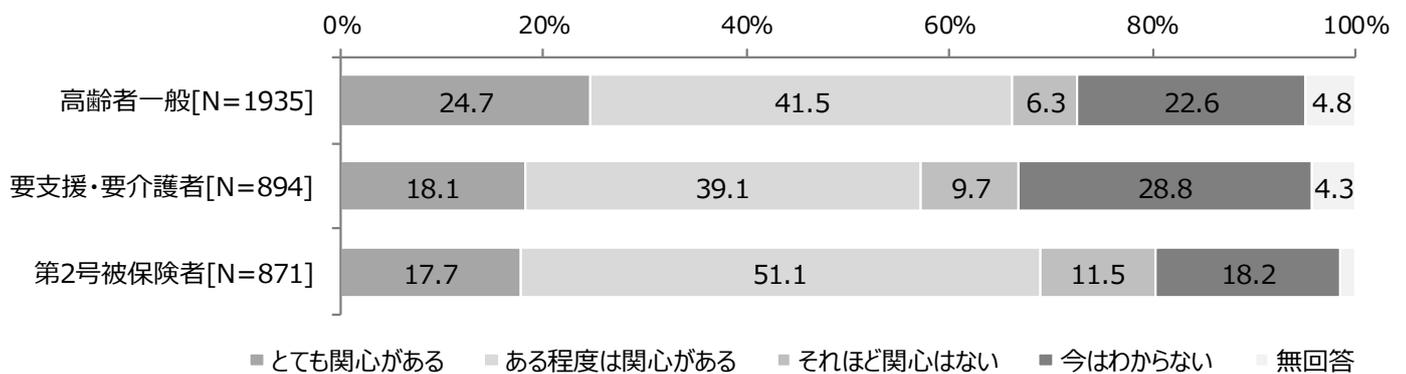


(6) 看取りなどについて

①延命治療等への関心

延命治療等への関心について聞いたところ、「関心のある人」は高齢者一般が66.2%、第2号被保険者が68.8%となっています。一方、要支援・要介護者では関心のある人が57.2%となっています。

図表 60 延命治療等への関心

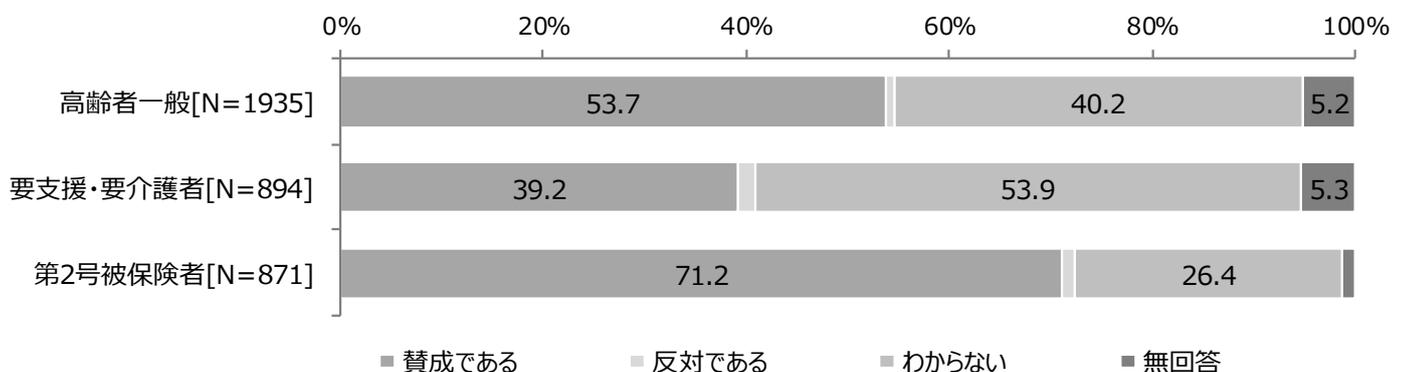


②リビング・ウィルに対する意見

リビング・ウィルに対する意見を見ると、高齢者一般、第2号被保険者で延命治療に「賛成である」人が5〜7割台と多くなっています。要支援・要介護者では「わからない」と答える人が53.9%と半数を占めています。

※リビング・ウィルとは、「自分で判断できなくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておく」こと。

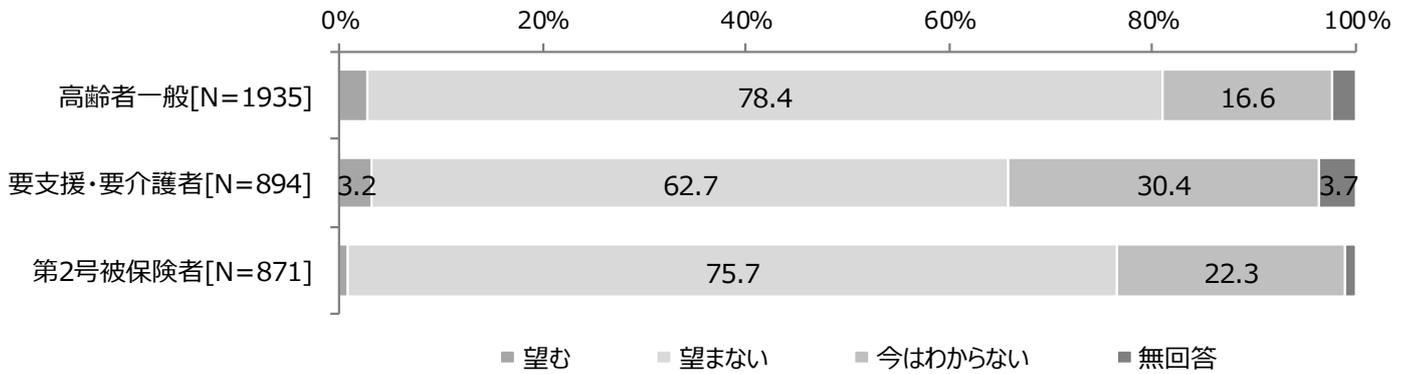
図表 61 リビング・ウィルに対する意見



③延命治療に対する希望

延命治療に対する希望を見ると、延命治療は「望まない」という人が6～7割台でいずれも多くなっています。要支援・要介護者では「今はわからない」という人も高齢者一般や第2号被保険者に比べて多くなっています。

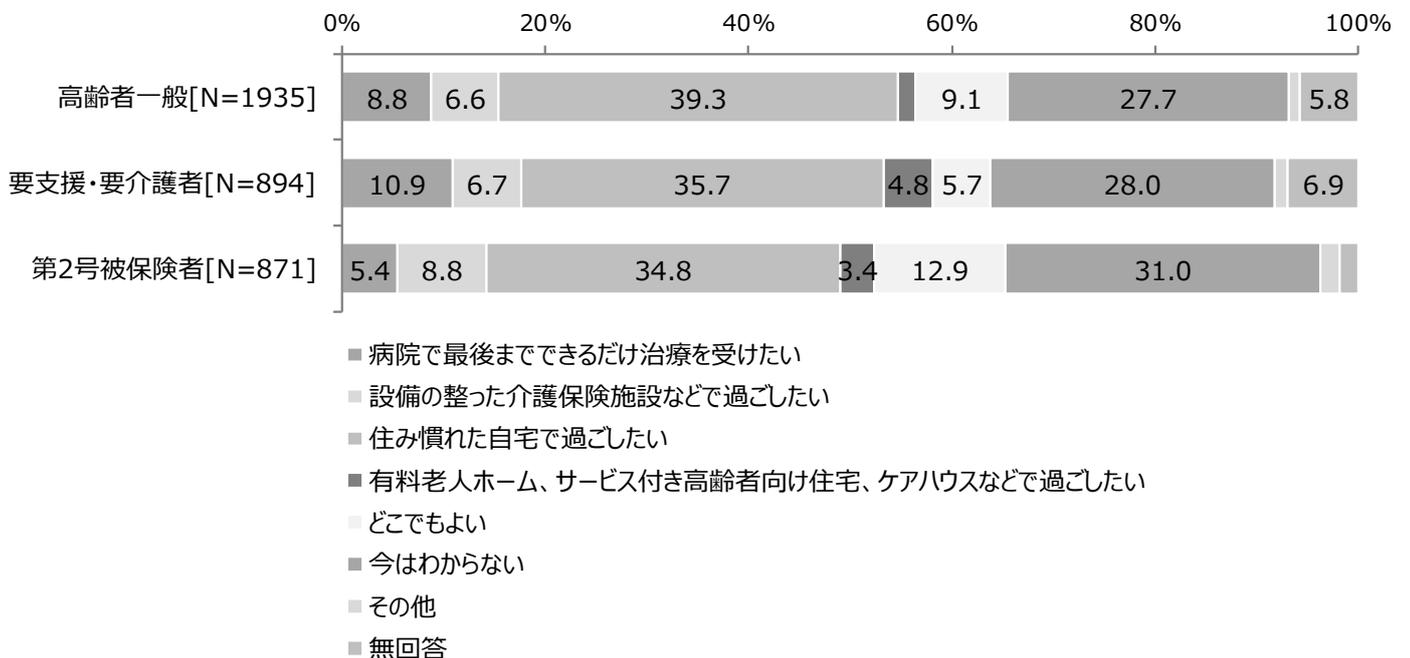
図表 62 延命治療に対する希望



④最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所については、「住み慣れた自宅で過ごしたい」という人がいずれも3割台と多くなっています。一方、「今はわからない」という人も3割前後見られます。

図表 63 最期を迎えたい場所



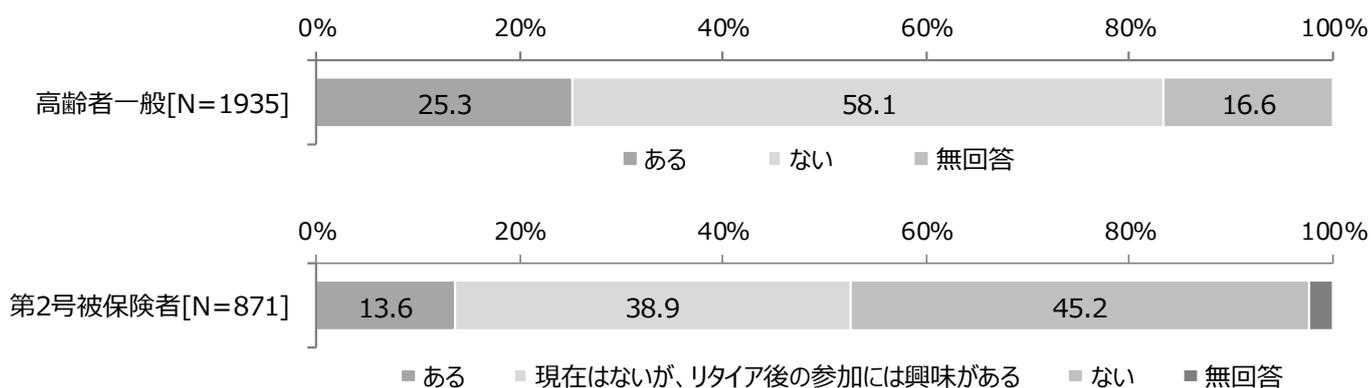
(7) 高齢者の生活支援のための事業への参加について

① 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

高齢者の生活支援事業について、参加することへの興味の有無を聞いたところ、高齢者一般では「ない」が58.1%、「ある」が25.3%となっています。

第2号被保険者では、「ない」が45.2%、「現在はないが、リタイア後の参加には興味がある」が38.9%、「ある」が13.6%となっています。

図表 64 高齢者の生活支援事業に参加することへの興味

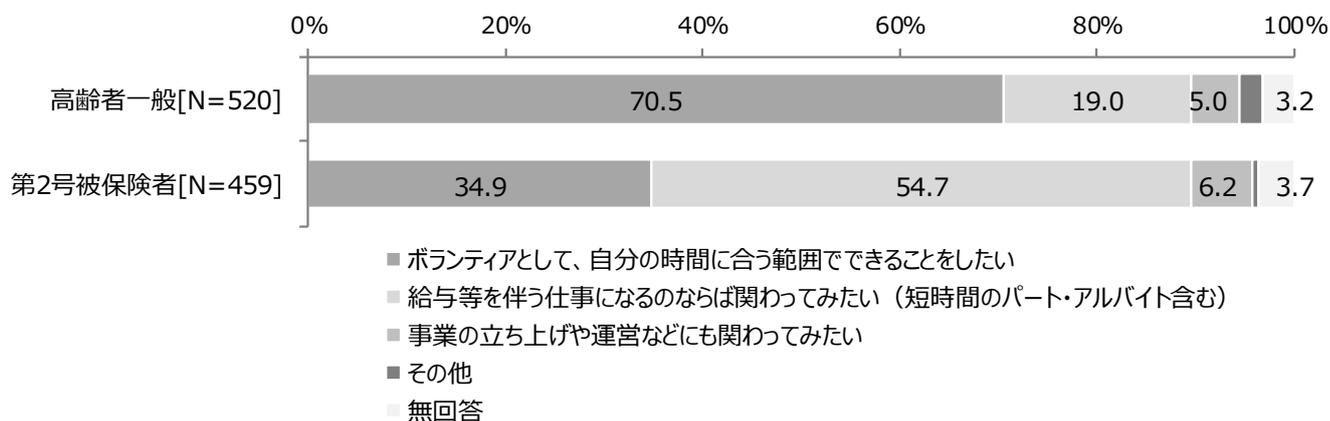


② 高齢者支援事業への参加の仕方の希望

高齢者支援事業への参加に興味があると回答した人に、参加の仕方の希望について聞いたところ、高齢者一般では、「ボランティアとして、自分の時間に合う範囲でできることをしたい」が70.5%と多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「給与等を伴う仕事になるのならば関わってみたい（短時間のパート・アルバイト含む）」が54.7%となっており、仕事として考える人が多くなっています。

図表 65 高齢者支援事業への参加の仕方の希望



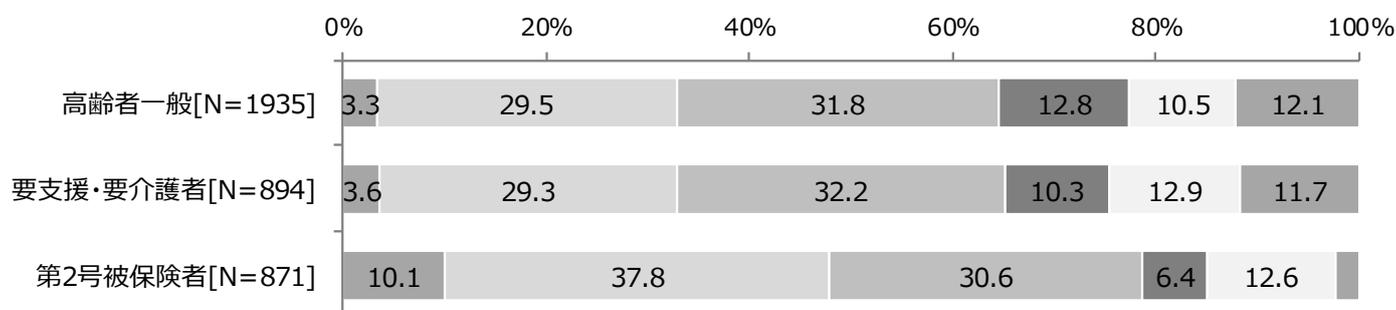
(8) 介護保険制度について

①介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

サービスと保険料負担についての考え方を聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者では、「さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスが制限されても仕方がない」が最も多くなっています。また、高齢者一般、要支援・要介護者では、次いで「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が多くなっています。

一方、第2号被保険者では、「さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない」が37.8%と最も多くなっています。第2号被保険者では介護保険料については、介護保険料が上がってもよい・仕方ないという人が多くなっています。

図表 66 介護保険のサービスと介護保険料負担の考え方

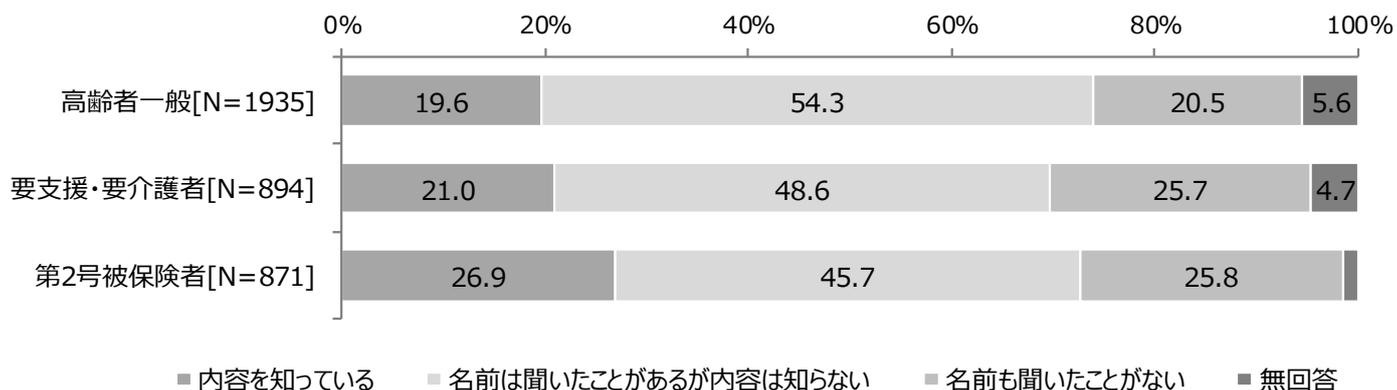


- 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき
- さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方がない
- さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方がない
- サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき
- その他
- 無回答

② 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

福祉サービス利用援助や成年後見制度等を知っているかどうかを聞いたところ、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」という人が、高齢者一般では54.3%、要支援・要介護者では48.6%、第2号被保険者では45.7%となっています。福祉サービス利用援助や成年後見制度等があることを知ってはいても、内容まで知っている人は少ないことが見てとれます。

図表 67 「福祉サービス利用援助」や「成年後見制度」の認知

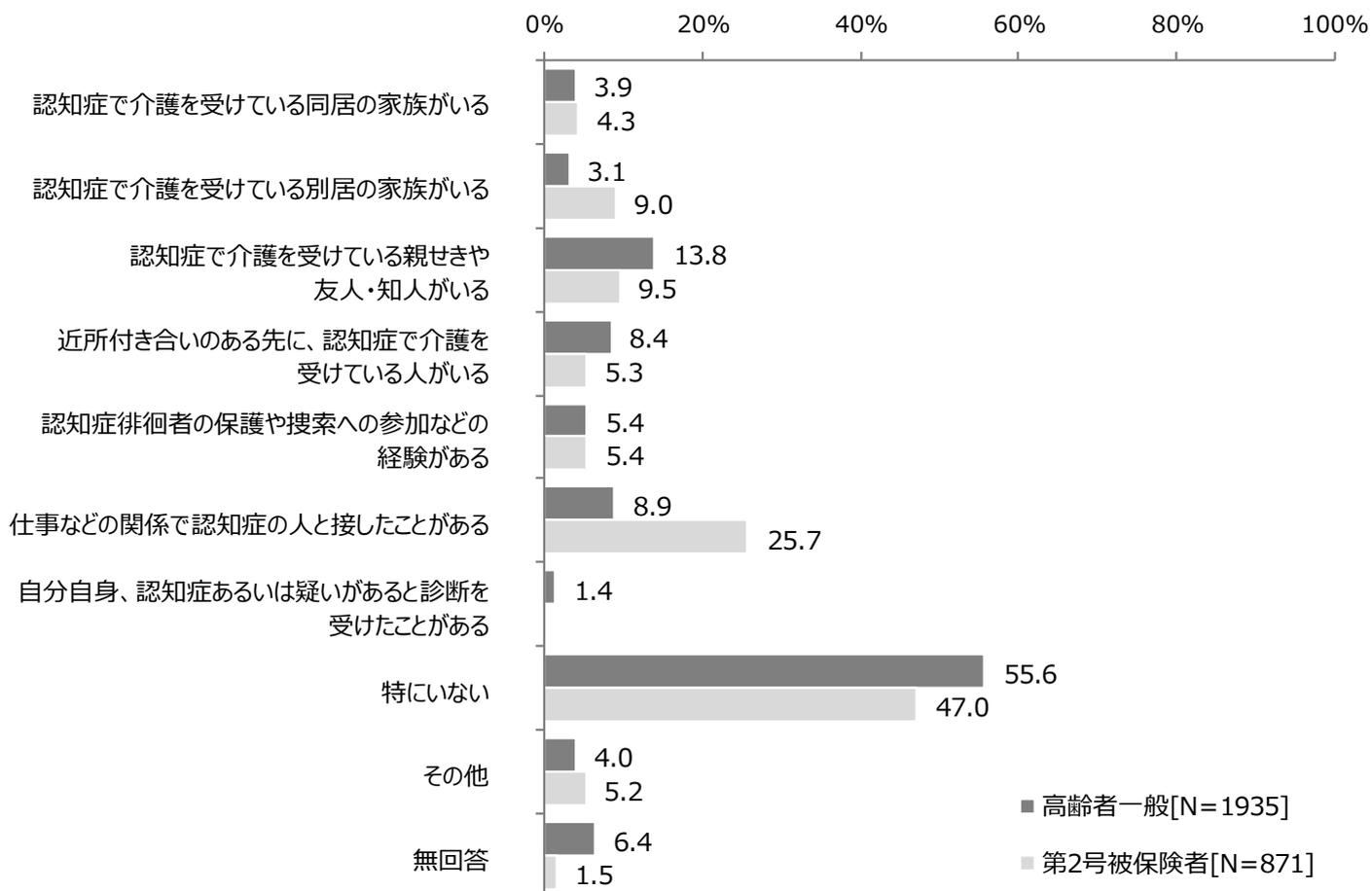


(9) 認知症について

① 認知症の人との関わり

認知症の人との関わりについては、高齢者一般、第2号被保険者とも、「特にいない」という人が多くなっています。第2号被保険者では、「仕事などの関係で認知症の人と接したことがある」が25.7%見られます。

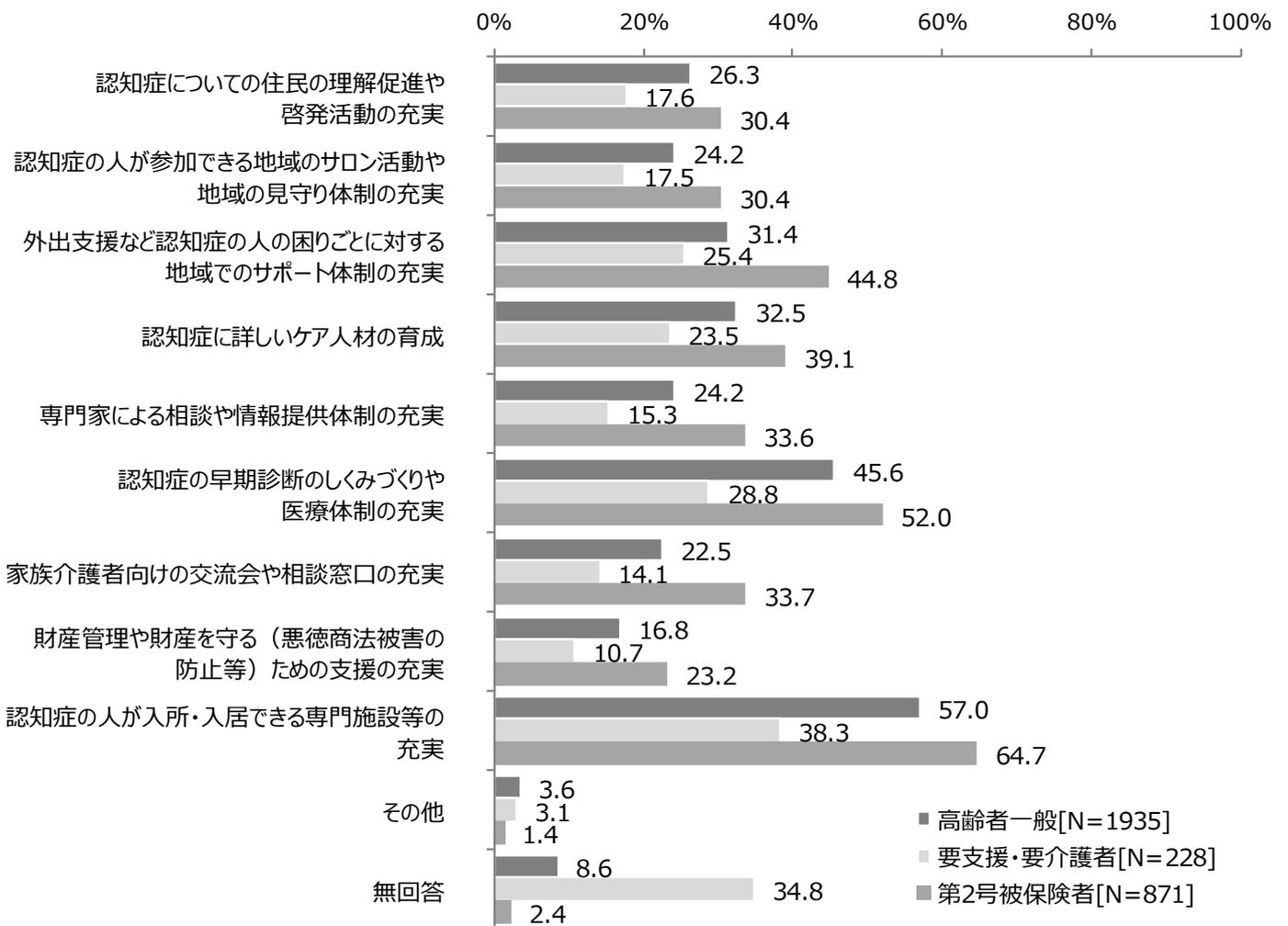
図表 68 認知症の人との関わり



②認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援

認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援について聞いたところ、高齢者一般、要支援・要介護者、第2号被保険者すべてで「認知症の人が入所・入居できる専門施設等の充実」が最も多くなっています。また、第2号被保険者では、「認知症の早期診断のしくみづくりや医療体制の充実」が半数強見られ、高齢者一般に比べて全般的に多い傾向があります。

図表 69 認知症の高齢者や家族介護者などに必要な支援



参考資料：アンケート調査票

ちょう さ ひょう 調 査 票

■この調査の対象者は、令和4年8月1日現在、県内にお住まいの65歳以上の方のうち、介護保険で「要支援」または「要介護」と認定されていない方です。

■この調査票は、あて名のご本人がご回答ください。ただし、ご本人が回答することが難しい場合は、代わりにご家族の方などがご本人の立場に立ってお答えください。

■ご回答いただきましたら、調査票を折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

※次のような場合は、ご回答いただく必要はありません。あてはまる番号に○をつけ、そのまま、ポストに投函してください。(切手は不要です。)

- 1 県外に転居した
- 2 要支援・要介護認定を申請中または認定済
- 3 事情により回答できず、代わりに回答できる人もいない

★★ 11月2日までにご投函ください ★★

【ここからご回答ください】

この調査票にご回答いただいた方は、どなたですか。(あてはまるもの1つに○)

1. あて名のご本人が回答 (ご本人が回答して他の方が代筆した場合も含む)
2. ご家族がご本人の代わりに回答
3. ご家族以外の方がご本人の代わりに回答

→ 裏面にお進みください。

★あなたご自身やご家族のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお答えください。(いずれか1つに○)

1. 男 2. 女 3. 回答しない

問2 あなたの生まれた年月、年齢をお答えください。(ご記入ください)

明治・大正・昭和 年 月生まれ (満 歳)

問3 あなたがお住まいの市町村をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

※田辺市、新宮市、紀の川市の場合は、合併前の旧市町村を回答してください。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|----------|
| 1. 和歌山市 | 2. 海南市 | 3. 橋本市 |
| 4. 有田市 | 5. 御坊市 | |
| 6. 田辺市 (旧田辺市) | 7. 田辺市 (旧龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町) | |
| 8. 新宮市 (旧新宮市) | 9. 新宮市 (旧熊野川町) | |
| 10. 紀の川市 (旧打田町・貴志川町) | 11. 紀の川市 (旧粉河町・那賀町・桃山町) | |
| 12. 岩出市 | 13. 紀美野町 | |
| 14. かつらぎ町 | 15. 九度山町 | 16. 高野町 |
| 17. 湯浅町 | 18. 広川町 | 19. 有田川町 |
| 20. 美浜町 | 21. 日高町 | 22. 由良町 |
| 23. 印南町 | 24. みなべ町 | 25. 日高川町 |
| 26. 白浜町 | 27. 上富田町 | 28. すさみ町 |
| 29. 那智勝浦町 | 30. 太地町 | 31. 古座川町 |
| 32. 北山村 | 33. 串本町 | |

問4 あなたの世帯は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 単身 (ご本人ひとり)
2. 夫婦のみ (配偶者は65歳以上)
3. 夫婦のみ (配偶者は64歳以下)
4. 2世代家族 (世帯全員が65歳以上)
5. 2世代家族 (64歳以下の家族がいる)
6. 3世代家族
7. 配偶者、親または子以外の高齢者 (65歳以上) と同居
8. その他 ()

問5 あなたは、昼間、ひとりきりになることがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. ほとんどない 2. ときどきある 3. 常にそうである

問6 あなたには、同居はしていないけれども生活を支援してくれる子や孫、親せきなどはいますか。(いずれか1つに○)

1. いる

2. いない

★仕事についておたずねします。

問7 あなたは、収入のあるお仕事をされていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 会社や団体等の勤め人(常勤) |
| 3. 会社や団体等の勤め人(パート、嘱託等) | 4. 会社や団体等の役員 |
| 5. 自営業主、個人事業主 | 6. 短期・不定期のアルバイト等 |
| 7. 内職 | 8. 収入のある仕事はしていない |
| 9. その他() | |

★近所づきあい、外出の状況などについておたずねします。

問8 あなたはふだん、最も親しい近所さんとのようなつきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. お互いに訪問しあう | 2. 立ち話をする程度 |
| 3. あいさつをする程度 | 4. ほとんどつきあっていない |

問9 あなたは、日頃、どの程度外出をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

※散歩、買い物、外食、通院などを含みます。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に3～4回程度 |
| 3. 週に2回程度 | 4. 週に1回程度 |
| 5. 月に1～2回程度 | 6. ほとんどない |

問10 あなたは、日頃、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自動車(自ら運転) | 2. 自動車(家族等が運転) |
| 3. バス、電車 | 4. タクシー |
| 5. 福祉移送サービス(介護タクシーなど) | 6. バイク、スクーター |
| 7. 自転車(電動アシスト付き自転車を含む) | 8. 徒歩 |
| 9. 車椅子、電動車椅子 | 10. 医療機関による無料送迎(通院時のみ) |
| 11. 外出は困難(寝たきりなど) | 12. その他() |

問11 あなたは、電車やバスなど公共交通機関を利用するときに、最寄りの駅またはバス停まで、片道でのくらい時間がかかりますか。分単位で記入してください。

※コミュニティバスを含みます。

片道 約 分

★買い物などの日常の状況、不便を感じていることなどについておたずねします。

問12 あなたは、日頃、食料品や日用品など生活に必要な買い物は、どのような方法で購入していますか。
(よく使う方法すべてに○)

1. 自分で店まで買いに行く
2. 家族や友人・知人などに店まで連れて行ってもらう
3. 家族や友人・知人などに頼んで買って来てもらう
4. 近くの店などに注文して配達してもらう
5. 移動販売車(者)が近くに来たときに買う
6. その他()

問13 ふだんの買い物で不便なことや困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 歩いて行ける範囲に、行きたい店がない
2. 買い物に行くための自転車・車の運転や電車・バスの乗り降りがたいへんである
3. 買い物に行く交通手段がない(電車・バス・車・自転車等を含む)
4. 重い物が持てないので、一度に少量しか買えない
5. 家族などに店まで連れて行ってもらったり、買い物を頼まなければならないため、気持ちの負担がある
6. 買い物を手伝ってくれる人(家族・友人・知人等)がいない
7. 配達してくれる業者や移動販売などのサービスがない(知らない)
8. 買い物に行くために歩いたり、外出したりするのがたいへんである(身体の負担が大きい)
9. 特にない
10. その他()

問14 あなたは、日頃の理・美容(散髪やカット・パーマ)で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 理・美容所まで行くのが困難・外出できない
2. 家族などに理・美容所に連れて行ってもらわなければならないため、気持ちの負担がある
3. 訪問理・美容を利用したいが、利用できない(地域にサービスがないなど)
4. 訪問理・美容を利用しているが、利用しにくい(予約がとりづらい、料金が安いなど)
5. 特にない
6. その他()

問15 あなたは、介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロンを利用している、または利用していましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 利用している
 - 2. 利用していたが、今は利用していない
 - 3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている
 - 4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない
 - 5. わからない
- 問17へ
→問18へ

問16 前の問で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。次の(1)、(2)をご回答ください。

(1) 現在、どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. つまづきやふらつきを予防するための体操・運動
- 2. 噛む力や飲み込む力を維持する口腔体操
- 3. 認知機能の低下を予防する脳トレなどの認知症予防教室
- 4. 低栄養を予防する教室やバランスのとれた食事をとる会食サービス
- 5. ボランティア、茶話会・カフェ、趣味の活動
- 6. その他 ()

(2) 現在利用している回数をお答えください。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 週に2回以上
- 2. 週に1回程度
- 3. 月に2～3回程度
- 4. 月に1回程度
- 5. その他 ()

→問18へ

問17 問15で「2. 利用していたが、今は利用していない」、「3. 利用したことはないが、今後利用したいと考えている」、「4. 利用したことはないし、今後利用する予定はない」と答えた方にお聞きします。体操教室やサロンを利用しない、または利用していない理由をご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自宅の近くに体操教室やサロンがないから
- 2. 知らない人がばかりいそうだから
- 3. 健康や体力面に心配があるから
- 4. 体操教室やサロンの場所や活動などの情報がないから
- 5. 時間的な余裕がないから
- 6. 興味・関心がないから
- 7. その他 ()

★**通院**などの**状 況**についておたずねします。

問18 あなたは、日頃、どの程度通院(医療機関の受診)をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. めったにない(年に1回あるかないか) | 2. 年に数回程度 |
| 3. 月に1回程度 | 4. 月に2～3回程度 |
| 5. 週に1回程度 | 6. 週に数回程度 |
| 7. ほぼ毎日 | |

問19 あなたには、日頃から身近に診療、健康相談、薬の説明などを受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. かかりつけの医師 | 2. かかりつけの歯科医師 |
| 3. かかりつけの薬剤師 | |

問20 あなたは、定期的(年に1回以上)に健康診断等を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康診断や特定健康診査等を受けている
2. 歯科検診や口腔ケアを受けている
3. 1, 2のいずれも受けていない

★**健康**についておたずねします。

問21 あなたの現在の健康状態についてお答えください。(もっとも近いもの1つに○)

1. たいへん健康である
2. 大した病気や障害もなく普通に生活している
3. 何らかの病気や障害はあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出も一人でできる
4. 何らかの病気や障害があって、生活に誰かの手助けが必要である
5. その他 ()

問22 あなたは、日頃、運動をしていますか。ここで運動とは、1回30分以上の各種スポーツ、体操、ウォーキングなどを指します。(あてはまるもの1つに○)

1. ほぼ毎日、運動をしている
2. 週に3～5日程度、運動をしている
3. 週に1～2日程度、運動をしている
4. 月に数日程度、運動をしている
5. 運動はほとんどしていない
6. その他 ()

問23 あなたは、ご自身の健康づくりや介護予防に関して、日頃の生活習慣(ロコモ予防やメタボ予防など)をどのように思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 普段から意識をして運動や食生活に気をつけている
2. 意識をしており、もっと改善する必要があると思っている
3. 意識はしているが、自分の年齢で今から気をつけても仕方ないと思う
4. 特に意識をしていない
5. その他 ()

※ロコモ予防：生活不活発病(身体を動かさないことによる運動機能の低下)を予防する取り組み

※メタボ予防：生活習慣病を予防する取り組み

★**普段の暮らしぶりについておたずねします。**

問24 以下の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。(いずれか1つに○)

(1)携帯電話(スマートフォンを含む)を使うことができますか。

1. はい 2. いいえ → (2)へ

-----> (1)-1 電話をすることができますか。

1. はい 2. いいえ

(1)-2 スマートフォンのアプリ(例:天気予報アプリ、ゲームアプリなど)を使うことができますか。

1. はい 2. いいえ

(2)ATMを使うことができますか。

1. はい 2. いいえ

(3)ビデオやDVD(ブルーレイ)プレーヤーの操作ができますか。

1. はい 2. いいえ

(4)携帯電話やパソコンでメールができますか。

1. はい 2. いいえ

(5)外国のニュースや出来事に関心がありますか。

1. はい 2. いいえ

(6)健康に関する情報の信ぴょう性について判断できますか。

1. はい 2. いいえ

(7)美術品、映画、音楽を鑑賞することがありますか。

1. はい 2. いいえ

(8)教育・教養番組を視聴していますか。

1. はい 2. いいえ

(9)詐欺、ひったくり、空き巣等の被害にあわないように対策をしていますか。

1. はい 2. いいえ

(10)生活の中でちょっとした工夫をすることができますか。

1. はい 2. いいえ

(11)病人の看病ができますか。

1. はい 2. いいえ

(12)孫や家族、知人の世話をしていますか。

1. はい 2. いいえ

(13)地域の祭りや行事などに参加していますか。

1. はい 2. いいえ

(14)町内会・自治会で活動していますか。

1. はい 2. いいえ

(15)自治会やグループ活動の世話役や役職を引き受けることができますか。

1. はい 2. いいえ

(16)奉仕活動やボランティア活動をしていますか。

1. はい 2. いいえ

★今後の住宅での暮らし、住み替えなどについておたずねします。

問25 あなたの現在の住まいの種類は、次のうちのどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

※入院中の方は、入院前のお住まいでご回答ください。

1. 戸建(持ち家)
 2. 戸建(賃貸)
 3. マンションなどの集合住宅(持ち家)
 4. マンションなどの集合住宅(賃貸)
 5. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
 6. その他 ()
- } → 問27へ

問26 前の問で「1. 戸建(持ち家)」、「2. 戸建(賃貸)」、「3. マンションなどの集合住宅(持ち家)」、「4. マンションなどの集合住宅(賃貸)」と答えた方におたずねします。

次の(1)～(2)をご回答ください。

(1)あなたは、将来、介護が必要になった場合に、現在の住まいから介護サービスが付いている住宅施設等に住み替えたいと思いますか。(そう思うもの1つに○)

1. 自宅で、在宅サービス(ホームヘルプやデイサービスなど)を利用しながら住み続けようと思う
2. 子や孫、親類宅へ移り住むか、同居してもらおうと思う
3. 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所しようと思う
4. 介護保険施設までは考えていないが、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に入居しようと思う
5. その他 ()

※施設名などの用語につきましては、依頼状裏面の補足説明もご参照ください。

(2)もし、住み替えを考えるとすれば、重視することは何でしょうか。(重視する項目3つ以内に○)

1. 今住んでいる場所や頼りになる人(子ども、親せきなど)の家から近いこと
2. 提供される介護サービスの内容や質がよいこと
3. 利用料金や家賃などの費用負担が手頃であること
4. 医療機関から近いこと
5. 交通の便や生活の利便性がよいこと
6. 利用したいサービス、質のよいサービスを自由に選べること
7. 緊急時の通報など、いざというときの見守り体制がしっかりしていること
8. その他 ()

問27 将来、介護が必要になった場合に、住み替えずに現在の住宅で生活を続けていくとしたら、どんなサービスが必要だと思いますか。(必要と思うものすべてに○)

【自宅・通い・泊まりで受ける介護サービス】

1. 自宅で家事や介護の手助けをしてくれるサービス
2. 自宅で夜間も介護をしてくれるサービス
3. 自宅でリハビリや医療チェックをしてくれるサービス
4. 通いで介護やリハビリを受けるサービス
5. 特別養護老人ホームなどに短期間宿泊するサービス
6. 状況に応じて自宅・通い・泊まりを選べるサービス

【家庭での介護環境を整えるサービス】

7. 歩行器・車いすなどの福祉用具の貸し出し
8. 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修

【医療サービス】

9. 在宅で受けられる医療サービス
10. 認知症専門の診療
11. 24時間対応できる病院、診療所

【その他のサービス】

12. 気軽に通える介護予防のための体操教室や茶話会、カフェ、会食等のサロン
13. 食事を配達するサービス
14. 地域住民の助け合いや見守り(徘徊の発見、通報など)
15. 介護する家族のための健康管理、専門的な介護研修、相談窓口の設置
16. 在宅で介護するための補助用品(オムツ等)の支給
17. 買い物や通院などの外出時の移動支援
18. 財産管理や日常的な金銭管理などの支援
19. その他 ()

★自宅での看取りの考え方などについておたずねします。

問28 現在、わが国では、多くの人が病院で亡くなっていますが、近年、延命治療(※)の是非や、住み慣れた自宅での看取り・最期を迎えることなどについて、関心が高まっています。あなたは、こうしたことについて、関心がありますか。(最も近いもの1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度は関心がある |
| 3.それほど関心はない | 4. 今はわからない |

※ここでいう「延命治療」は、治る見込みがなく死期が迫っている方に対し、人工呼吸器や中心静脈栄養、胃ろうなどを生命の維持のためのみに行うものを指します(問31も同様)。

★介護保険制度などについておたずねします。

問35 介護保険制度やサービスについて、くわしく知りたいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. サービスを受けるための手続き | 2. 受けられるサービスの内容 |
| 3. 気軽に相談できる窓口 | 4. 保険料、利用料や算出の仕組み |
| 5. 介護事業所の評判 | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

問36 今後、さらに高齢化が進み、介護保険制度を支えるための負担が増えていくことが予想されます。あなたは、介護保険のサービスと介護保険料の負担について、どのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--|
| 1. 今の介護保険のサービスは不十分なので、もっと介護保険料を上げてよいからサービスを充実するべき |
| 2. さらに高齢化が進むのだから、現状のサービスを維持するために、多少介護保険料が上がっても仕方ない |
| 3. さらに高齢化が進んでも、介護保険料は現状程度とするべきなので、多少サービスの利用が制限されても仕方ない |
| 4. サービスの内容がもっと低下したり制限されてもよいので、もう少し介護保険料を安くするべき |
| 5. その他 () |

問37 あなたは、判断能力が十分でない高齢者等を対象にした「福祉サービス利用援助」※1や「成年後見制度」※2があることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 名前は聞いたことがあるが内容は知らない |
| 3. 名前も聞いたことがない | |

※1「福祉サービス利用援助」は、判断能力が十分でない高齢者等の権利をまもるため、県・市町村社会福祉協議会等との協働により、福祉サービスの利用や日常生活上の手続きに関する援助、日常の金銭管理や書類などの預かりサービス等を行うものです。

※2「成年後見制度」は、判断能力が十分でない高齢者等(認知症高齢者等)を保護するため、本人の代わりに法律行為を行い、または本人による法律行為を助ける者を選定する制度です。

★^{にんちしょう}認知症についておたずねします。

問38 ^と高齢化が進む中で、^{にんちしょう}認知症になる^{こうれいしゃ}高齢者も増えており、^{こんご}今後も^{にんちしょうこうれいしゃ}認知症高齢者はさらに増加していくことが^{よそう}予想されます。あなたの身の^{みまわ}回りで、^{にんちしょう}認知症の人とどのような^{かか}関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{にんちしょう}認知症で^{かいご}介護を受けている^{どうきよ}同居の^{かぞく}家族がいる
2. ^{にんちしょう}認知症で^{かいご}介護を受けている^{べつきよ}別居の^{かぞく}家族がいる
3. ^{にんちしょう}認知症で^{かいご}介護を受けている^{しんせき}親せきや^{ゆうじん}友人・^{ちじん}知人がいる
4. ^{きんじよづ}近所付き合いのある^あ先に、^{にんちしょう}認知症で^{かいご}介護を受けている^{ひと}人がいる
5. ^{にんちしょう}認知症^{はいかいしゃ}徘徊者の^{ほご}保護や^{そうさく}捜索への^{さんか}参加などの^{けいけん}経験がある
6. ^{しごと}仕事などの^{かんけい}関係で^{にんちしょう}認知症の人と^つ接したことがある
7. ^{じぶん}自分自身、^{にんちしょう}認知症あるいは^{うたが}疑いがあると^{しんだん}診断を受けたことがある
8. 特^{とく}にいない
9. その他 ()

問39 ^{にんちしょう}認知症の^{こうれいしゃ}高齢者や^{かぞくかいごしゃ}家族介護者などに、どのような^{しえん}支援が必要だと思^{おも}いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ^{にんちしょう}認知症についての^{じゅうみん}住民の^{りかいそくしん}理解促進や^{けいはつかつどう}啓発活動の^{じゅうじつ}充実
2. ^{にんちしょう}認知症の人が^{さんか}参加できる^{ちいき}地域の^{かつどう}サロン活動や^{ちいき}地域の^{みまも}見守り^{たいせい}体制の^{じゅうじつ}充実
3. ^{がいしゆつしえん}外出支援など^{にんちしょう}認知症の人の^{こま}困りごとに対する^{ちいき}地域での^{たいせい}サポート体制の^{じゅうじつ}充実
4. ^{にんちしょう}認知症に^{くわ}詳しい^{じんざい}ケア人材の^{いくせい}育成
5. ^{せんもんか}専門家による^{そうだん}相談や^{じょうほうていきようたいせい}情報提供体制の^{じゅうじつ}充実
6. ^{にんちしょう}認知症の^{そうきしんだん}早期診断の^{しくみ}づくりや^{いりようたいせい}医療体制の^{じゅうじつ}充実
7. ^{かぞくかいごしゃむ}家族介護者向けの^{こうりゅうかい}交流会や^{そうだんまどぐち}相談窓口の^{じゅうじつ}充実
8. ^{さいざんかんり}財産管理や^{さいざん}財産を守る(悪徳商法被害の^{ぼうしなご}防止等)のための^{しえん}支援の^{じゅうじつ}充実
9. ^{にんちしょう}認知症の人が^{にゆうしょ}入所・^{にゆうきよ}入居できる^{せんもんしせつなど}専門施設等の^{じゅうじつ}充実
10. その他 ()

和歌山県高齢者等生活意識調査
(高齢者一般調査)
報告書

令和5年3月

発行：和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1